



R7. 6. 4 事前オリエンテーションの様子

実習はもう始まっている

事前オリエンテーションの説明を聴いて
の授業観察。子供の側で見取る姿は、きつ
と本番のスタートダッシュに繋がるはず
です。実習はもう始まっているのです。



R7. 6. 4 事前オリエンテーション

授業分析力を磨く

先生方の授業を観察し、得た気づきをKJ法で整理。教師の手立て、児童の姿に着目しながら整理し、授業を分析する力を磨く。自分の授業実践に役立つ力です。



R7. 6. 4 事前オリエンテーションの様子

考えを臆さず話す

多く人の前での発言は、誰だって緊張します。けれど、それを超えて、自分なりの考えをはっきりと伝えることは、学びを深めていく大切なことです。

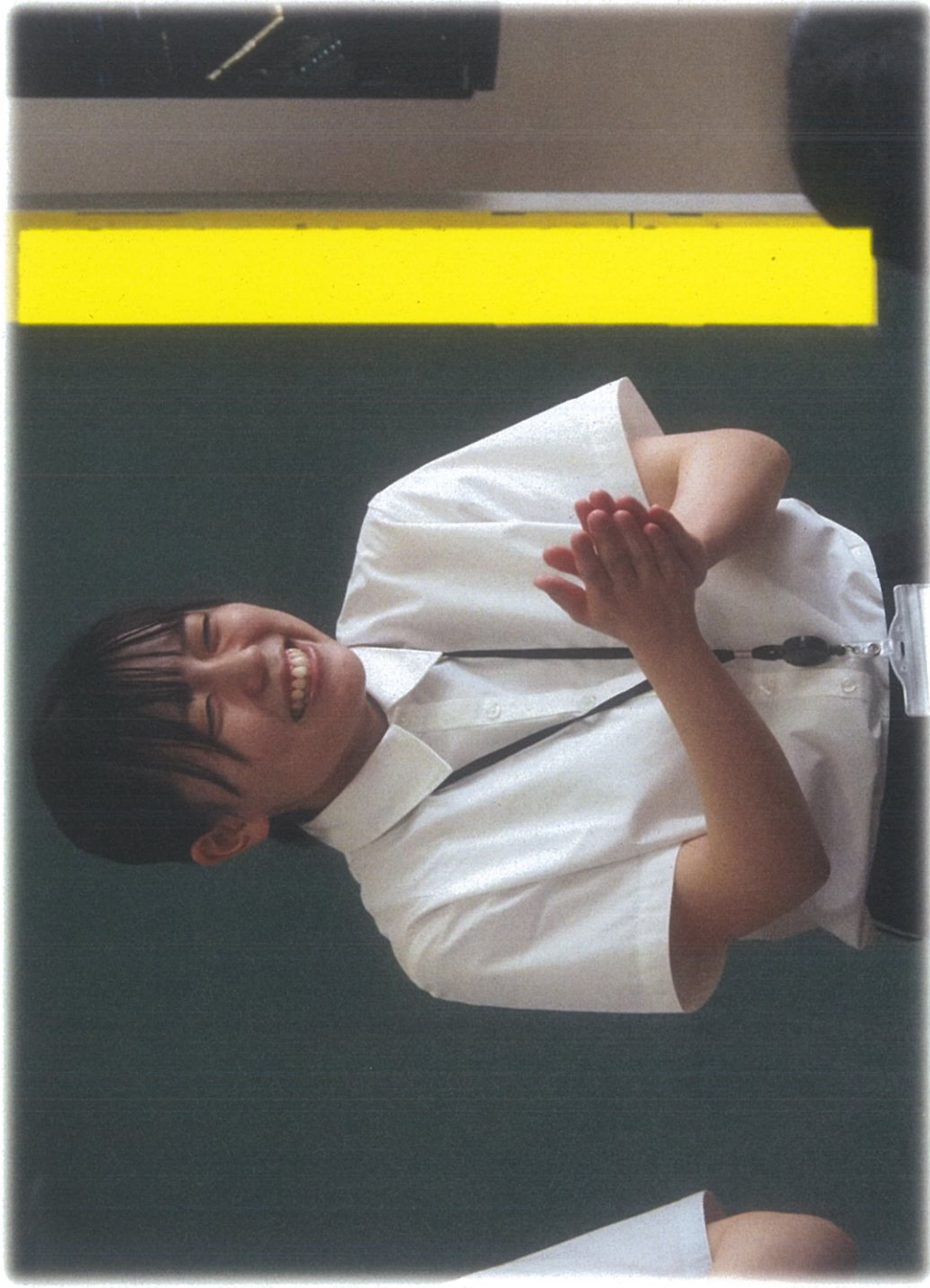


R7. 6. 23

観察実習オリエンテーション

口火を切る

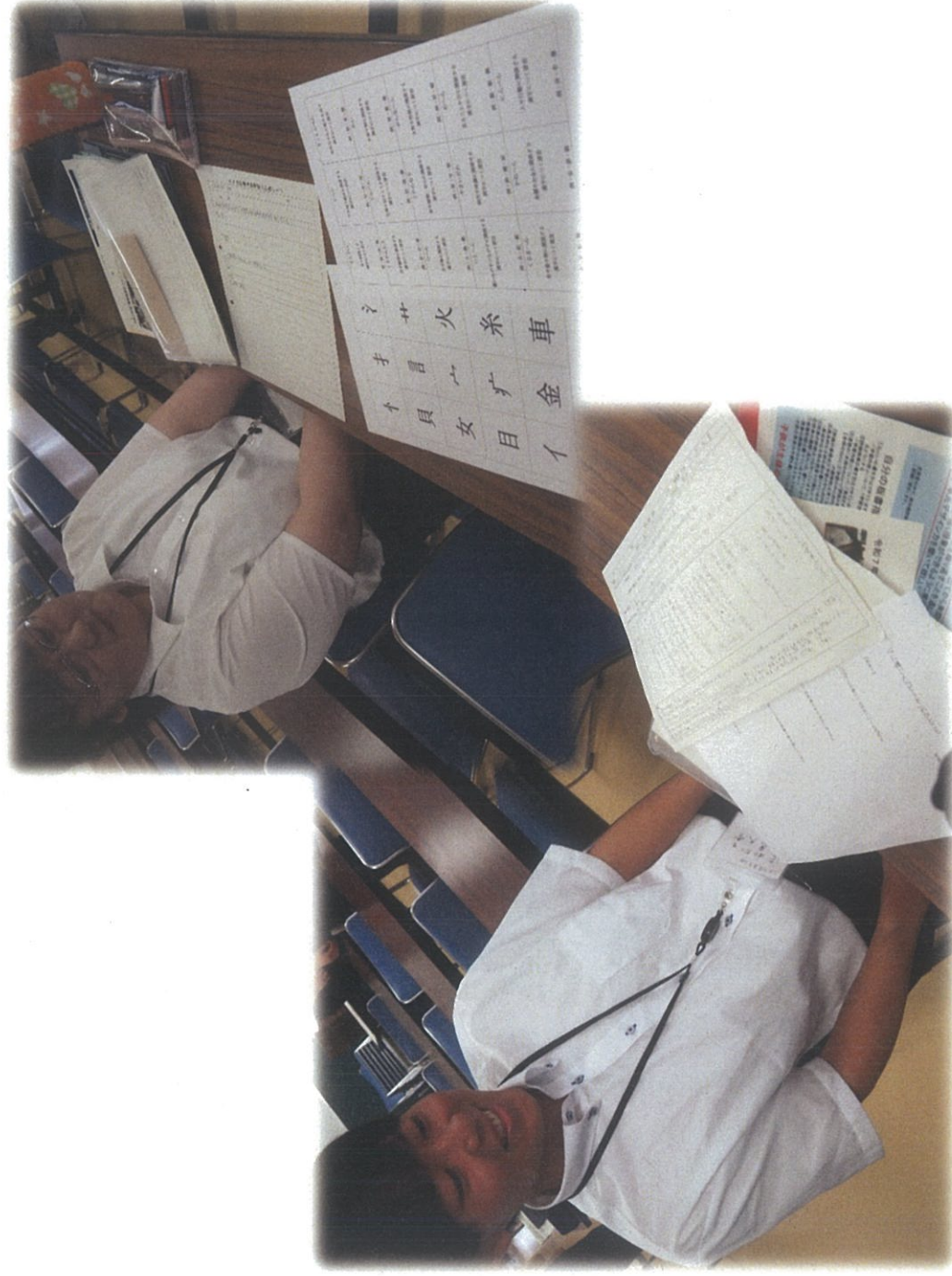
全員の前で自分の意見を話すことは、緊張もするし、簡単ではない。だからこそ、最初に口火を切って話をした姿に、勇気・意欲・素直さを感じました。



R7. 6. 23 5年部授業の様子

表情豊かに

子供たちとの初対面、表情豊かに子供たちに話しかけるすてきな姿。きっと子供たちも安心して、一緒に楽しくがんばっていいこうと思ったはずです。



R7. 6. 23

観察実習オリエンテーション 6 年部の様

事前準備

大学での講義を生かして板書指導案を作成し、ワークシートや教材まで、準備している。よく考えた事前準備にチャレンジ授業へ挑む意欲の高まりを感じます。



R7. 6. 23

4 年部教材研究の様子

攻めの学び

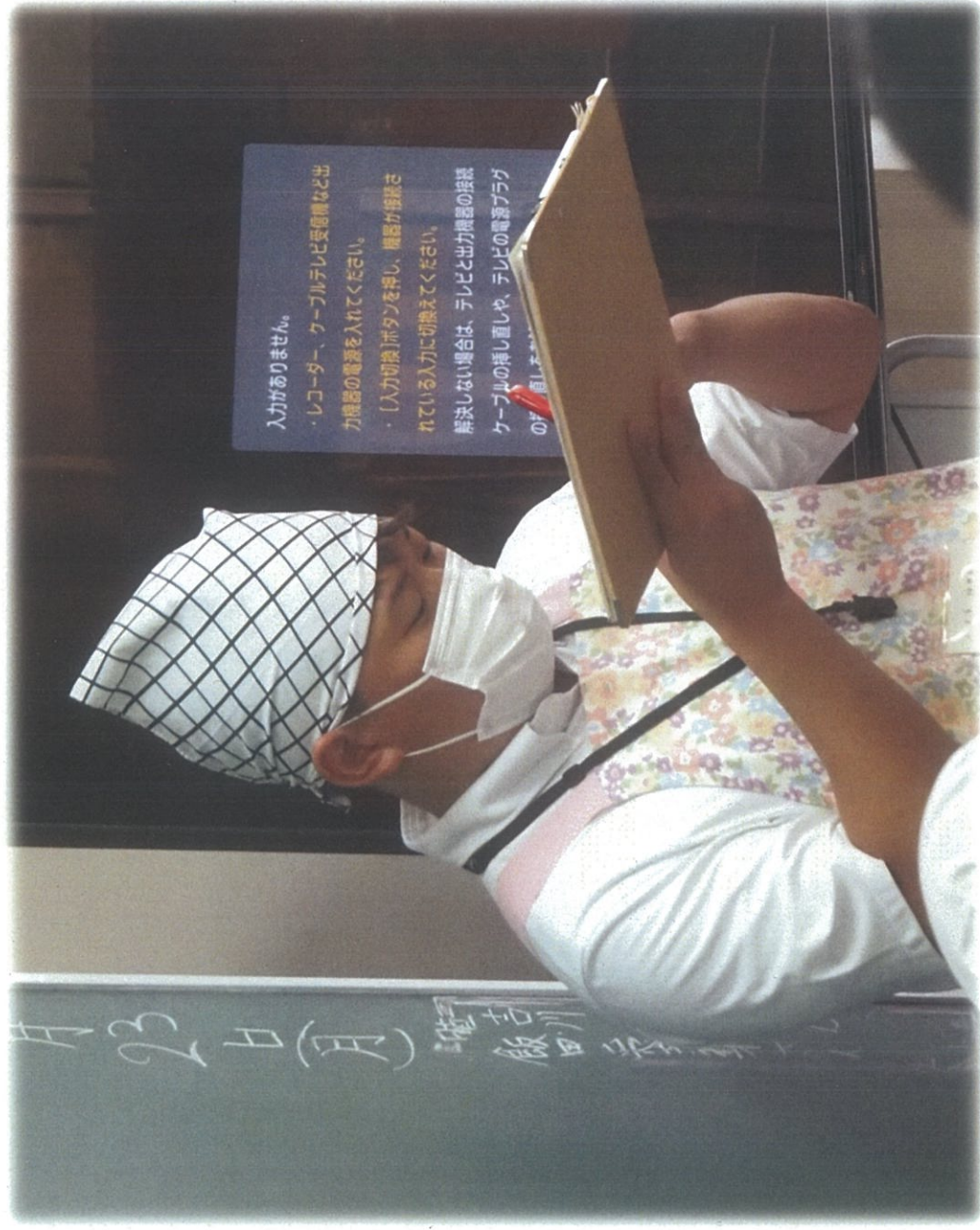
交換授業について、知りたいと思ったこと
とを呼び止めて尋ねる。疑問に思ったこと
とを遠慮なく質問することこそ、攻めの
学びの第一歩。



R6. 6. 23 1 年部学年会

学びの姿勢

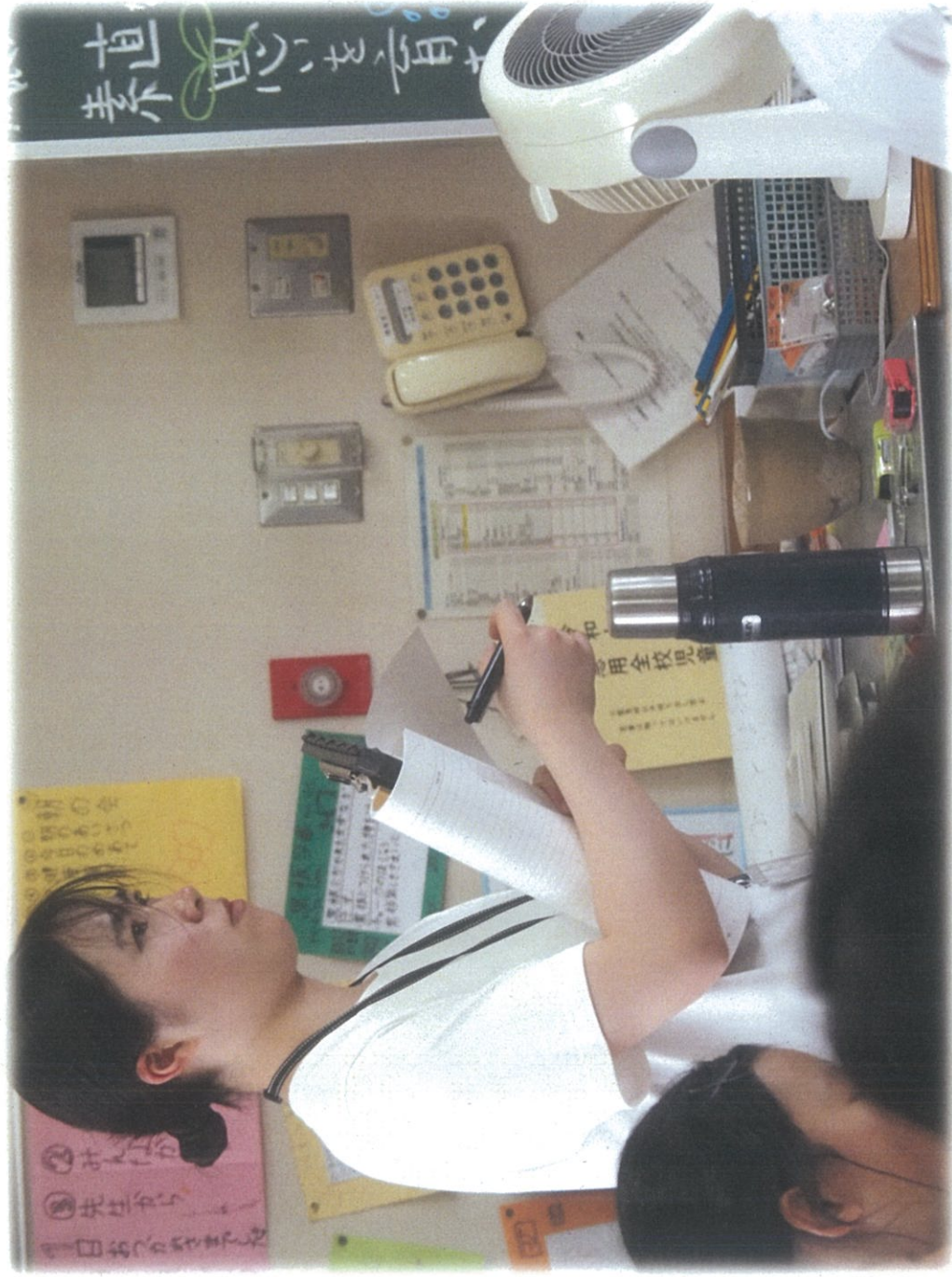
何のために実習をしているのか？真剣な
眼差しに、しっかりと実習の目的を意識
していることを強く感じます。4週間で
有意義なものにするためできることを。



R7. 6. 23 5年部の給食指導の様子

気付く目を養う

給食指導中もメモを忘れない。気付いたことは、その都度、記録に残していく。いろいろなことに気付く目を養っていくことになります。



R7. 6. 23 6 年部授業の様子

前から見取る

子供たちの姿から何を見取るか？前から
見ると発表者や先生だけでなく、聴いて
いる子供たちの姿も見取れる。発表に対
する反応から分かることも多い。

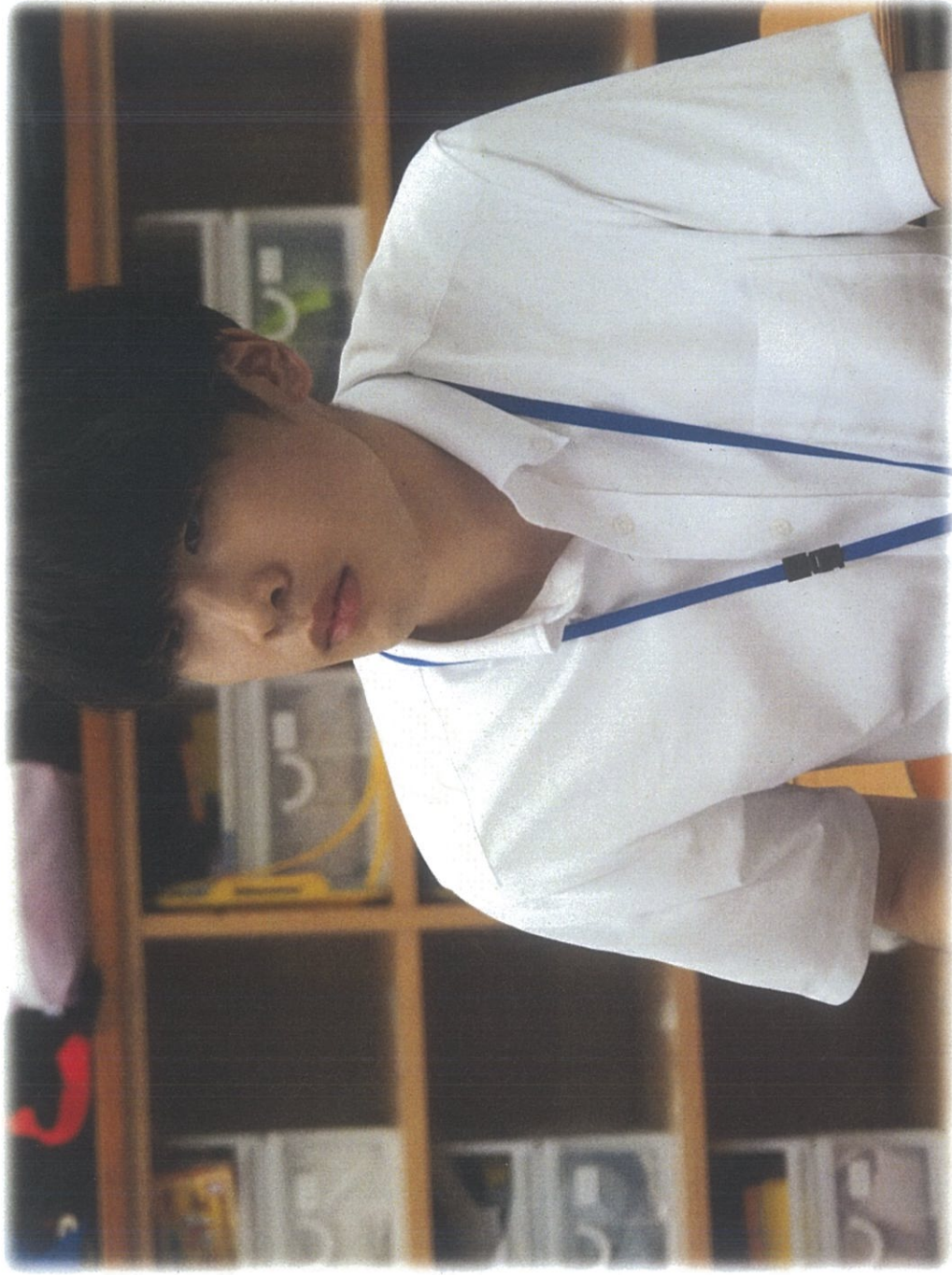


R7. 6. 23

3年部学年・学級指導

安心感を生むうなづき

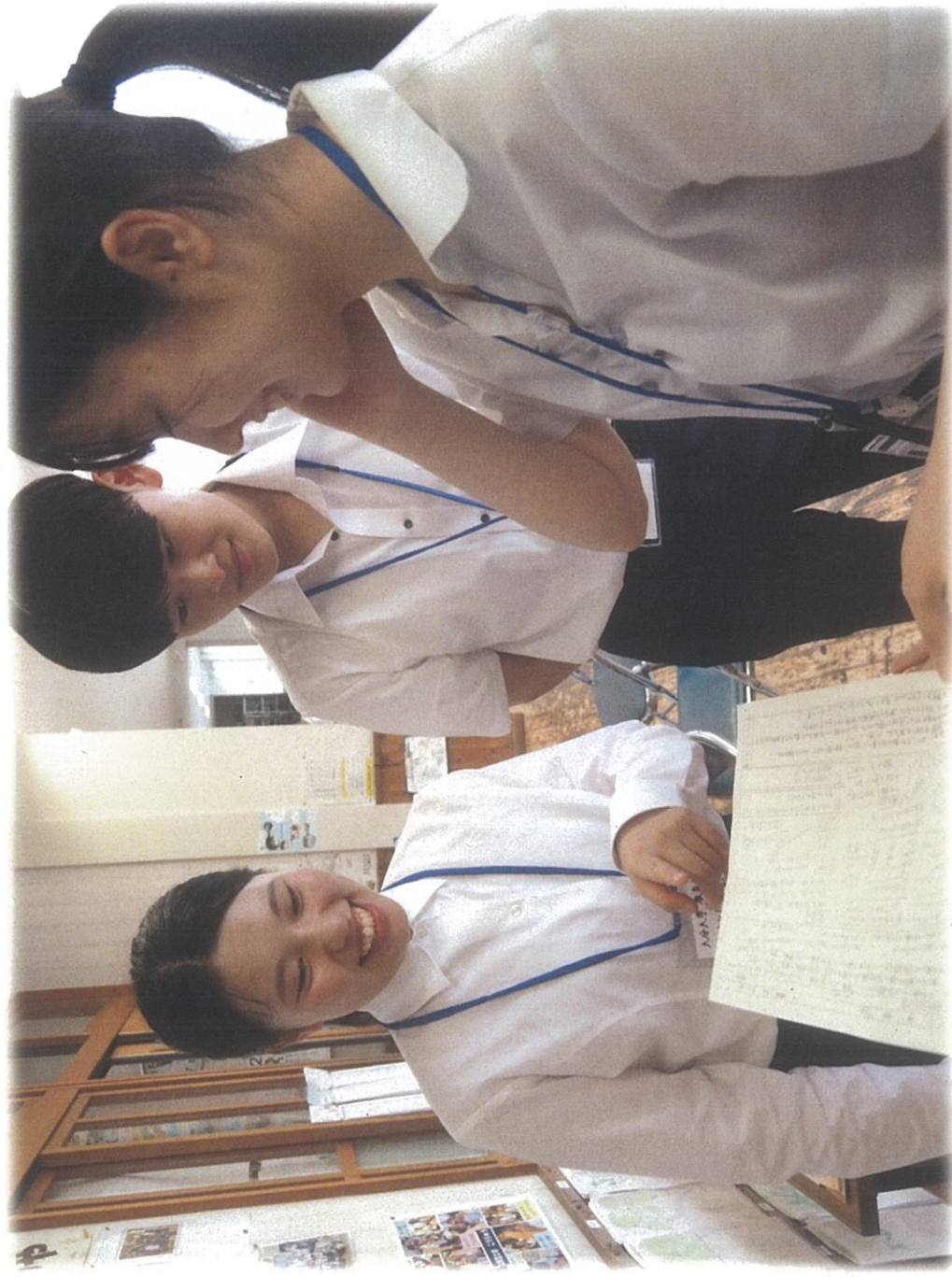
話を聴きながら、うなづく。話をちゃんと聴いてくれているという安心感につながります。子供たちにとっても、きつとうれしいはずです。



R7. 6. 24 2年部学年・学級指導

真剣な眼差し

一日の最後に聴く担当教員からの授業や学級経営についての話。しっかりと一言一句聴き逃すまいとする真剣な眼差しに実習での学びの意欲が伝わってきます。



R7. 6. 24

2 年部教材研究の様子

子供たちの1時間のために

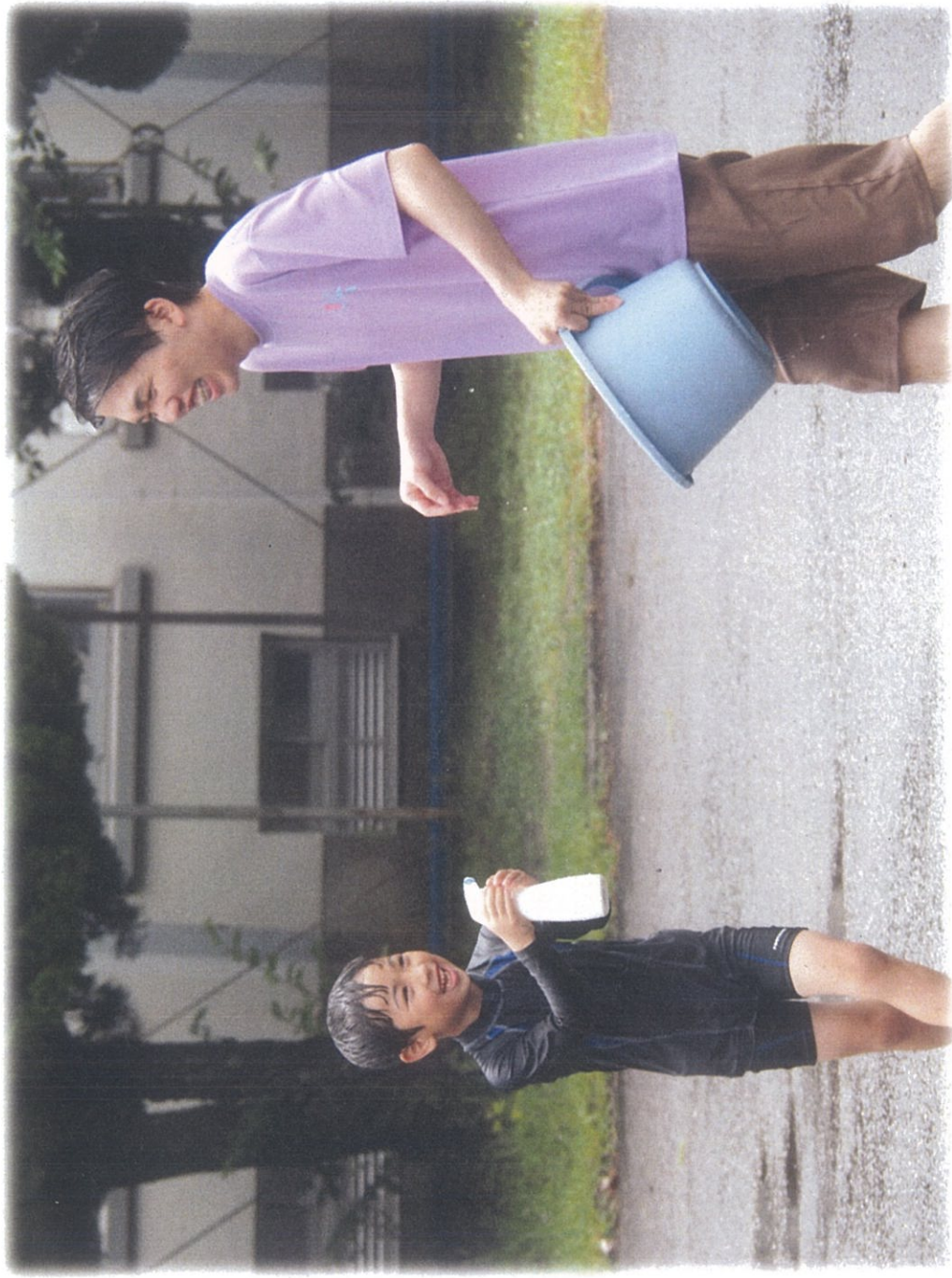
子供たちの1時間のために、できることを一生懸命考える。「どうすれば、子供たちが筆算で大切なことを考え、理解できるのか」手立てをみんなで検討中。



R7. 6. 24 4 年部授業の様子

子供の視線で

子供の視線に合わせると、どんなところがあるだろう！？子供の側に目の高さを合わせてみよう。見えるもの聞こえる言葉、感じるものは同じかな。



R7. 6. 24 | 1 年部授業の様子

童心にかえる

1年生と水遊び。子供たちと一緒にびしょ濡れになって、思いっきり遊ぶ。子供たちも水を掛け合って大喜び。時には、子供心にもどって遊ぶことも必要です。

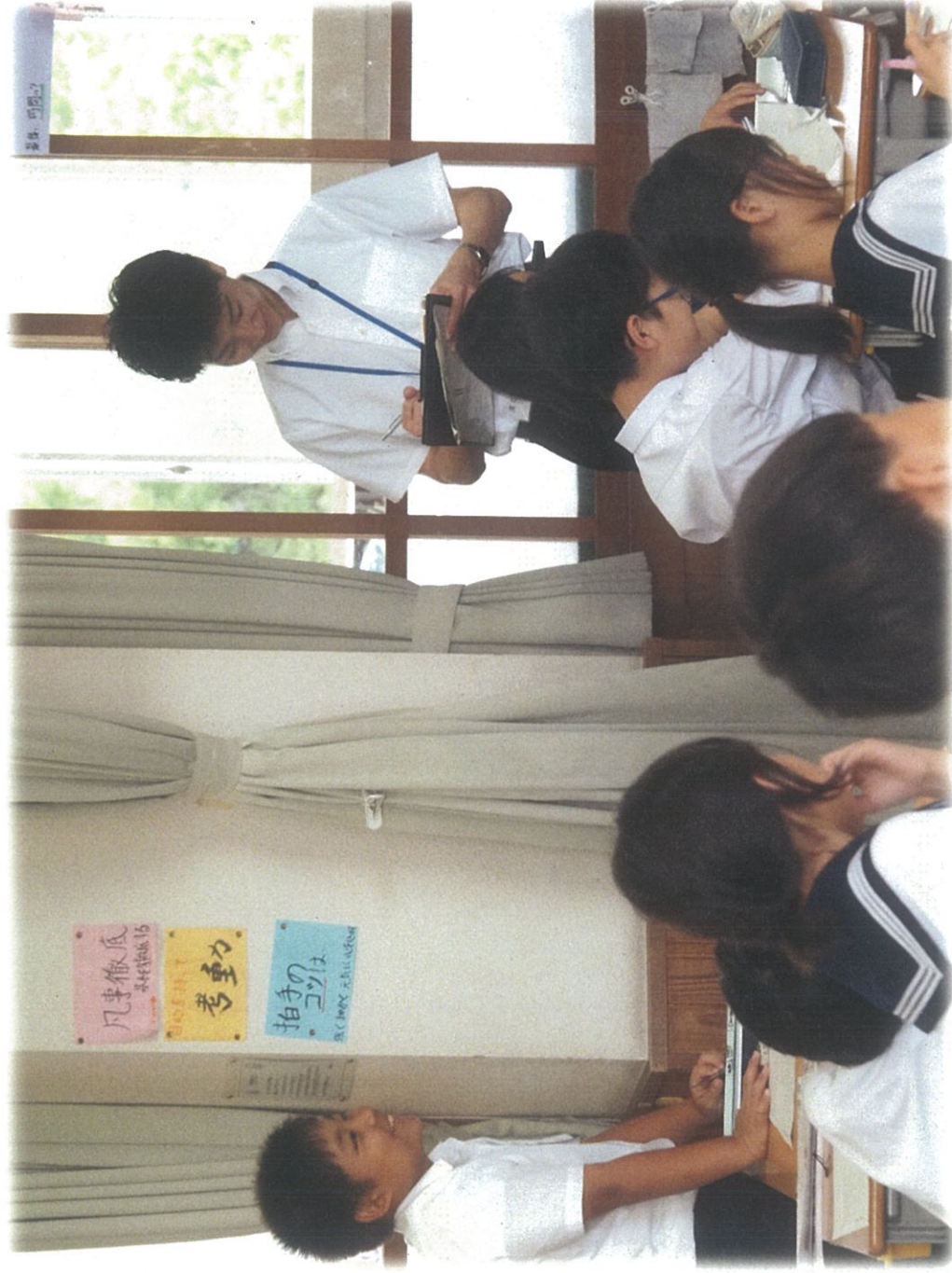


R7. 6. 24

3 年部休み時間の様子

積極的アプローチ

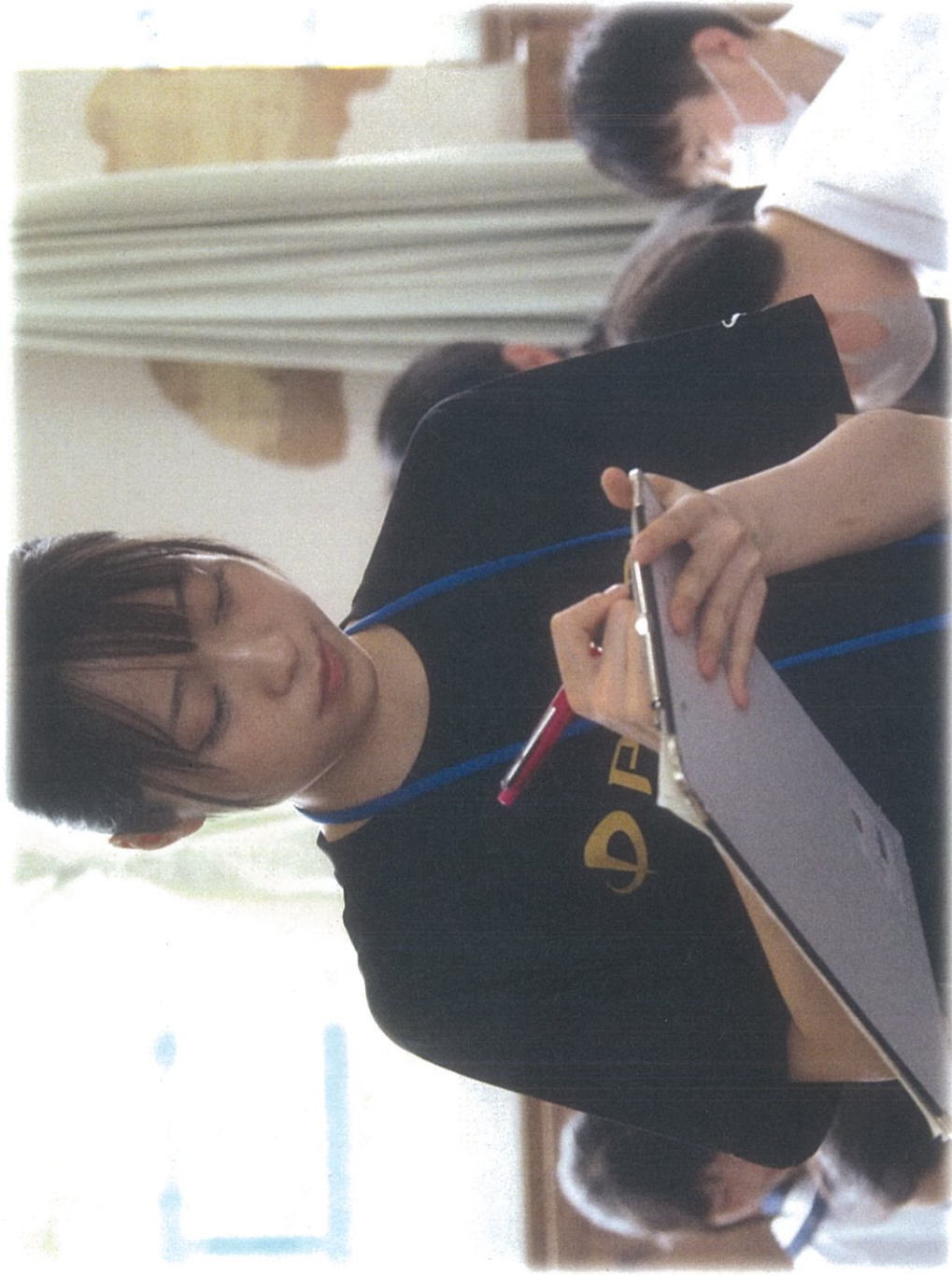
児童理解のためには、自分から子供たちに話しかけてコミュニケーションをとる。笑顔で積極的にアプローチすることで心の距離感もグンと縮まります。



R7. 6. 24 5年部授業の様子

フロアを見取る

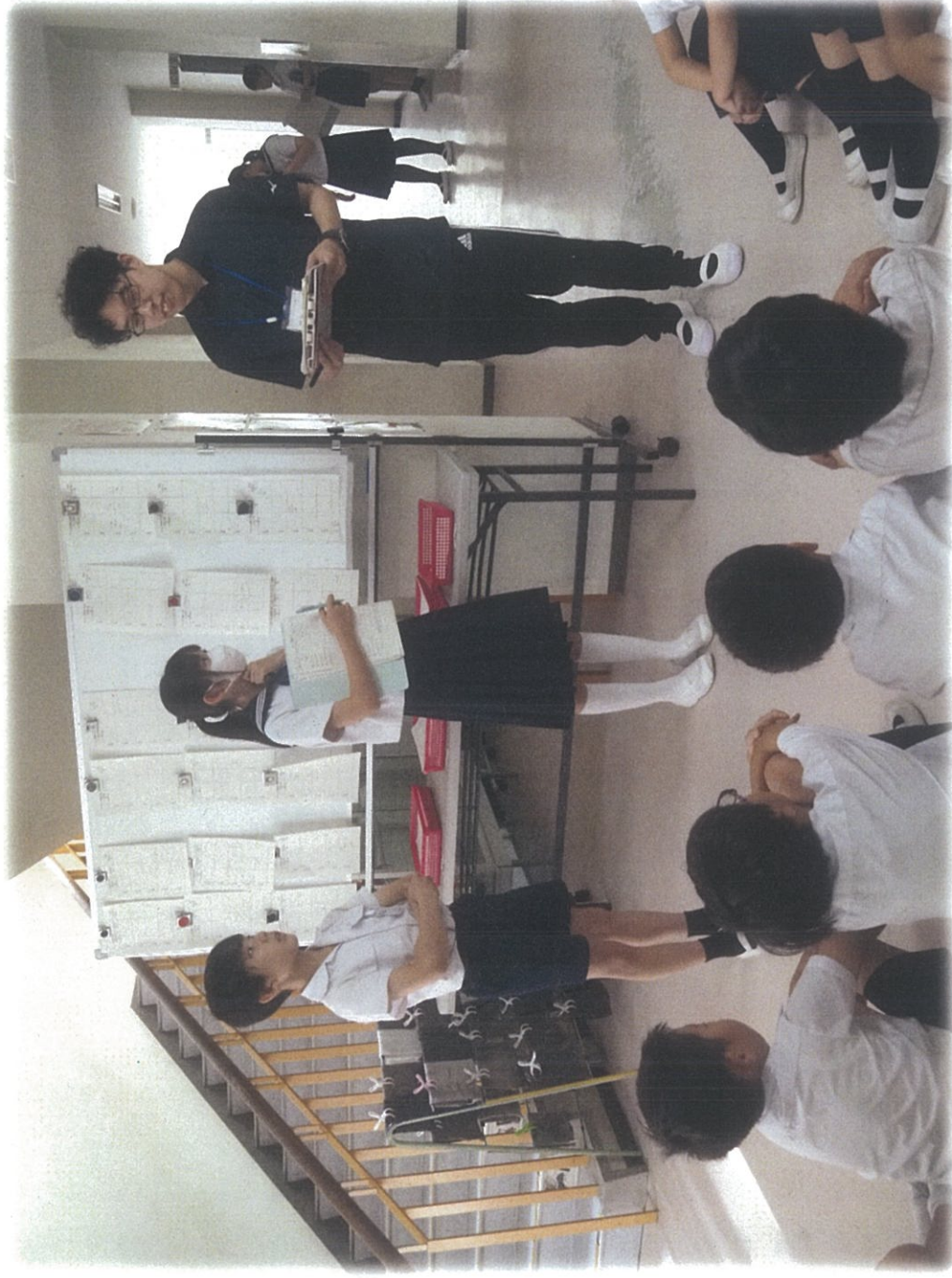
教室の前から授業観察をする。先生や発表者だけでなく、話を聴いたり考えたりするフロアの子供の表情や学びの姿を見取ることができる。



R7. 6. 24 6年部授業の様子

メモ！メモ！メモ！

授業も講話も掃除も大切なことをメモにとる。大事だと思うことを考え、しっかりと聴き逃さない、見逃さない。このメモが自分の財産になります。



R7. 6. 25

キラキラ掃除の様子

一人一人

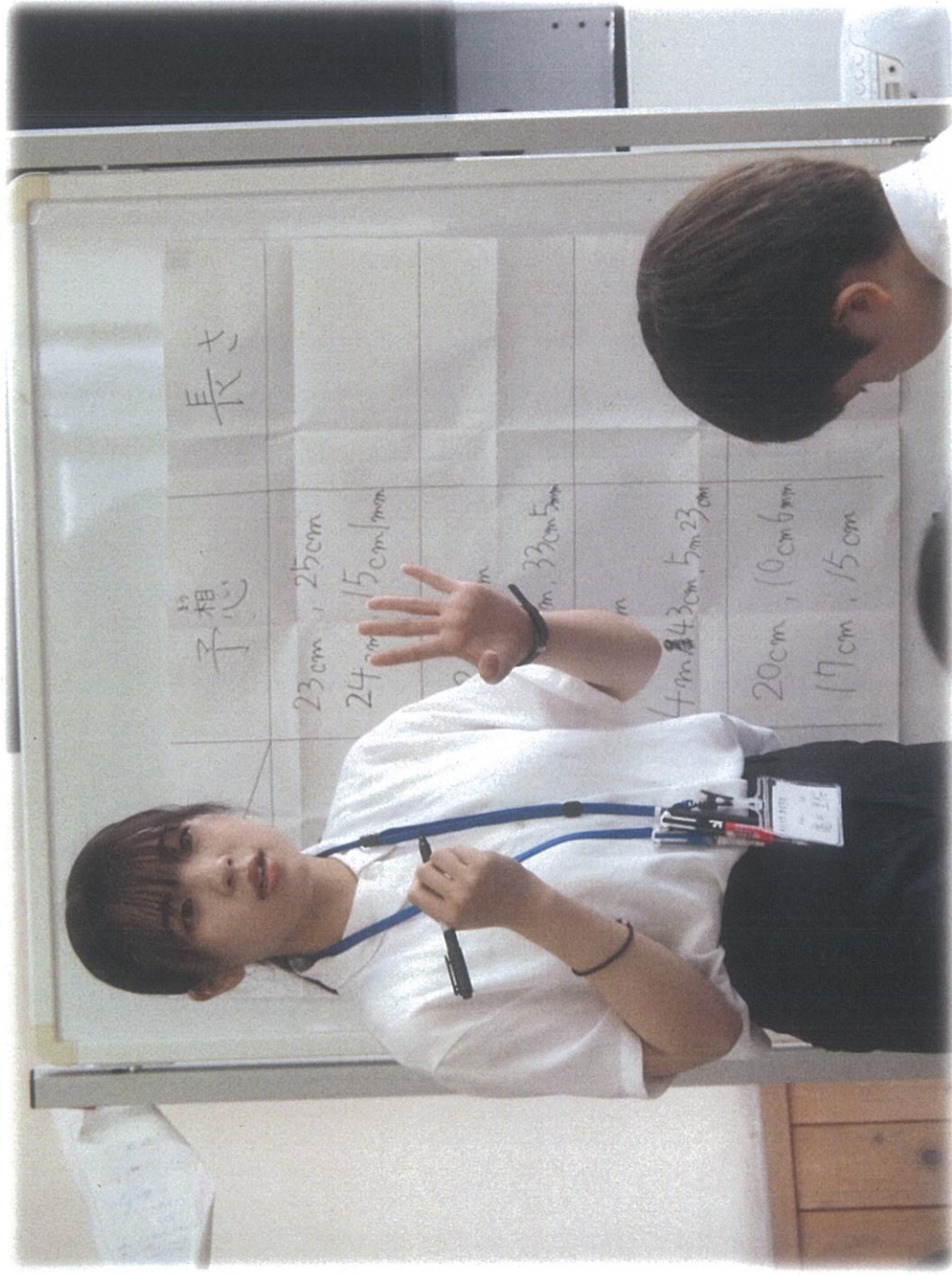
キラキラ掃除で見取った子供のがんばっているすてきな姿を価値づける。一人一人の名前をあげて話すことで、具体的に、子供たちのやる気もアツプします。



R6. 6. 25 3 年部昼休みの様子

心通わせる

昼休み、子供たちに囲まれて、にぎやかに話をしています。子供たちと先生の楽しそうな笑顔から、心が通っているのが伝わってきます。



R7. 6. 25 3年部授業の様子

挑戦者

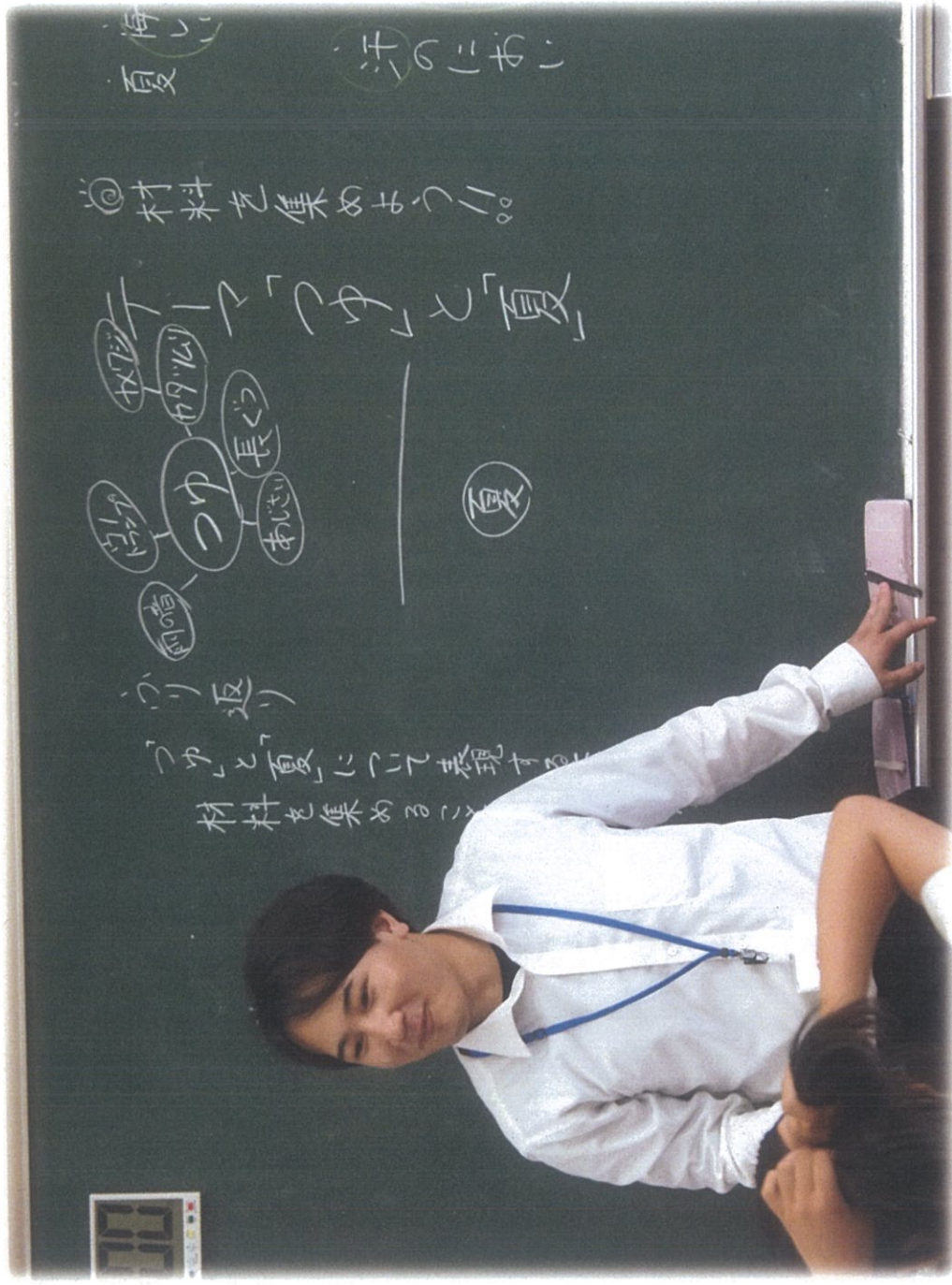
授業チャレンジ。はじめて子供の前で授業をする。上手くいったこともいかなかったことも、チャレンジしたことは、次につながる全てが学びです。



R7. 6. 25 5 年部授業後の様子

体験を経験にチェンジ

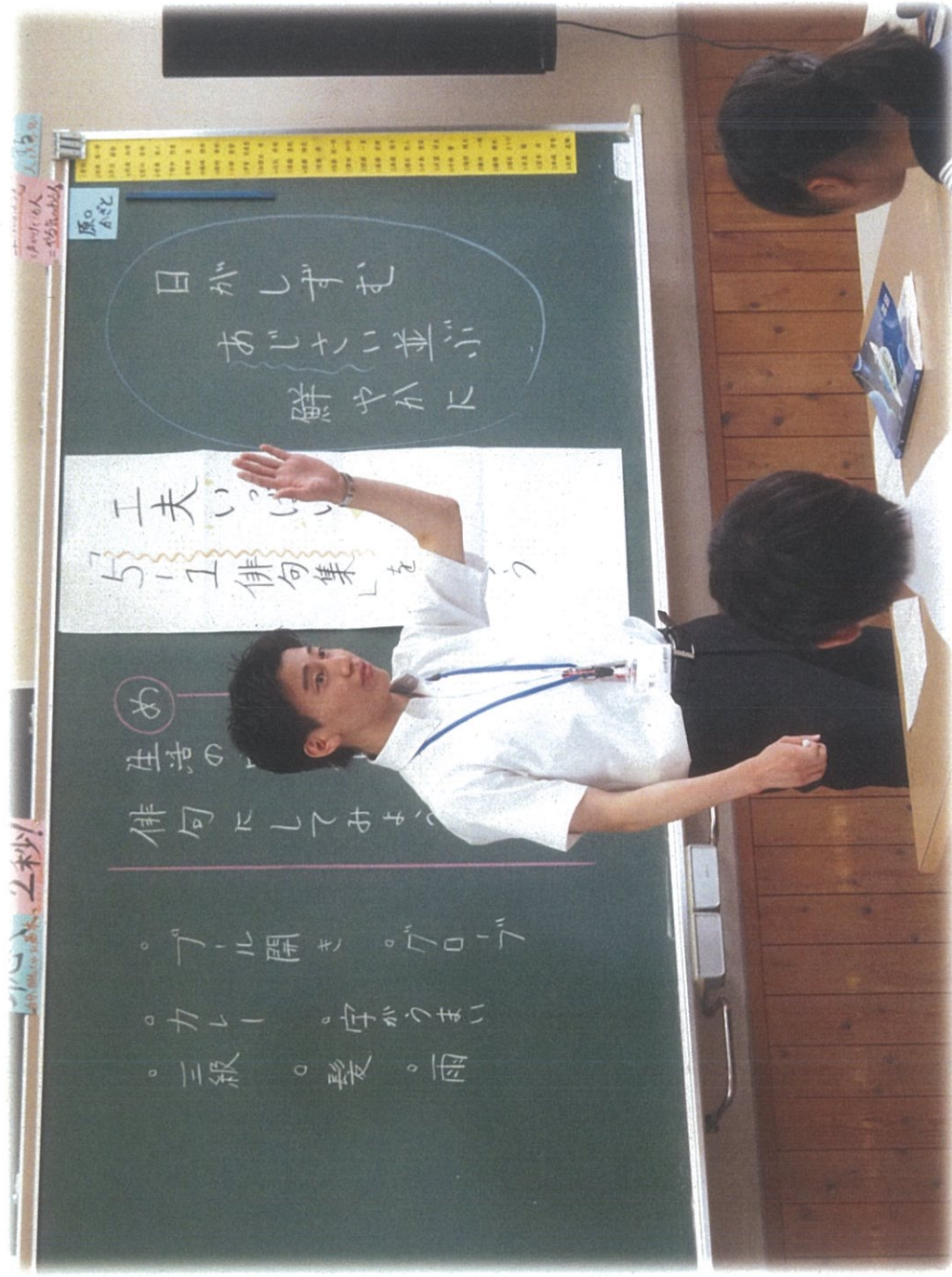
授業にチャレンジしてうまくいったこと
いかなかったことを振り返る。体験を経
験にチェンジすることが自分の力。次の
授業はきつとよくなっているはずです。



R7. 6. 25 5 年部授業の様子

思考ツールの活用

俳句の材料を集めるために、ウェビングマップを使う。思考ツールを活用すること
も子供の考えを広げたり、深めたりする
よい手立てです。

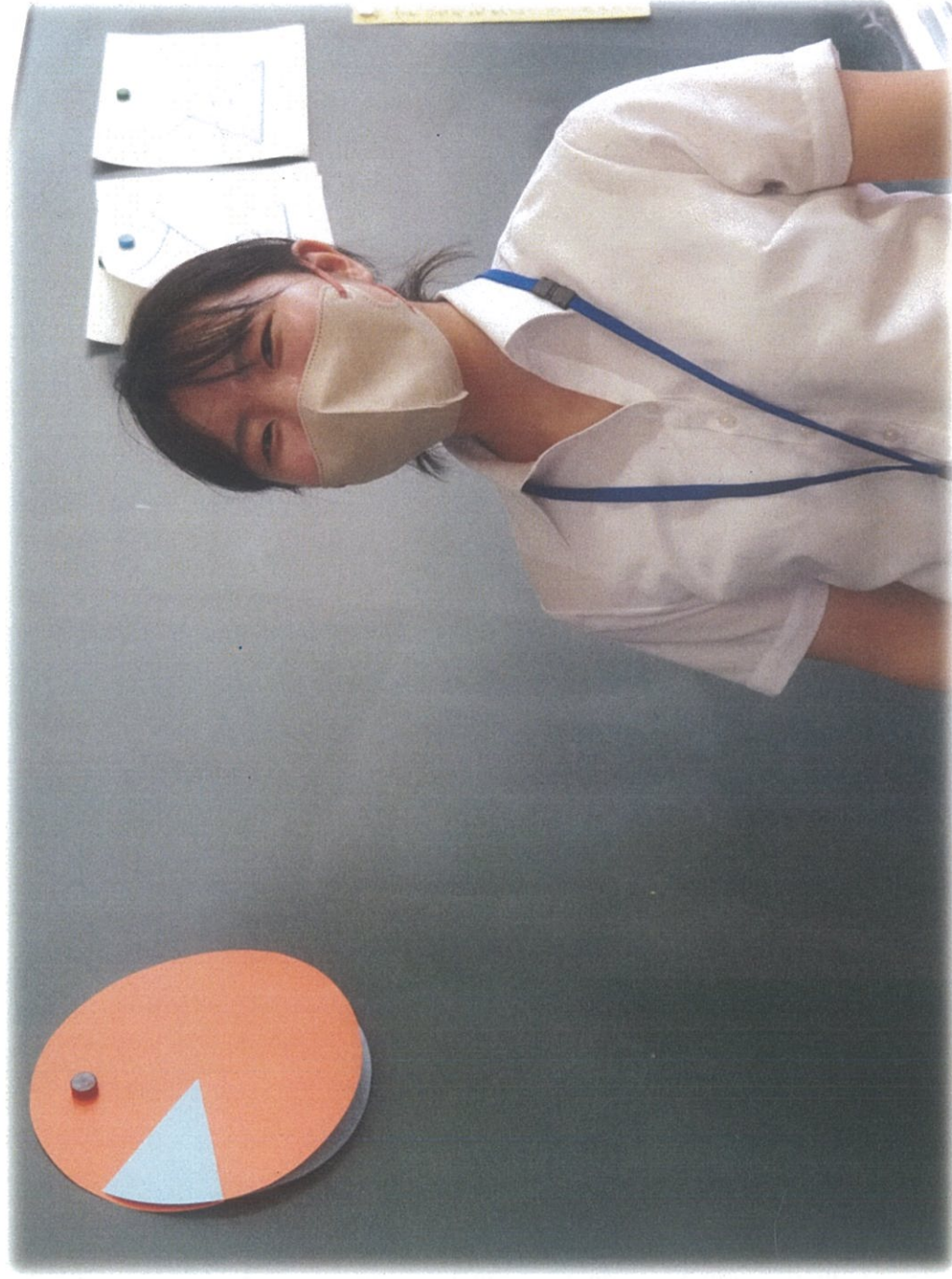


R7. 6. 25

5 年部授業の様子

ハキハキと話す

子供に伝わるようにしっかりとした声で話す。話し方一つで、授業の盛り上がりはひと味もふた味も変わってくる。どんな話し方をすればいいか考えてみよう。



R6. 6. 25

4 年部授業準備

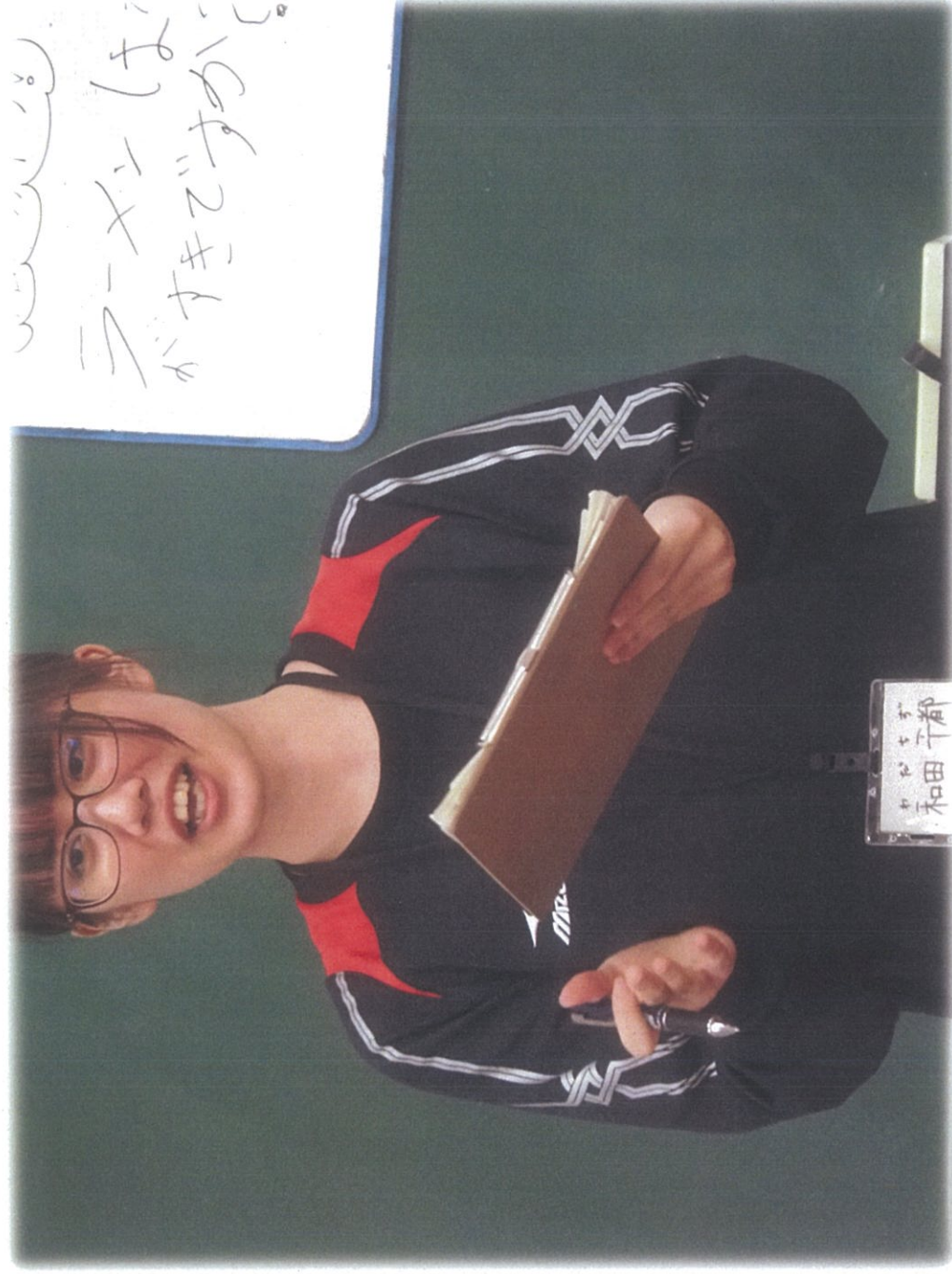
教具の工夫

角度について、子供の興味や意欲を引き出し、理解を図るために教具を工夫する。子供の学習に対する手立てを自分なりに考えている姿勢が見事です。



近くで聴く

児童の理解度を見とるためには、**ノートやつぶやき、表情を観察**する必要があります。そこがわかっている授業者は自然と**目線の高さや身体の距離が近く**なります。



R7. 6. 25 朝の会の様子

子供に宣言

朝の会で、子供たちに自分の今日のめあてを伝える。子供たちも一緒にがんばろうという意欲を高め、朝のスタートが、盛り上がっていました。



R7. 6. 25 6 年部授業の様子

経験したからこそ

チャレンジ授業。実際に子供たちと授業をすることで、その後の授業観察での気付きが変わり、考える視点も増える。経験したからこそ分かることがある。



R7. 6. 25 朝休みの様子

あさいち

学級担任の仕事は、授業だけではありません。朝、学校に来てから早速、提出物のチェック。この時間も子供たちとのコミュニケーションに有効活用してました。



R7. 6. 25 5年部授業の様子

仲間から吸収

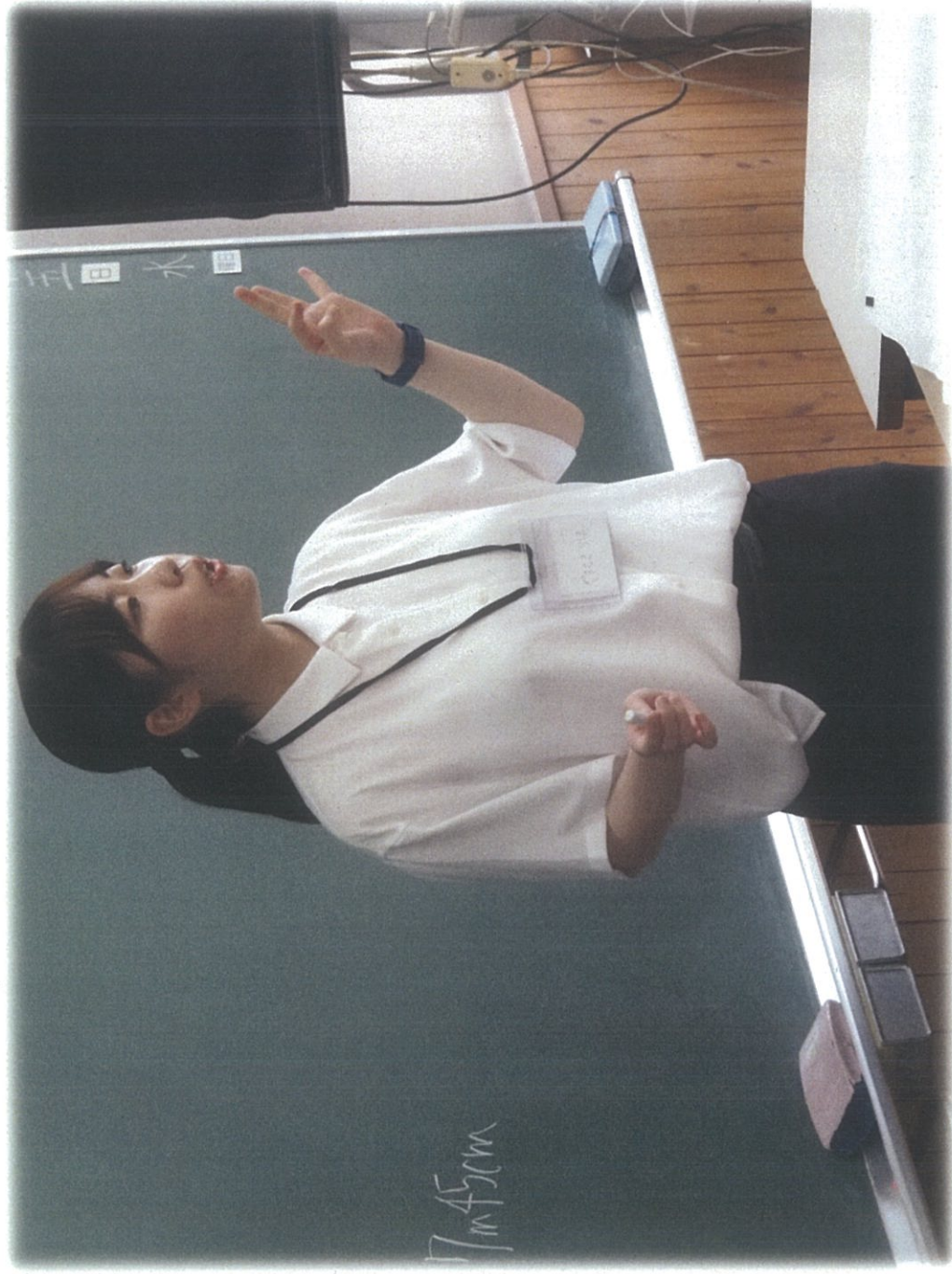
仲間が授業にチャレンジする姿から、多くのことを吸収して、自分の授業に生かす。仲間の授業は、自分が成長をするチャンスです。自分事として観察しましょう。



R7. 6. 25 朝の挨拶運動の様子

子供と共に

子供のがんばりに注目し、朝のあいさつ運動に参加する。子供と一緒に活動をすることで、見えてくることを感じることもたくさんあります。子供も喜びます。



R7. 6. 25 3年部授業の様子

困りをもとに

子供が、解決したい課題を持つことがで
きるようにする。子供がやってみて感じ
た「困り」をもとにすることは、とても有
効な手立てになっていました。



R7. 6. 25 5年部授業の様子

動き続けるペン

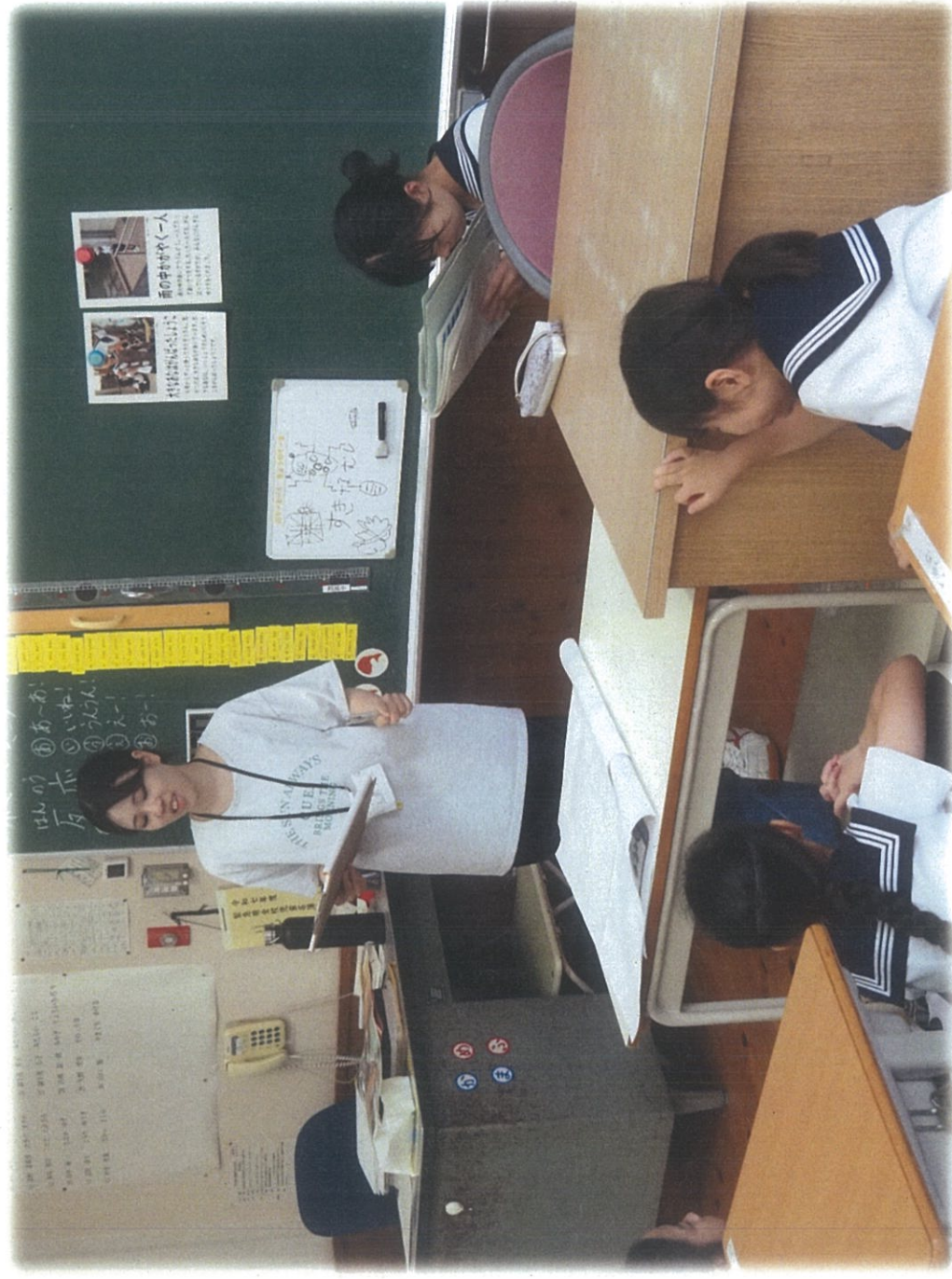
授業や掃除、朝の会の子供と教師の発言や行動、気付いたことを徹底して記録し、見返す。終始動き続けるペンが、たくさんの学びを得ていることの証。



R7. 6. 26 | 1年部授業の様子

子供が説明をする

先生が上手な説明をするのではなく、子供たちが自分の考えを説明する。子供を中心にして授業を進めようとしている姿が表れています。



R7. 6. 26 キラキラ掃除

記録をもとに

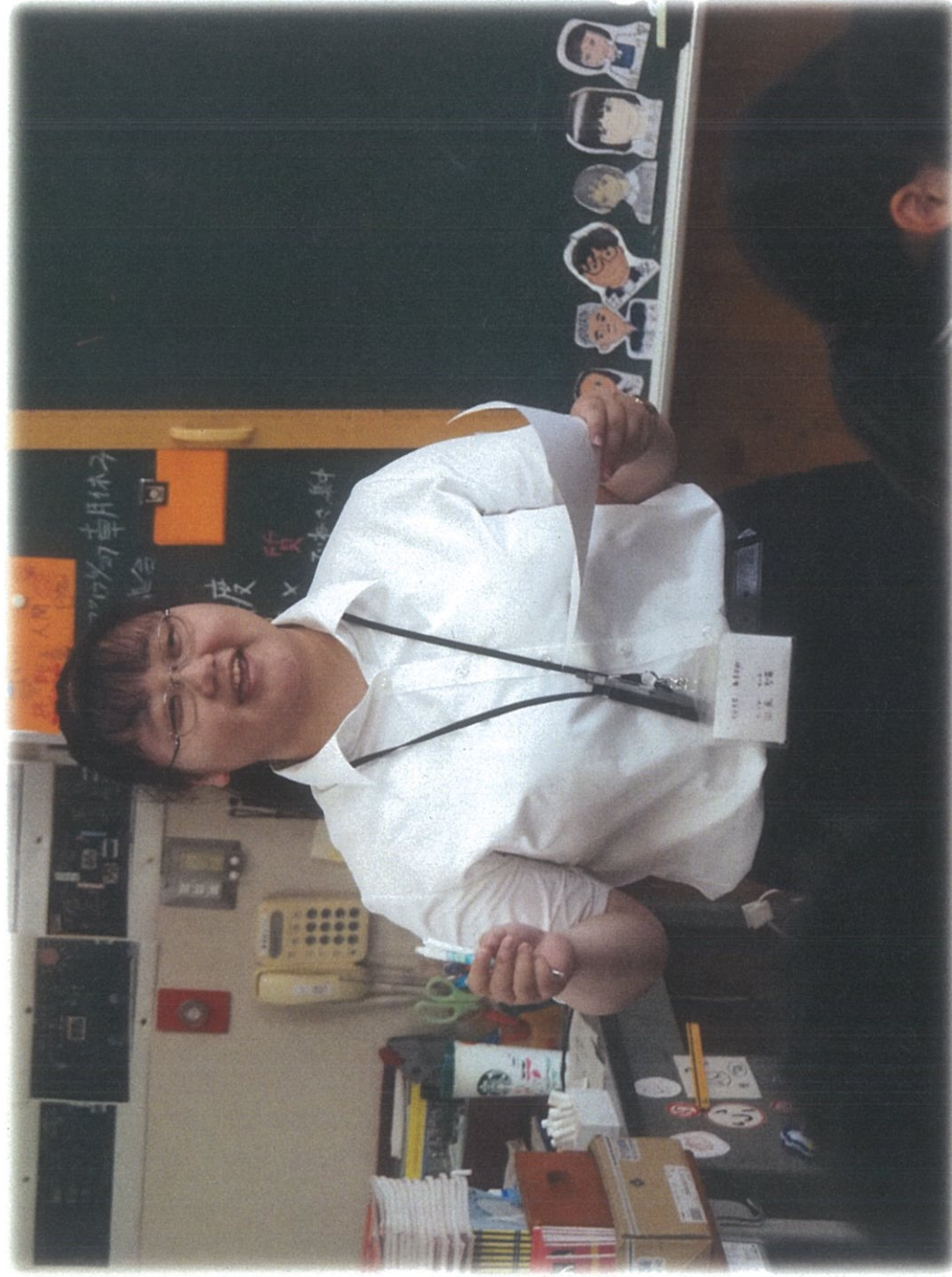
掃除の振り返り。子供の取組の姿をしっかりと記録し、事実をもとにがんばり価値づけする。最後の励ましの言葉も子供たちのやる気につながっていました。



R7. 6. 26 あいさつ運動の様子

一人が輝く

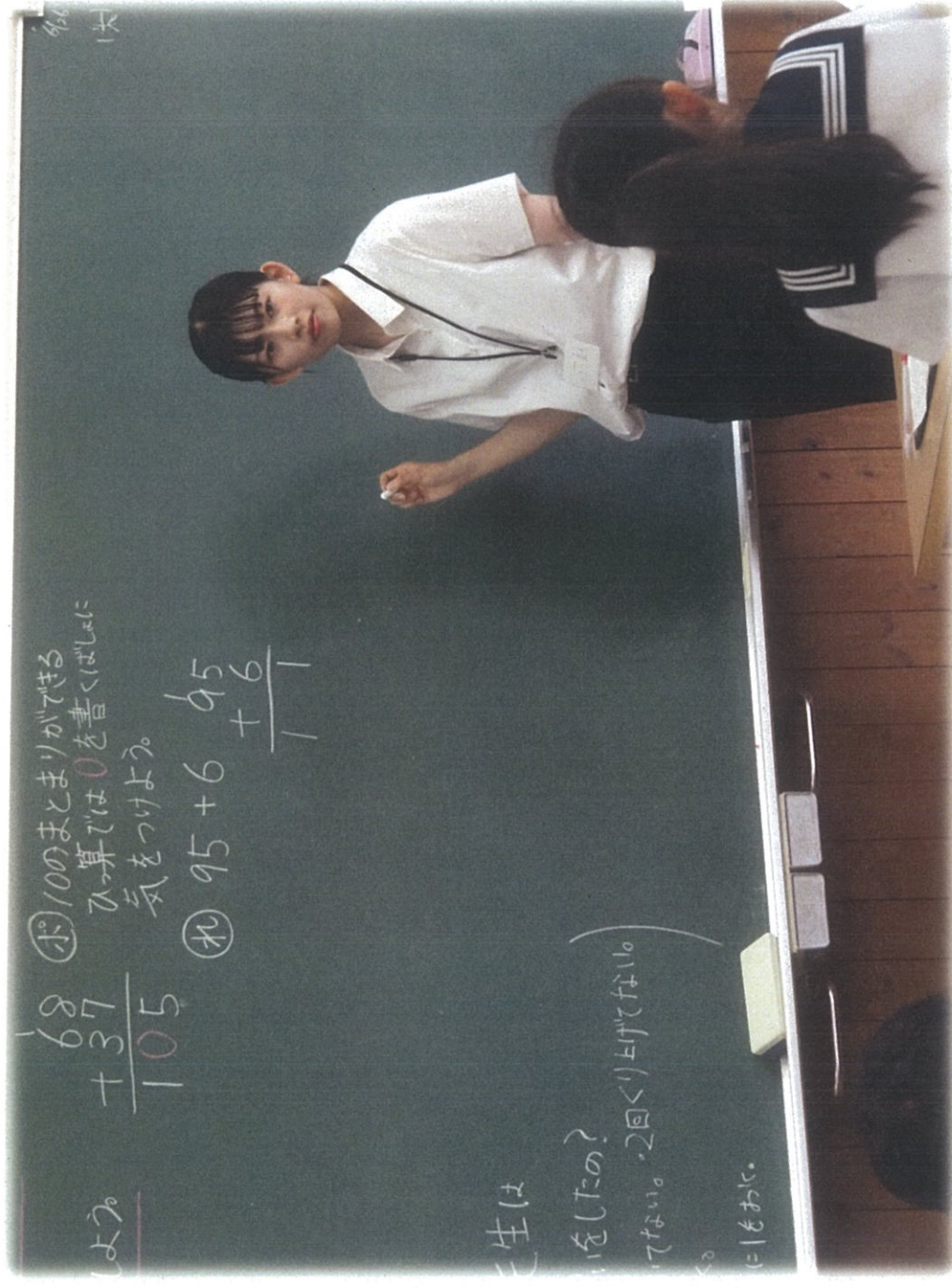
朝のあいさつ運動に子供たちと一緒に参加する。他の実習生がいなくても進んで参加する姿勢に、この実習で学ぼうとする強い意欲が表れています。



R7. 6. 26 6年部授業の様子

意欲をかき立てる

子供が楽しく学べるようにゲーム要素を取り入れてみる。楽しそうに漢字のゲームをする子供たち。何より授業者が楽しそうですね。



R7. 6. 26 2年部授業の様子

無駄な挑戦はない

授業チャレンジ、初めて子供たちの前で
授業をする。予想とは違う子供の発言や
反応に戸惑うのは当たり前。この挑戦を
次に繋いでいくことが大事。



R7. 6. 26 6年部授業の様子

万能ツール座席表

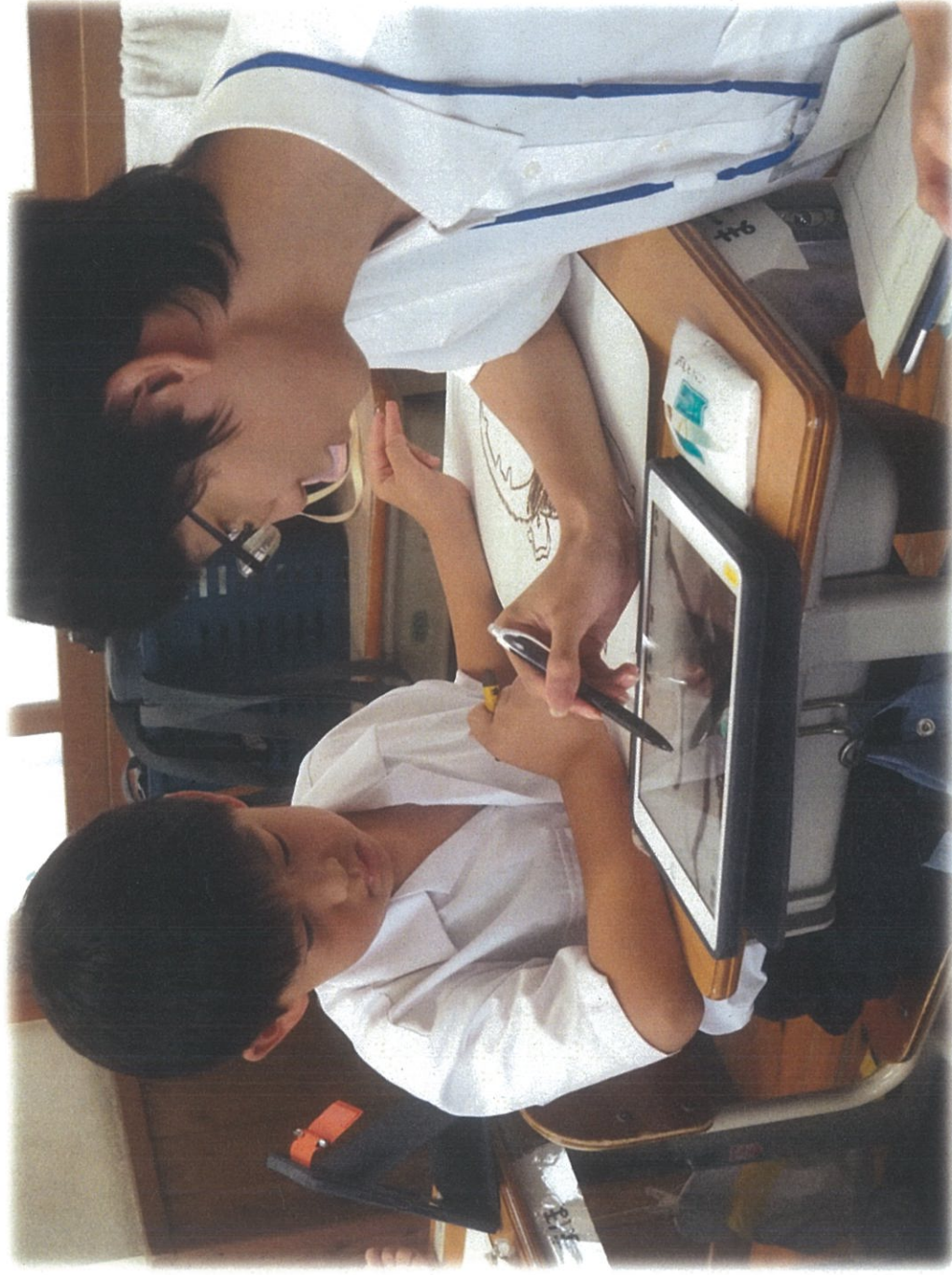
授業の児童の学びの様子を見取る。見取った一人一人の様子を、座席表に記録する。そして、それを元に展開していく。座席表は見取りの万能ツールです。



R7. 6. 26 6年生授業の様子

フラットな目線で

子供たちと同じ目線の高さで話しかける。自分の目線を子供たちに合わせると、自然に子供の見方や考え方が分かるようになってきます。



R7. 6. 26 1 年部授業の様子

子供のそばに

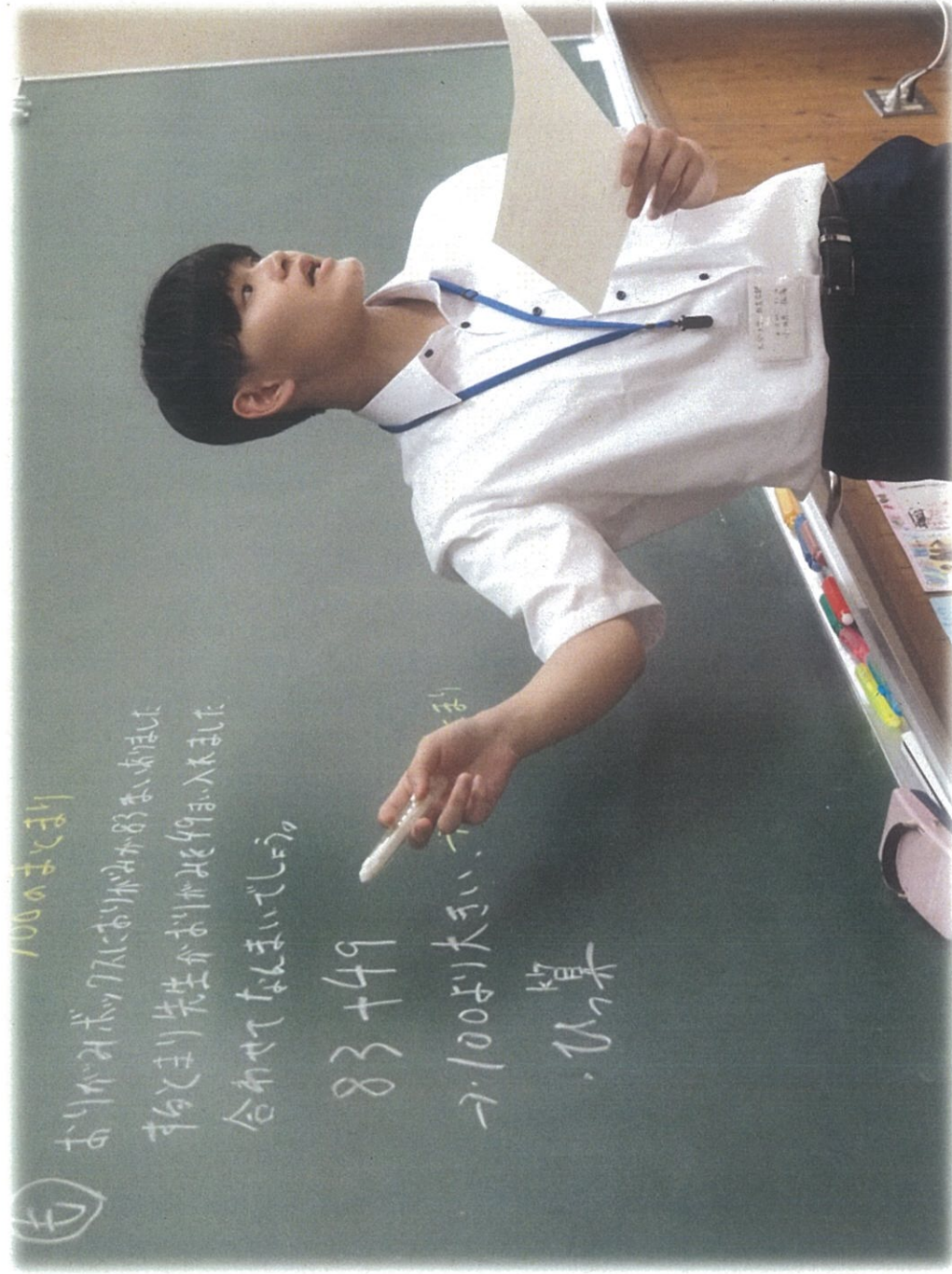
授業中、子供のそばに自分から行く。子供のつぶやきを聴き取る、子供の書いたものを見取る。子供の理解や思いをしっかりと掴むためには必要です。

(7) おりがみボックスにおりがみが83まいはいり
すくしまり先生かおりがみを49まい入れました
合わせてなんまいでしょう。

$$83 + 49$$

→100より大きい、ひき算

・ひき算



R7. 6. 26 2年部授業の様子

チャレンジヤー

チャレンジ授業では、挑戦する気持ち
が何よりも大切。うまくいったこと、いかな
かったことをしっかりと振り返って、本
実習の授業の糧にする。



R7. 6. 27 1年生授業の様子

安心感のある話し方

子供たちに声をかける。話す内容はもちろん、声のトーンや話すスピード、目線、表情、言葉遣いも大切です。優しい話し方は、子供たちに安心感を与えます。



R7. .6. 27 観察実習事後研修会

学びを言語化する

観察実習での学びをシートに記入する。
次々と書き込まれる多くの言葉に5日間
での学びの大きさを感じます。成果や課
題を再確認して本実習への準備に。



R7. 6. 27 観察実習事後研修会

学びのアウトプット

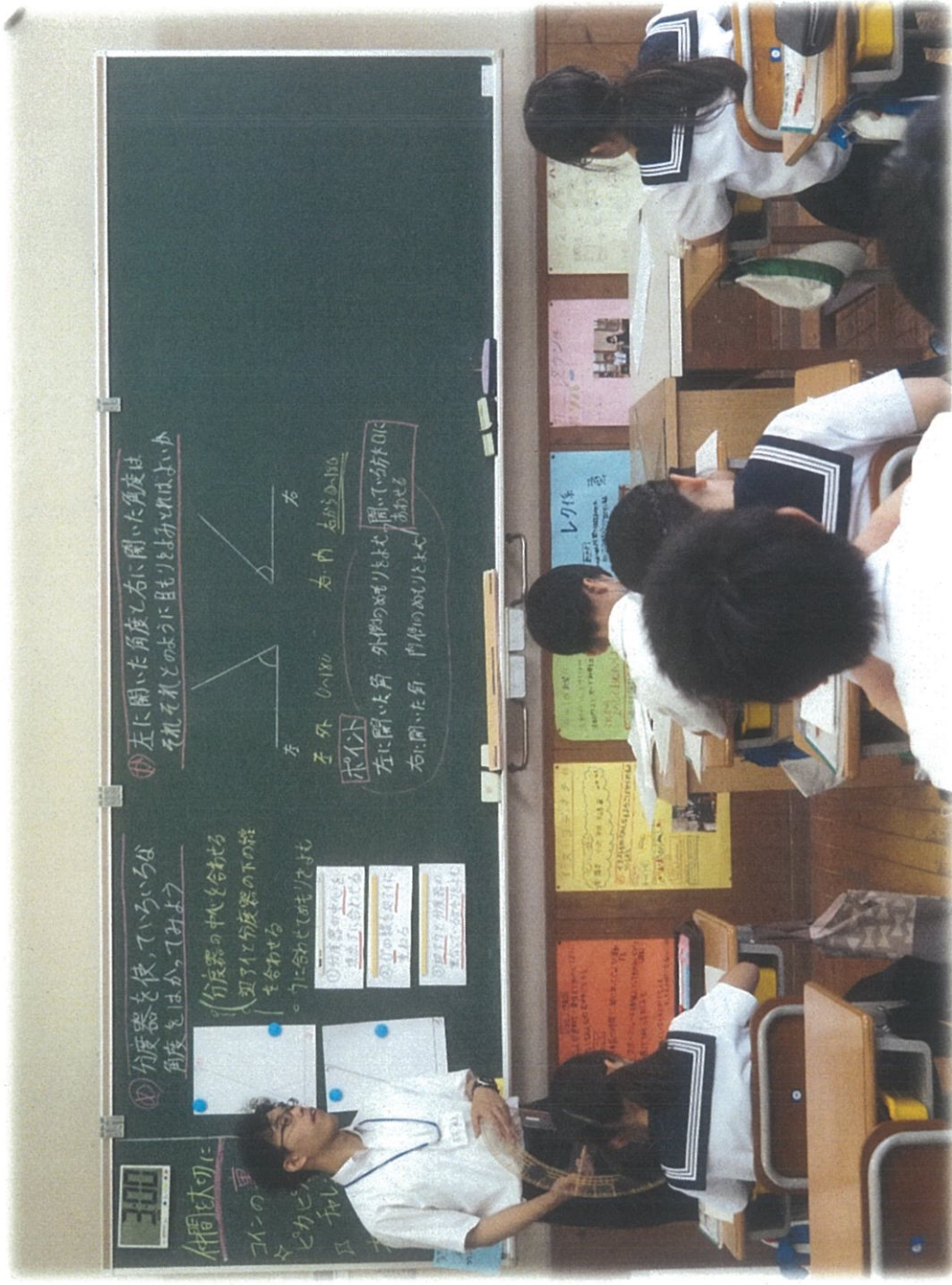
観察実習での学びをアウトプットする。
子供との関わりで得たこと。チャレンジ
授業で感じた自己の課題。自分の言葉で
語ることで本実習の目標が明確になる。



R7. 6. 27 中休みの様子

子供の命を守る指導力

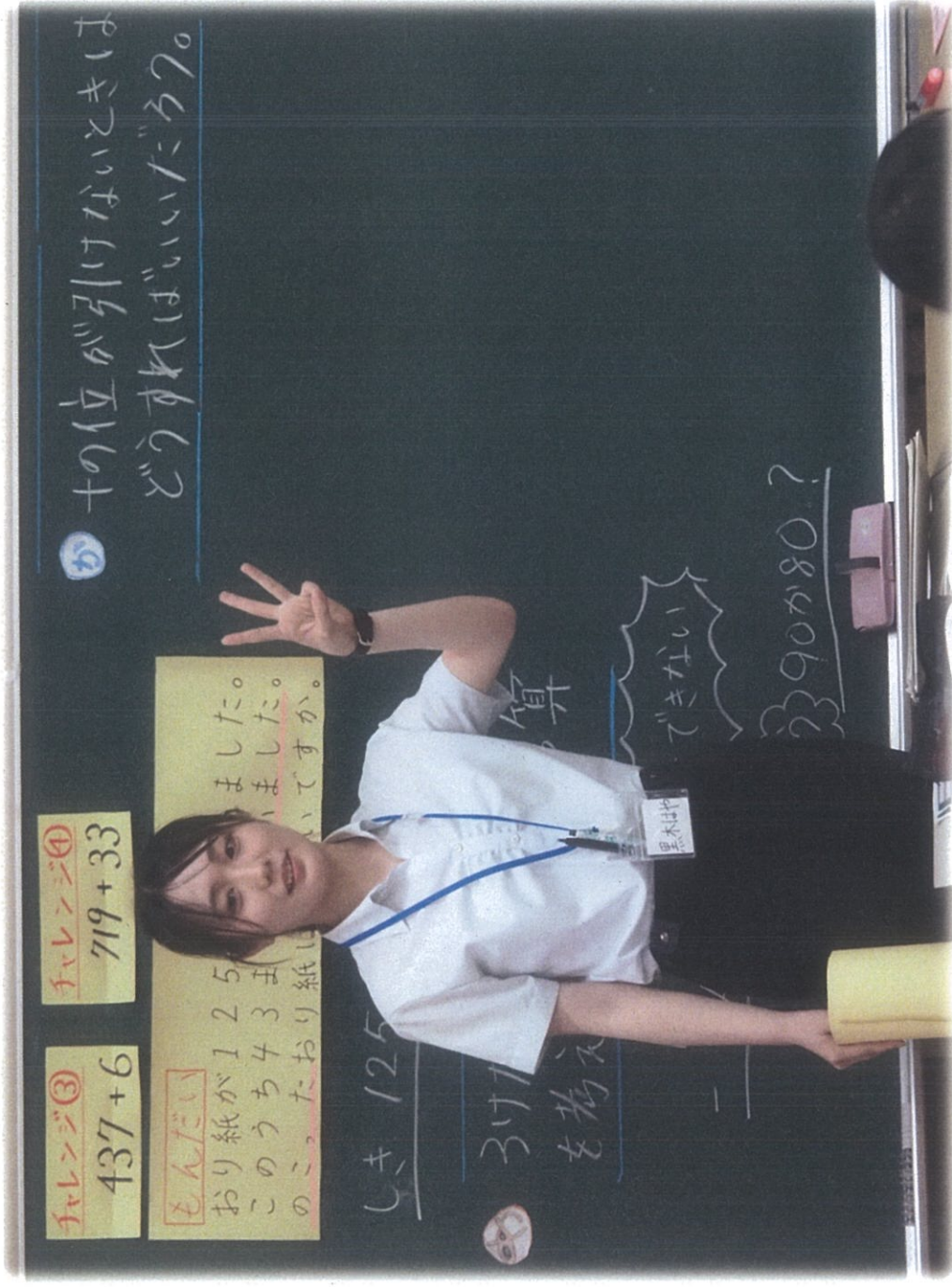
横断歩道での一旦停止。一緒にいる子供に一声掛けて渡る。この一声が大事です。安全と安心に気付く。子供の命を守るために、指導できることは大切です。



R7. 6. 27 4年部授業の様子

計画的板書＝三分割

学習の内容や流れが分かりやすくなるように、基本の三分割をしています。板書計画にもとづいて、スペースも確保できています。子供たちの学びのための板書。

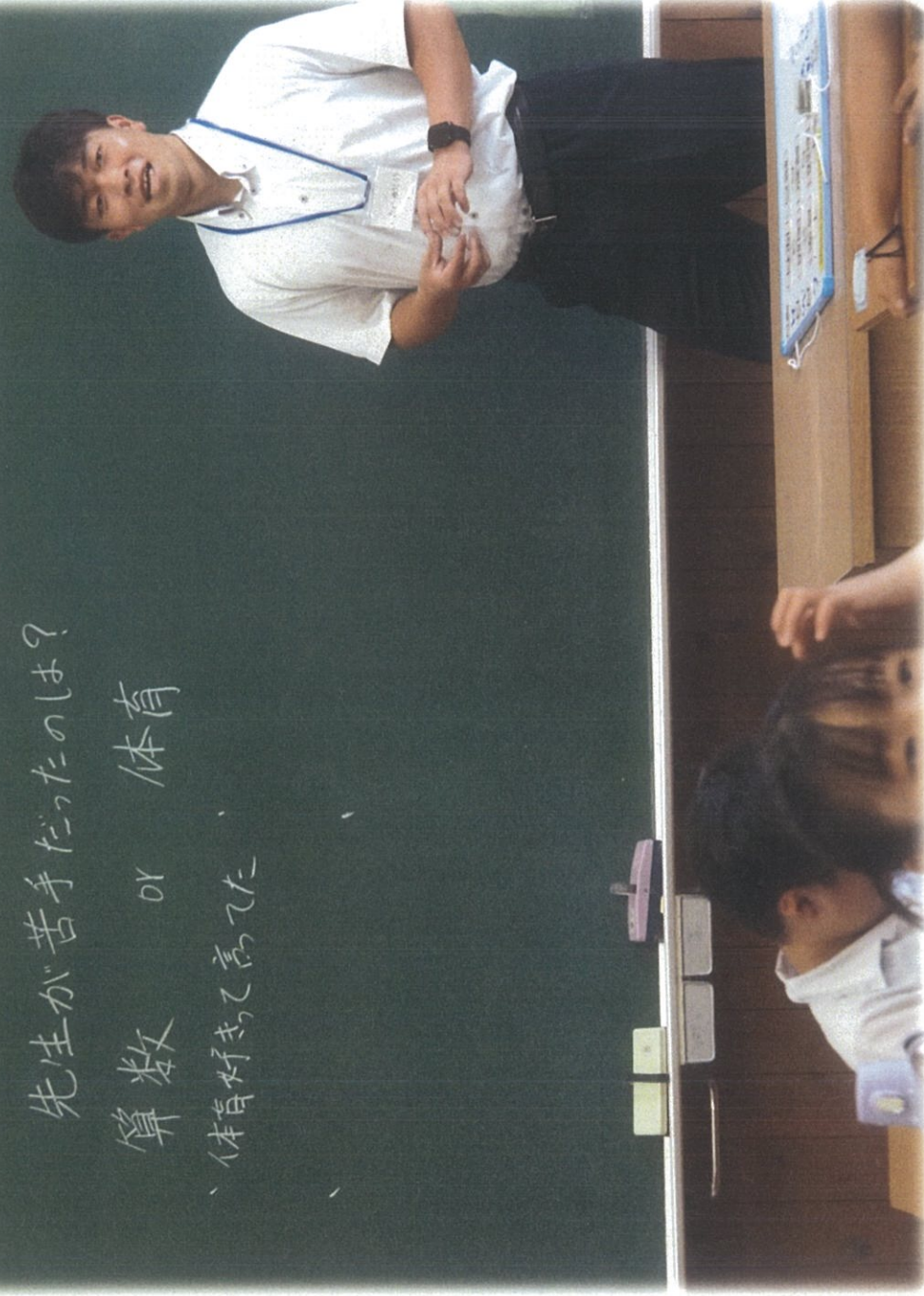


R7. 6. 27 2年生授業の様子

困りの壁から

前時までの計算との違いから、子供たちが困りを感じ、解決方法を考える必要性を持つことができるようにする。子供たちが越える壁が、課題です。

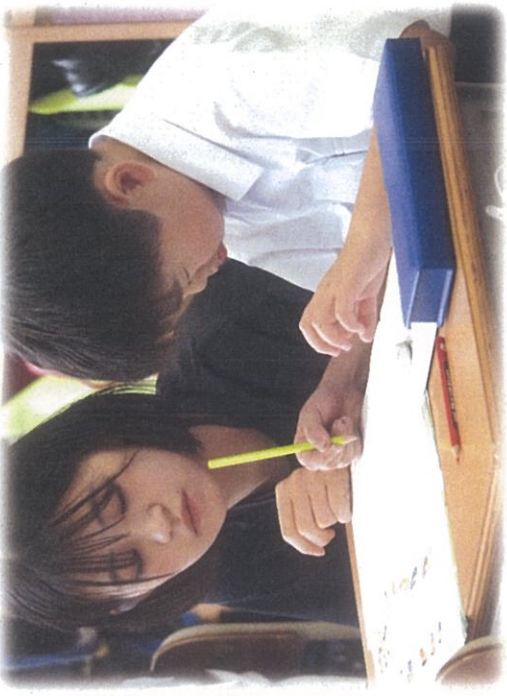
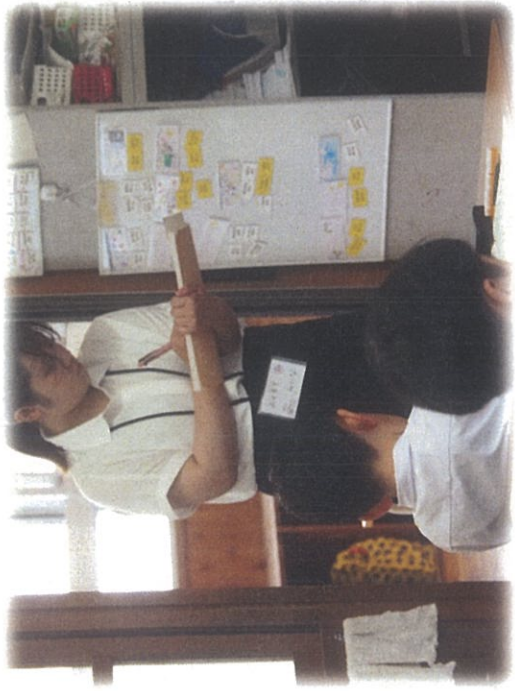
先生が苦手だったのは？
算数 or 体育
、体育が苦手だった



R7. 6. 27 4年生朝の会

自己開示

朝の会で、自分が苦手だった教科について、子供たちと話をして盛り上がる。自分の事を思い切って話してみることで、子供との距離は大きく縮まる。



R7. 6. 27 授業の様子

修正力

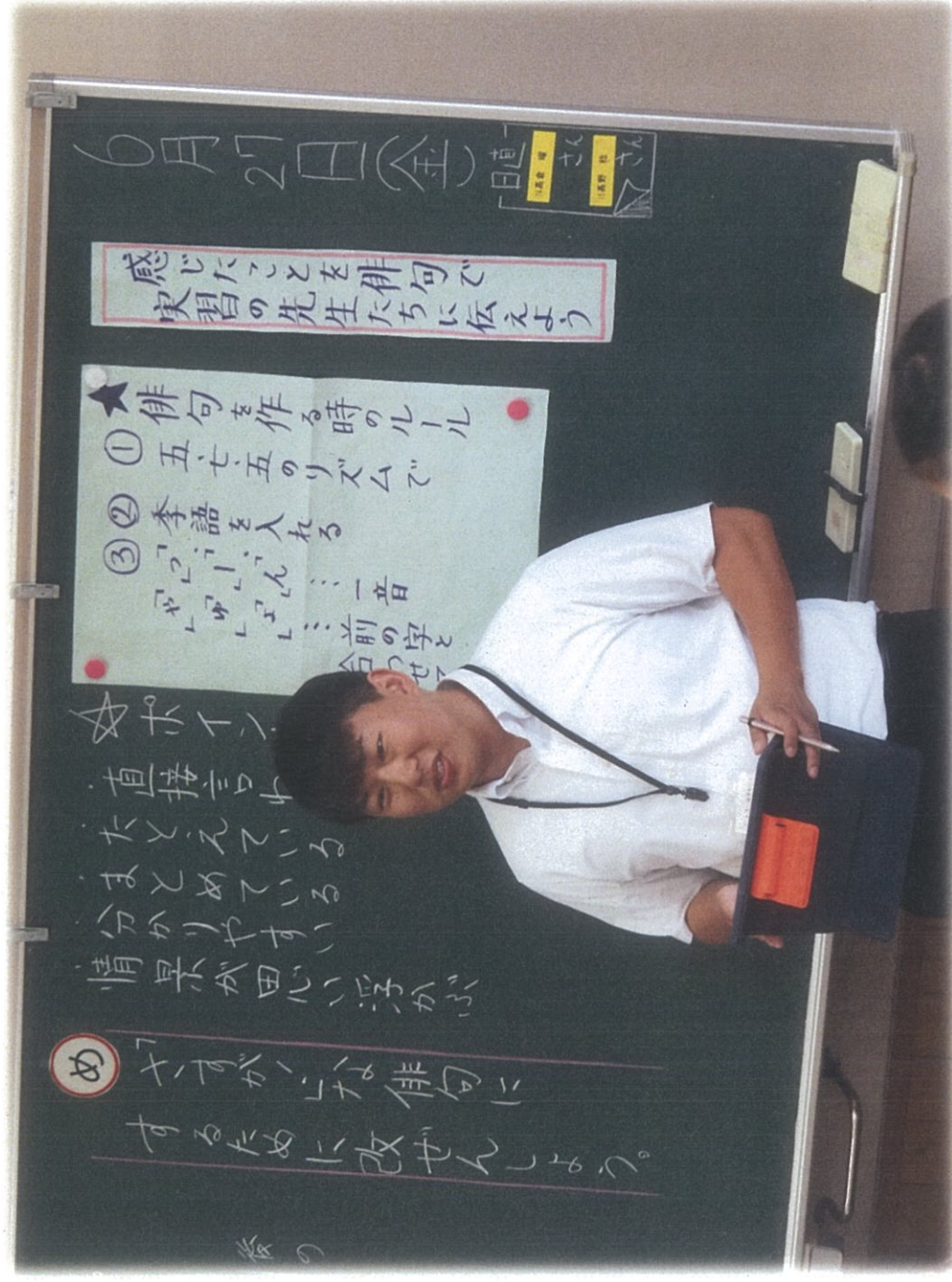
前日に話したことを次の日から即実行する。どの教室でも前や座って子供の様子を見取る姿が見られました。すぐにやってみるという修正力の高さ。



R7. 6. 27 3年生授業の様子

一人一人を見取る

子供たちが話合いながらノートに書いて
いる様子を机間指導しながら見取る。一
人一人の考えや学びの様子を記録にと
り、次の授業展開に生かす。



R7. 6. 27 5年部授業の様子

単元ゴールを明確に設定

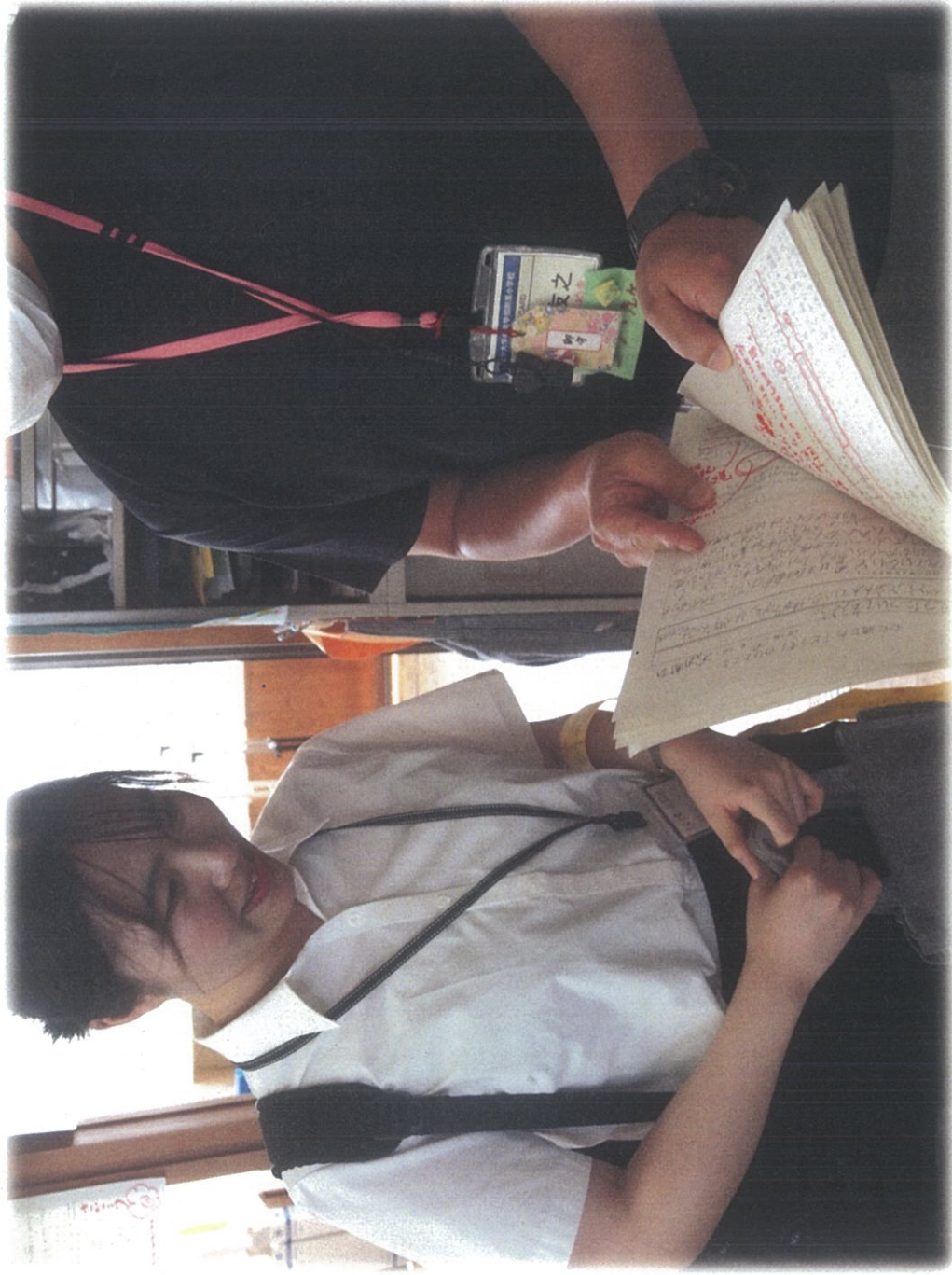
俳句の授業3時間を順番に進める。単元
ゴールを明確に設定することで、1～3
時間の授業内容が整理できる。単元構想
を意識して、ぶれない授業展開に繋がる。



R7. 6. 27 昼休みの様子

背中から伝わる

休み時間、ブランコの前に座っている2人。何を話しているのかは分からないけれど、2人の心の距離が縮まっていることは、背中から伝わってきます。



R7. 6. 27 6年部授業の様子

一人一人へのメッセージ

道徳の授業でのワークシート。子供たちが書いた振り返りに、一人一人合わせてメッセージを書く。自分の小学校時代に先生からもらった喜びを子供たちに。



R7. 6. 27 6年生授業の様子

グループの力

アルファベットの線対称・点対称・その他に分ける。1人1台端末を効果的に使いながらグループで考える。子供たちが主体的に考えを出し合う姿がありました。



R7. 6. 30 観察実習オリエンテーション

スタートダッシュ

観察実習がよいよ始まります。席に着いたら、自分から今日配付やこれまでの資料を進んで見返す。実習へのスタートダッシュ！意欲の表れ！



R7. 6. 30 観察実習オリエンテーション

目標＝進むべき方向

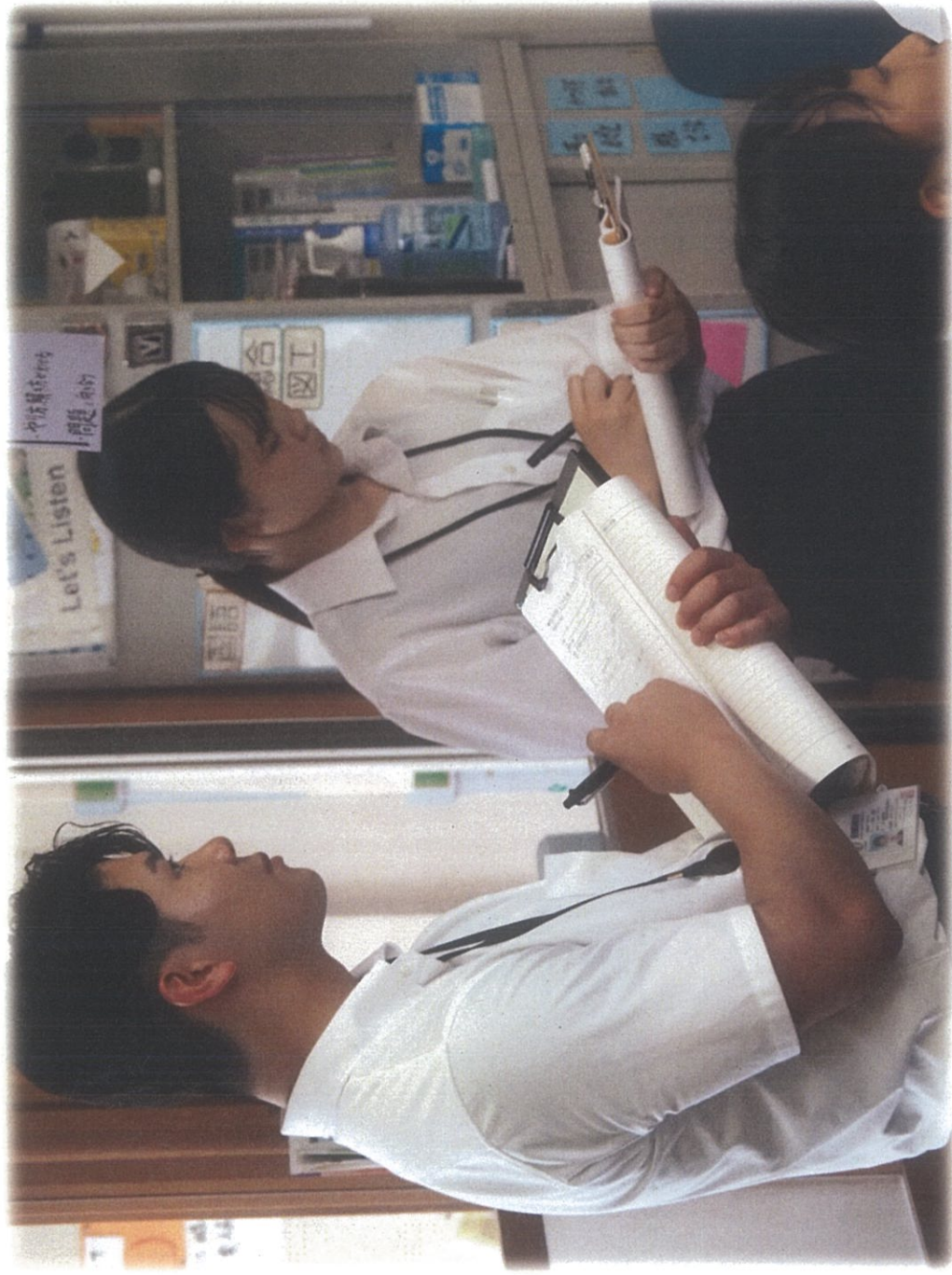
観察実習のスタート。中学校や幼稚園での
実習経験を生かして、小学校での学び
を積み上げることができるよう、しっ
かりと自分の進むべき方向を考える。



R7. 6. 30 4年生自己紹介の様子

ファーストインパクト

子供たちとの初めての出会い。子供たちも実習生もドキドキとワクワクにあふれている。お互いの笑顔での顔合わせ、第一印象は大事です。



R7. 6. 30 授業観察の様子

即実行

オリエンテーションで話のあった見取り
や記録の仕方をすぐ授業で実行に移す。
素直な心が、学びへの意識を高め、自分の
力の向上に繋がります。



R7. 6. 30

授業の様子

メモの量＝学びの量

子供の姿や教師の姿をどんどんメモして
います。ノートに蓄積された多くのこと
を分析することで、授業や学級、児童を見
取る目を養うことができます。



R7. 6. 30 3年部学年・学級指導

指導案を見つめ直す

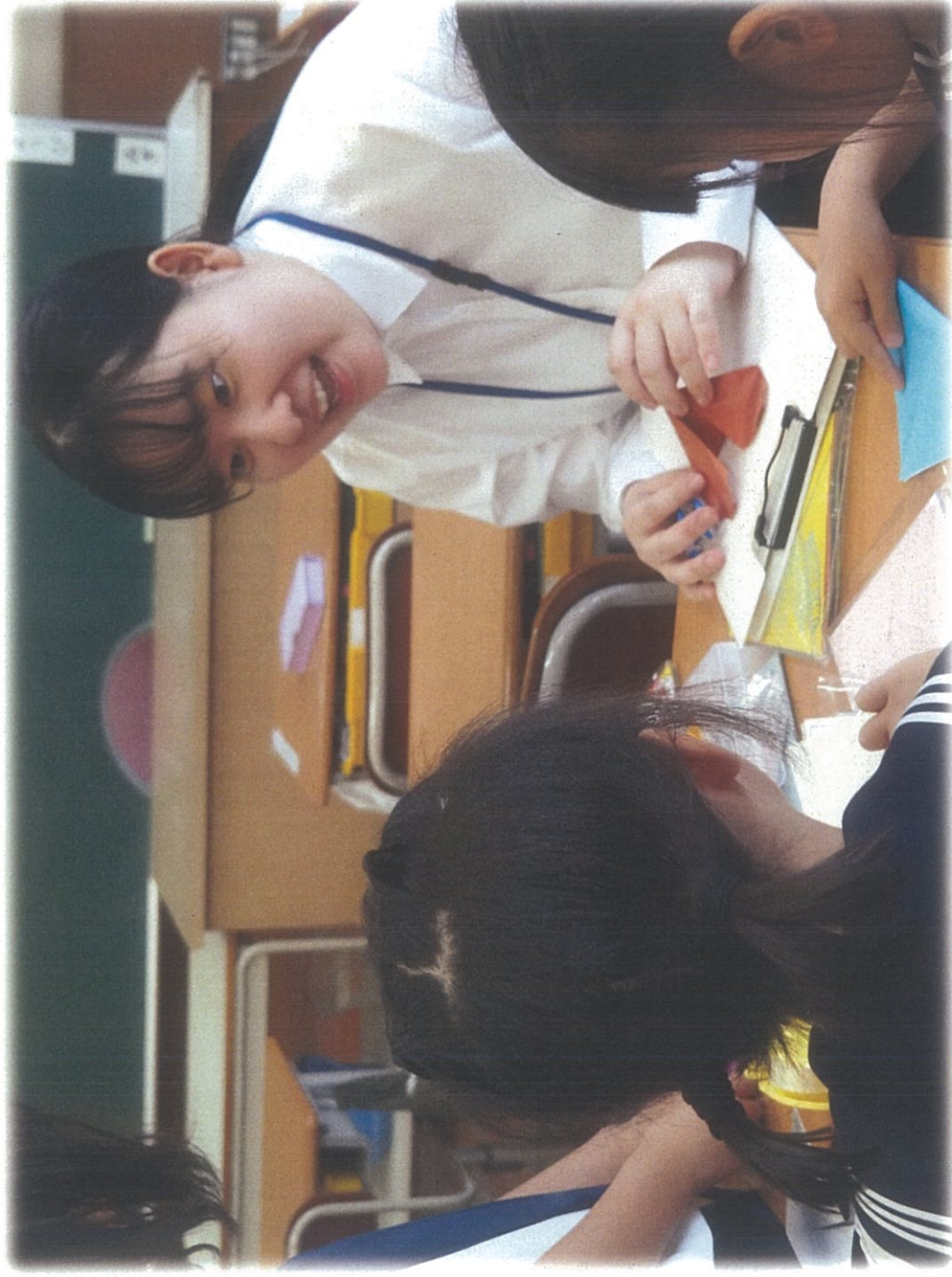
チャレンジ授業に向けて自分で作成した
板書指導案。担当教諭からのアドバイスを
聴きながら、見つめ直してみる。児童の
実態等を加えて改善に生かす。



R7. 6. 30 | 年部学年・学級指導の様

担任業務を学い

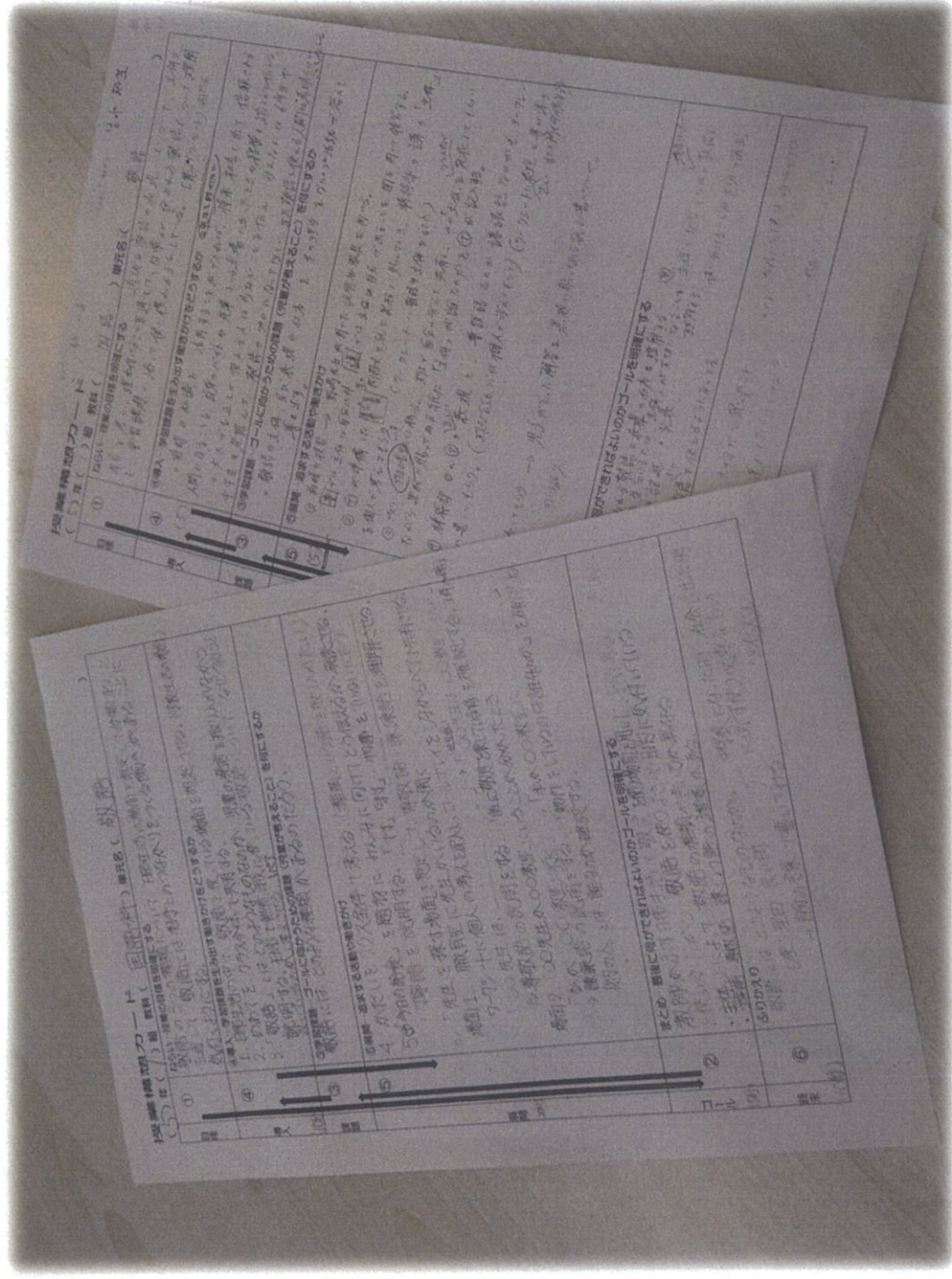
学級担任の仕事は、授業だけではありま
せん。朝、出勤してからやるべきこと、や
りたいことは、いろいろある。実習でしか
経験できないことを自ら進んで挑戦を。



R7. 6. 30 休み時間の様子

積極的コミュニケーション

休み時間も貴重な学びの時間。子供たちと遊びながら、たくさんのお話をする。児童理解への大きなチャンス。楽しそうに語り合う姿がいいですね。



R7. 6. 30 5年部学年・学級指導

授業構想図で考える

授業構想図を使いながら、一連の授業展開を考える。ていねいな教材研究をしてきた足跡が感じられます。板書指導案の内容の充実に繋がっています。



学ぶチャンスは常にある

いつ、どこで、誰から学ぶかは自分次第！
どれだけ学びのセンサーを働かせて、見たり行動に移せたりするかで、実習期間の学びの濃さが変わってきます。



学びのアウトプット

今日の自分の**成果**と**課題**は何なのか。
だから、**明日のため**は何なのか。
そのために、どう**行動**するのか。
この繰り返しが「**自分の成長**」**「子供たちのため**」に繋がります。



「課題」は期待

「褒める」ことももちろん大切ですが、**子供の成長や可能性に期待**を込めて、課題を与えることもとても大切で

す。**価値付けが成果と課題をセットで！**



下校指導の目的

下校指導の目的は、「さようなら」と元気に送り出すことだけでしょうか？

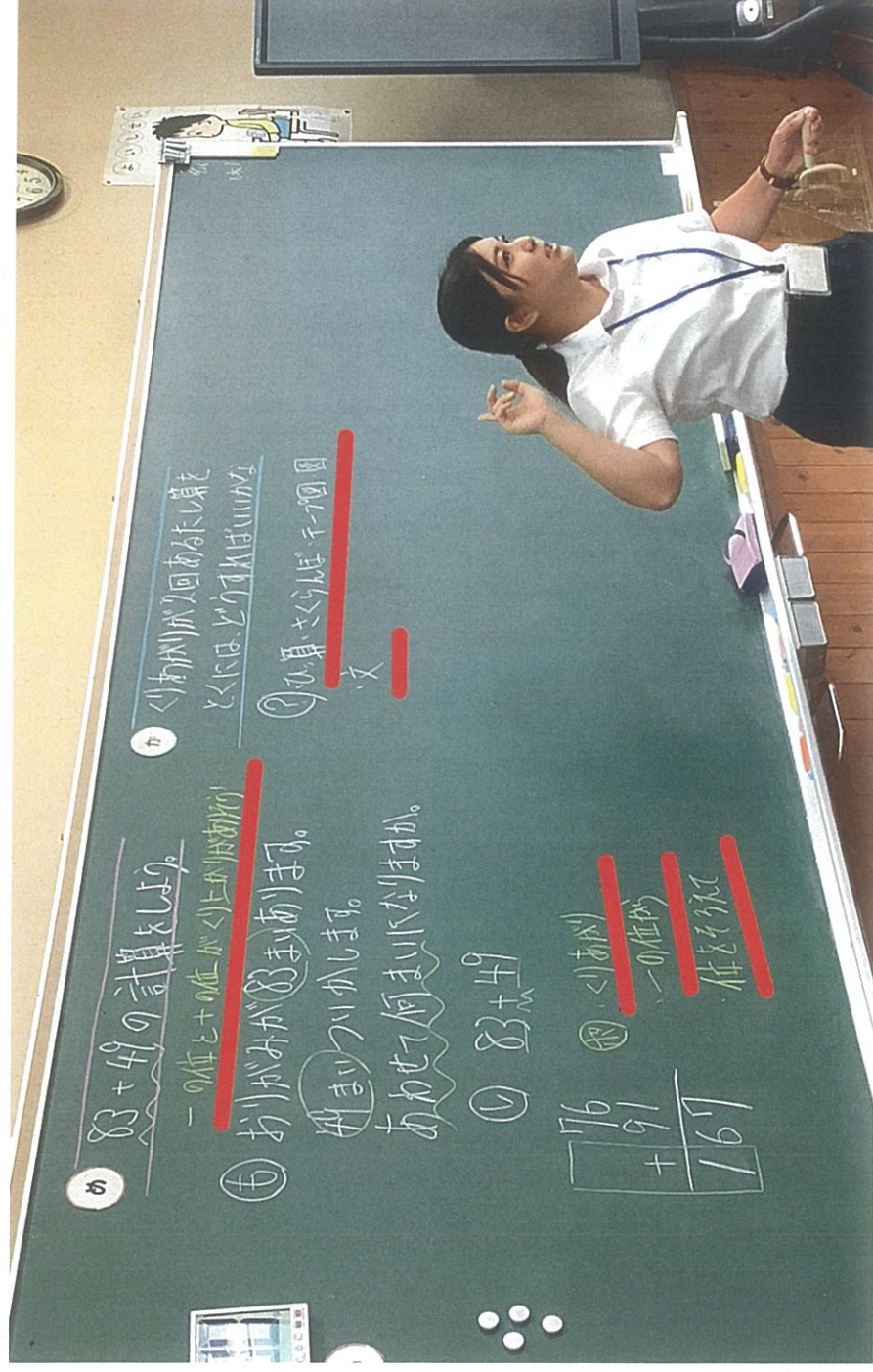
交通ルールや個人情報保護などの安全管理や、児童の些細な表情の変化も発見するチャンスです。



児童の姿で質問

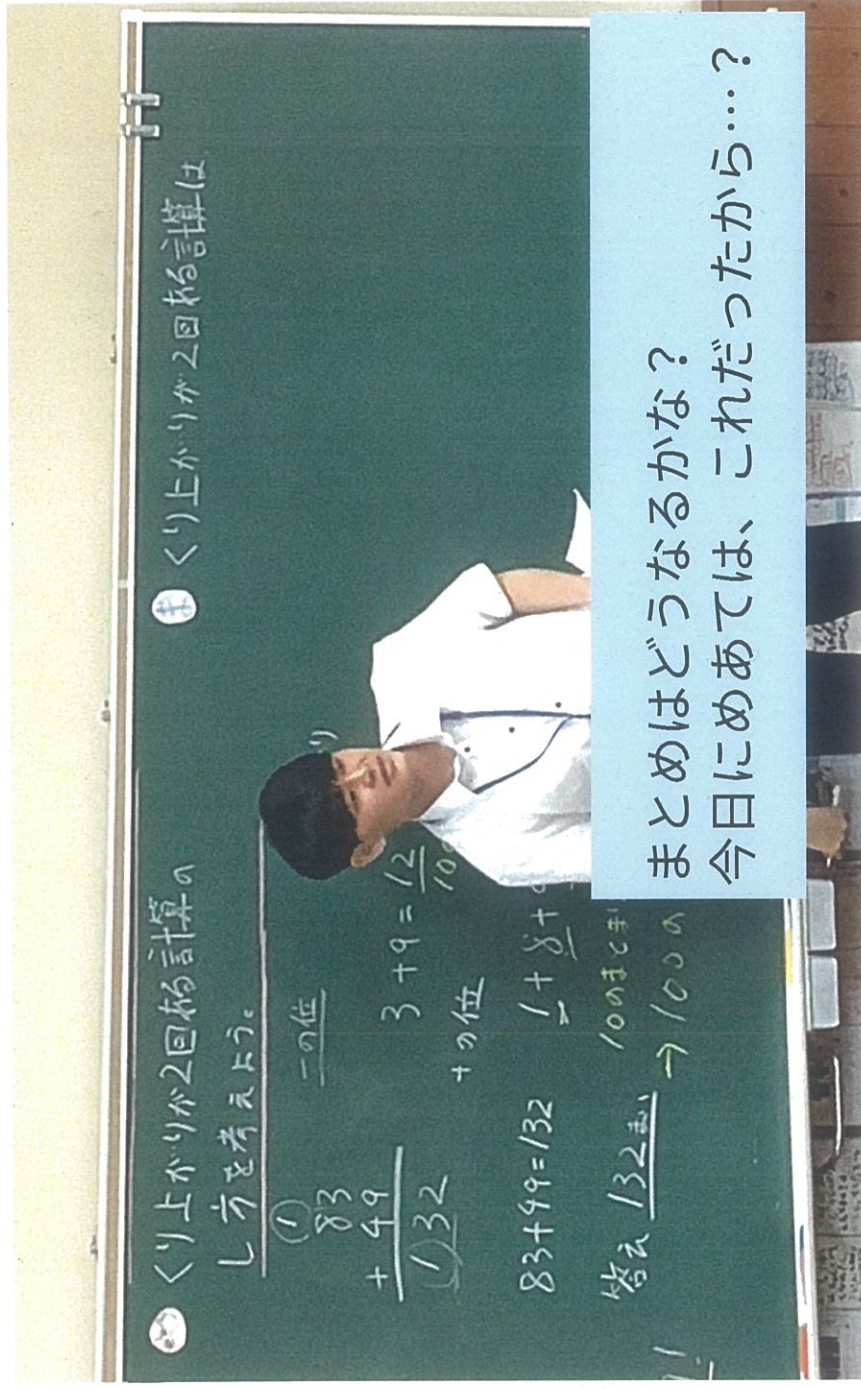
児童の姿（事実）から、疑問や課題をもち、どのようなアプローチができるかについて考えることはとても大切です。

たくさん見て、考えて、質問して、行動してみよう！



見通し

「できそう」と思えると、児童は主体的に動き始めます。
ポイントや方法案が可視化されていると、困っている児童への支援にもなります。



子供とつくる

子供たちが「自分たちの力で
きた」という気持ちで終えたいで
すよね。

おいしいところは子供たちに！



出すべき時に声を出す

「何のために実習に来たのか」

「自分はこれから子供たちにどんな指導をしようと思っているのか」

そんなことを考えると、ここでは**「声を出す！」**という**選択肢**しかないですね！

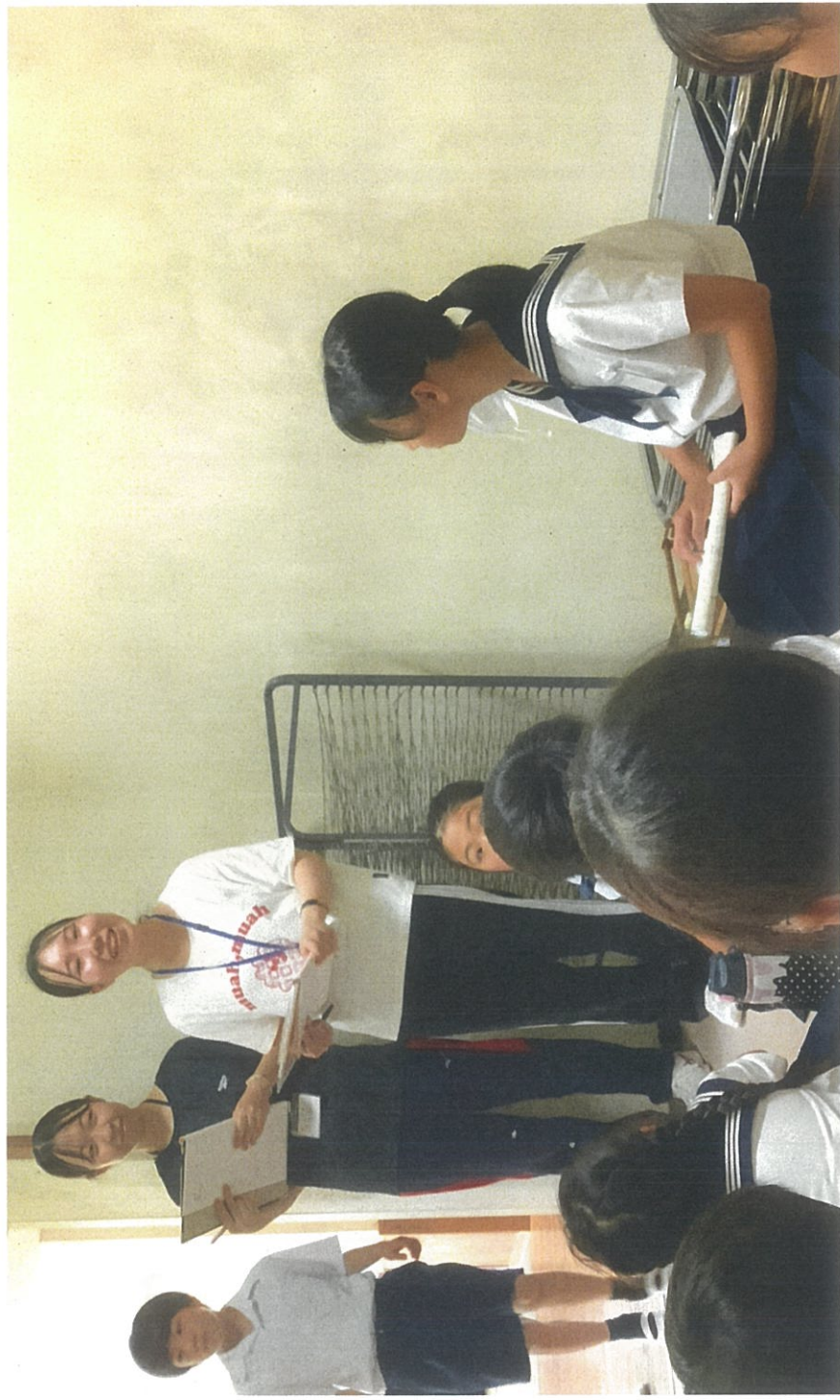
緊張する1人目の発言。よく口火を切りました！
Nice Tryです！



近くで聴く

児童の理解度を見とるためには、
児童の**つぶやき**や**表情**を丁寧にキヤ
ッチする必要があります。

そこがわかっていいる授業者は自然
と**目線の高さ**や**身体**の**距離が近く**な
ります。



具体（事実）で価値付け

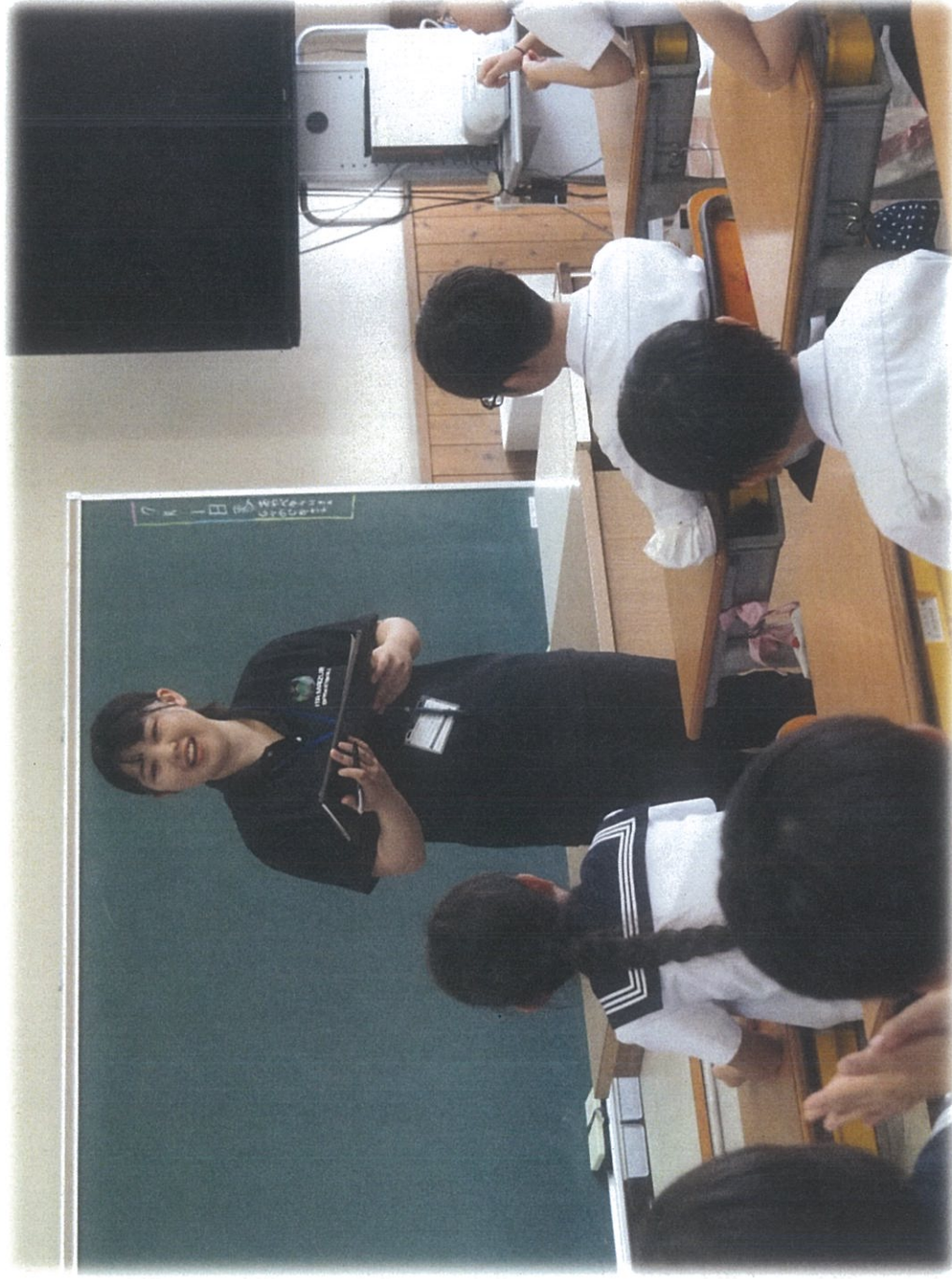
いつ、どこで、どのような行動をしていた姿が「よかった」のか。しっかりと見取った人にしか語れません。その言葉を受け取った児童は「見てくれている」と安心感とやる気を持ちます。



R7. 7. 1 6年生授業の様子

学級づくりの基礎・基本に触れる

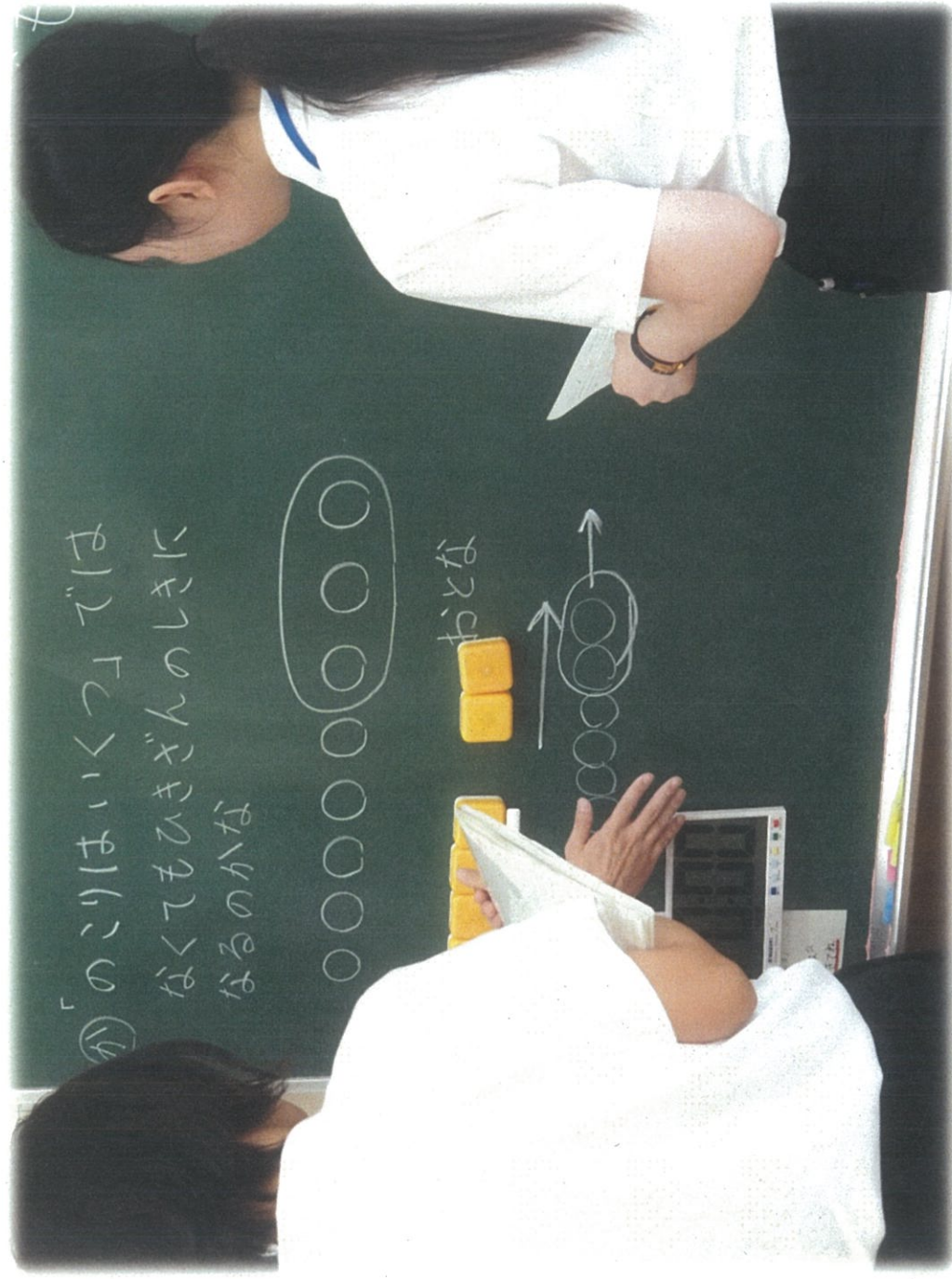
学級会で子供たちが自分たちで話し合いながら、学級のテーマを決めていく。子供の主体性や自治的な力等、学級づくりの基礎・基本となる貴重な部分を観察。



R7. 7. 1 3年生朝の会の様子

わくわくとドキドキ

フリートークのテーマ、わくわくとドキドキについて子供たちと楽しく語り合
う。いろいろあるけど、今一番わくわくド
キドキしているのは、この実習でしょう。



R7. 7. 1 | 1年部学年・学級指導

具体と抽象

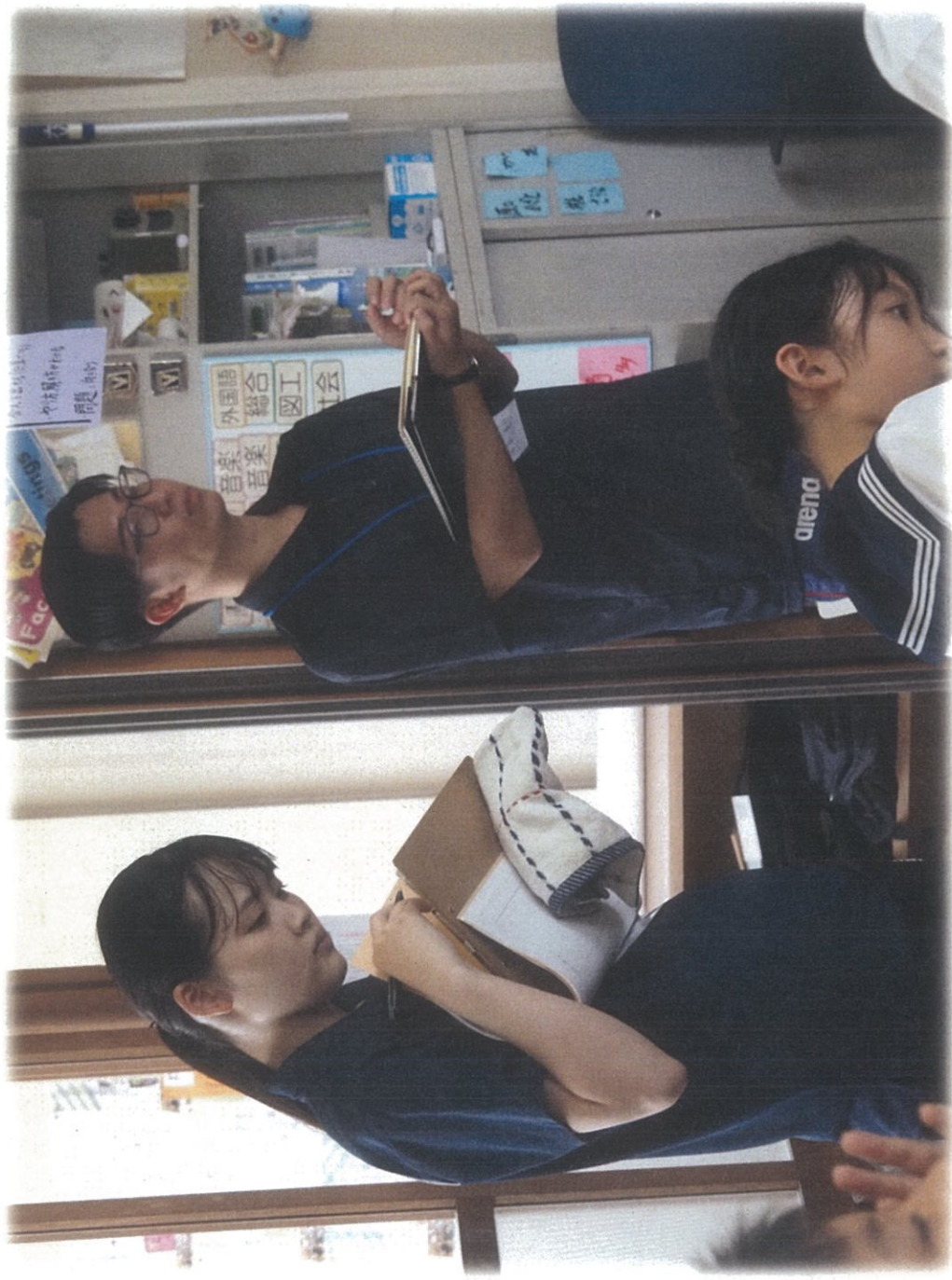
算数の教材研究。ブロックとアレイ図の違いについて、説明を受ける。具体物の操作から抽象的な概念へ。算数の授業を組み立てていく上では大事な知識です。



R7. 7. 1 2年部学年研

仲間と対話

指導案づくりは、一人で抱え込まずに、仲間にとんどん相談し合おう。違う視点からアドバイスし合うことは、高め合うこと。学年・学級の仲間との対話を大切に。



R7. 7. 1 5年生授業の様子

継続は力

前からの見取りを続ける。継続すること
で、子供たちの表情や学びの姿から、より
見えてくること分かることも増えてくる
はずです。



R7. 7. 1 6 年部授業の様子

笑顔での見取り

授業観察中、子供たちの発言や行動する姿に思わずこぼれる笑み。子供への愛情が感じられる笑顔での見取りの様子でした。



R7. 7. 1

主幹教諭・教務主任による講義

ここだけでは聴けないこと

新採用者のアンケートをもとにした講義。大学や現場では、なかなかゆっくりと聴くことのできないことを聴ける大チャンス。採用後、困らないために。



R7. 7. 1 給食の時間

給食は食育の時間

給食の時間は食育の時間。準備から片付けまで、視点を持って子供の様子を見取りましょう。食べてる様子も時々見てみると、また大切なことが分かりますよ。



R7. 7. 1 3年生授業の様子

先輩に学ぶ

学年部の先生の授業を観察する。経験を積み上げてきた先生の授業からは、学ぶことがたくさんあるはず。先輩の授業から得たことを自分の実践に生かそう。



R7. 7. | | 年生授業の様

Enjoy

思いっきり子供たちと水遊びを楽しむ。
子供たちとの関わりの中でしか学べない
こともたくさんある。教育実習でしかで
きない醍醐味。



R7. 7. 2 3年生朝の会の様子

記録を習慣化

記録を習慣化する。記録することは、児童理解、授業力の向上、評価等、様々なところで活用できます。現場に出ても役立つ大切なものです。



七 三 日 木

今日の授業について

〈成果〉

- ・時間内に終わらせた
- ・児童と一緒に授業をつくれた
- ・準備した教材を活用できた
- ・板書指導を速行できた
- ・ほいさ言葉が返ってきた
- ・板書遠く達へられた
- ・児童からのうれしい言葉
- ・通入のもしいき方
- ・児童が楽しそうに分かった
- ・ＩＴの活用、欲しい答えにもっていく
- ・板書の工夫、積極的がやすい
- ・児童のつまみさへの対応
- ・声が聞きやすい
- ・児童の発言の機会
- ・児童と一緒に授業をつくれた

〈課題〉

- ・板書のことが遅かった
- ・板書の色づかい
- ・手つかずの状態でスタート
- ・何もないから分かんない
- ・話も聴き取れなかった
- ・時間配分
- ・内容を板書で板書にならせた
- ・欲しい考えを出す流れが止まる
- ・結果的に板書もささげられなかった
- ・表情がわかってきた
- ・児童のつまみさから分かった
- ・予想外な発言とまどろ
- ・手が生きていた児童の意識
- ・予想もなかったことになった
- ・時間配分
- ・手つかずの状態でスタート

R7. 7. 2 3年部学年・学級指導

振り返る

チャレンジ授業をやってみて、気付いた
成果や課題を自分たちで出し合い振り返
る。授業を実際にやることで分かる楽し
さと難しさ。本実習へのステップに！



R7. 7. 2 2年生授業の様子

協力 働力

実習生4人で生活科の授業にチャレンジ
してみる。1人では不安なことも、4人なら心強い。自分たちだけで協力して臨機
応変に進めた経験もプラスの学びに。



R7. 7. 2 6年生授業の様子

経験を語る

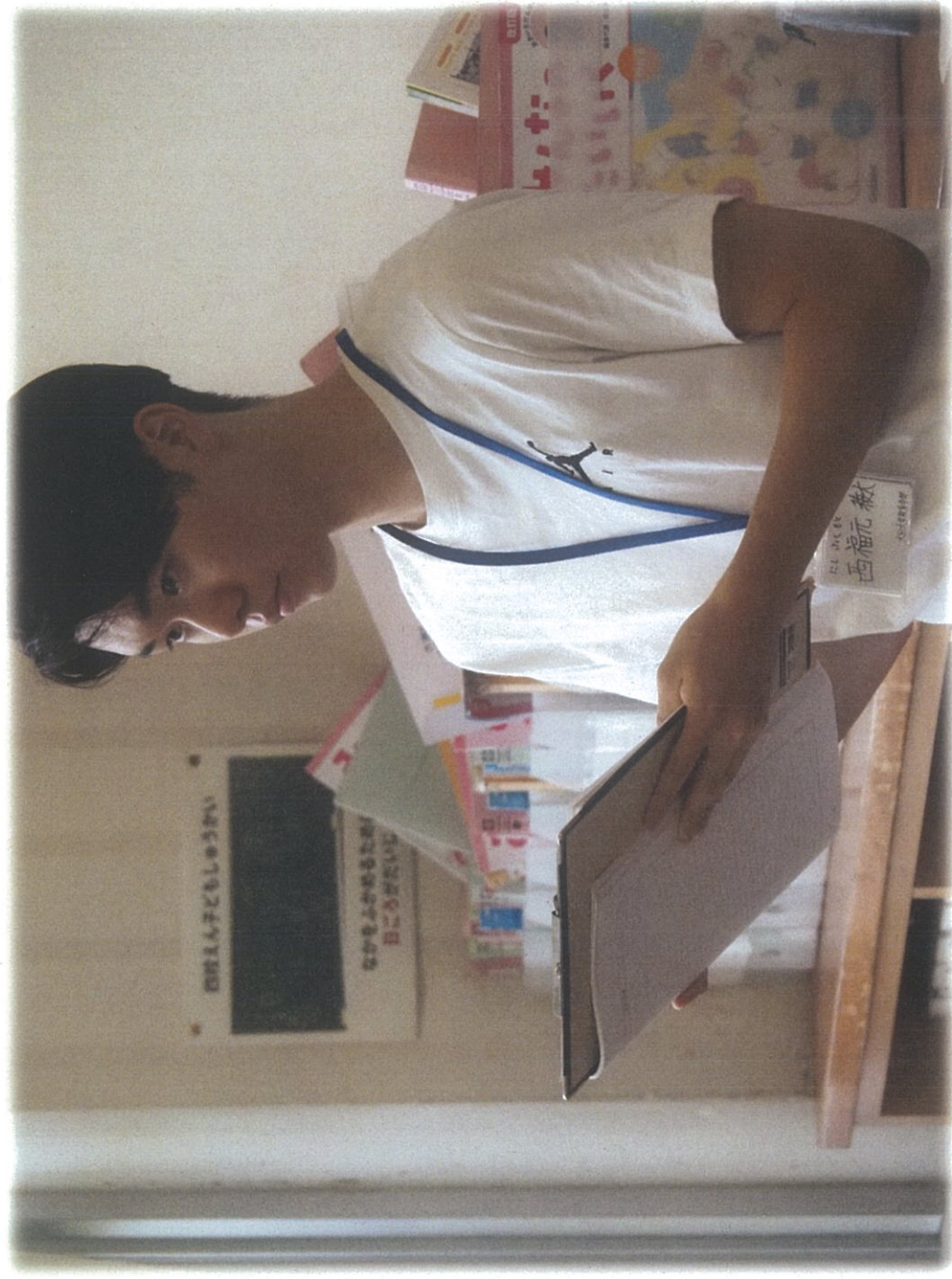
道徳で子供たちに「友達と仲良くするために大切なこと」を考えることが出来るようにするために、まずは自分の経験を語る。経験談こそ子供の心に届きやすい。



R7. 7. 2 6年生授業の様子

Nice Challenge

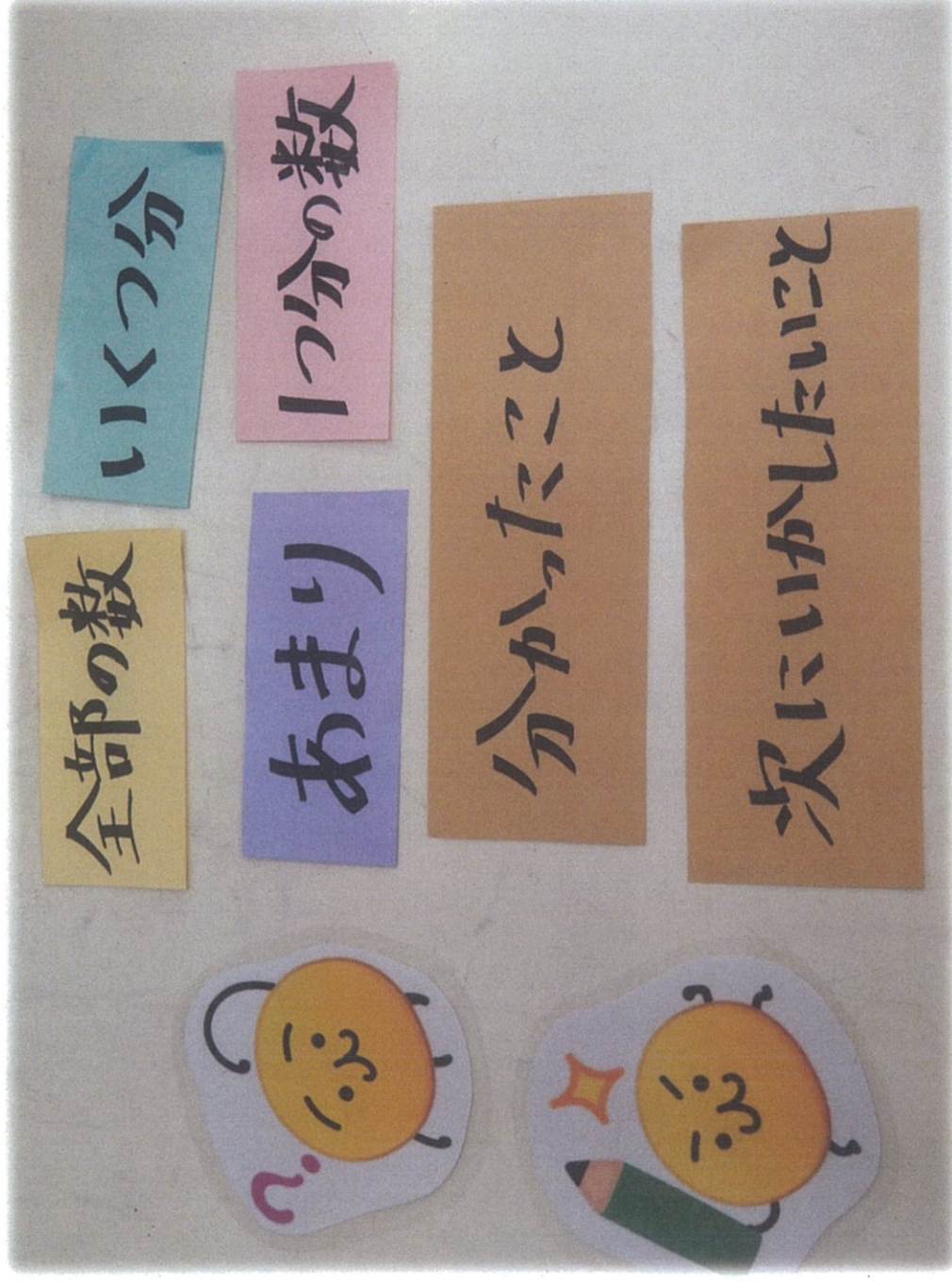
一生懸命に取り組んだことは、決して無駄にはならない。経験したことが学びになり、次に生かされる。挑戦することにより、大きな価値がある。



R7. 7. 2 3年生授業の様子

熱視線

この熱い眼差し。子供たちの行動や発言を決して見逃さないという思いが伝わってきます。授業記録への真剣さは、きっと自分の授業や学級経営に生かされます。



子供の立場で

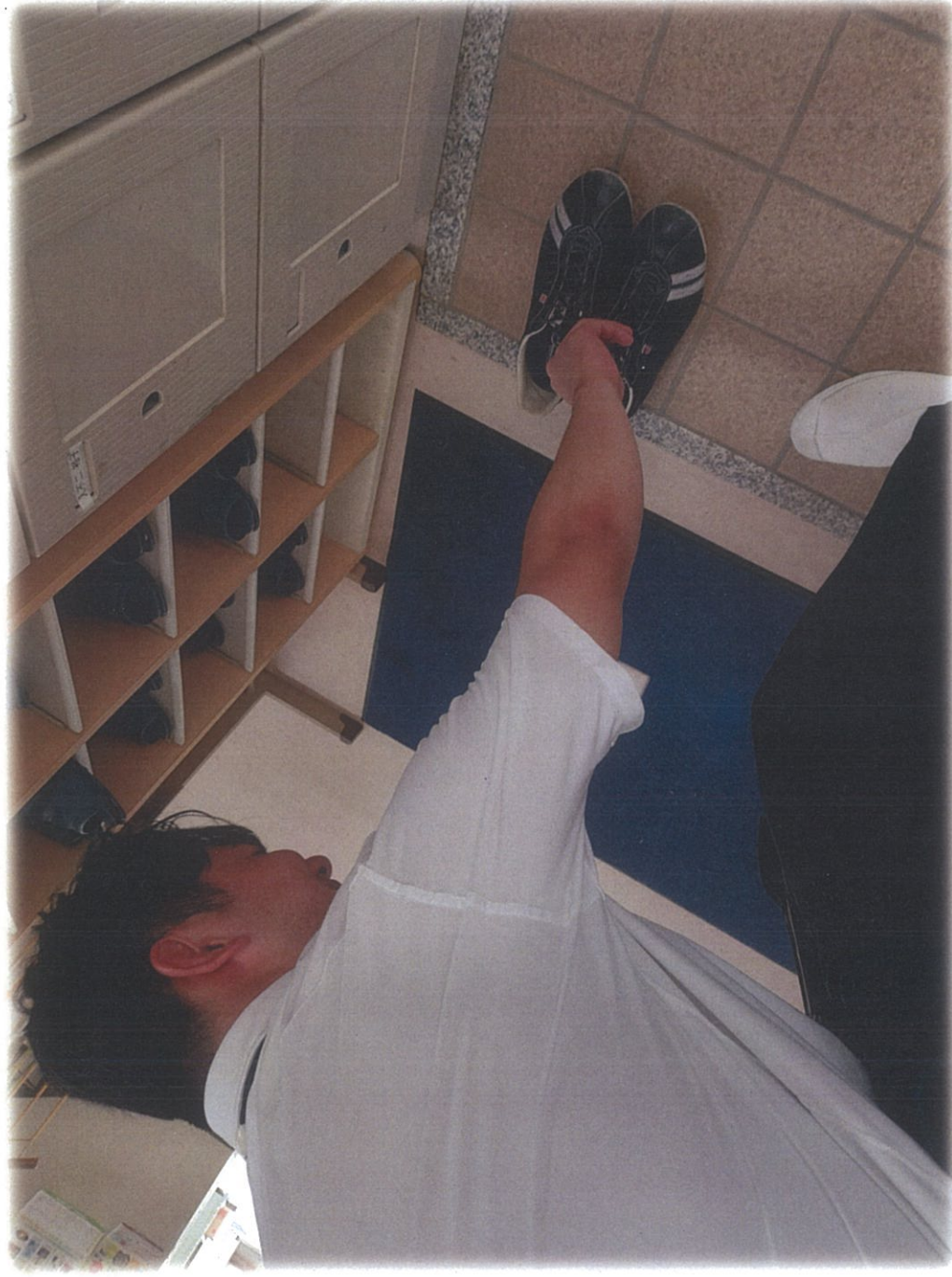
3年生のあまりのある割り算。子供が楽しく理解ができるよう自作のカードを使う。子供の立場で考えて、教具を工夫できているですね。



R7. 7. 2 5年生授業の様子

子供の声を聴く

机間指導では、ていねいに一人一人の子供の発言やノートを確認し記録する。気になったことは、子供にたずねる。子供の考えや理解度をつかむことができます。



R7. 7. 2

下校指導中の様子

社会人としての気遣い

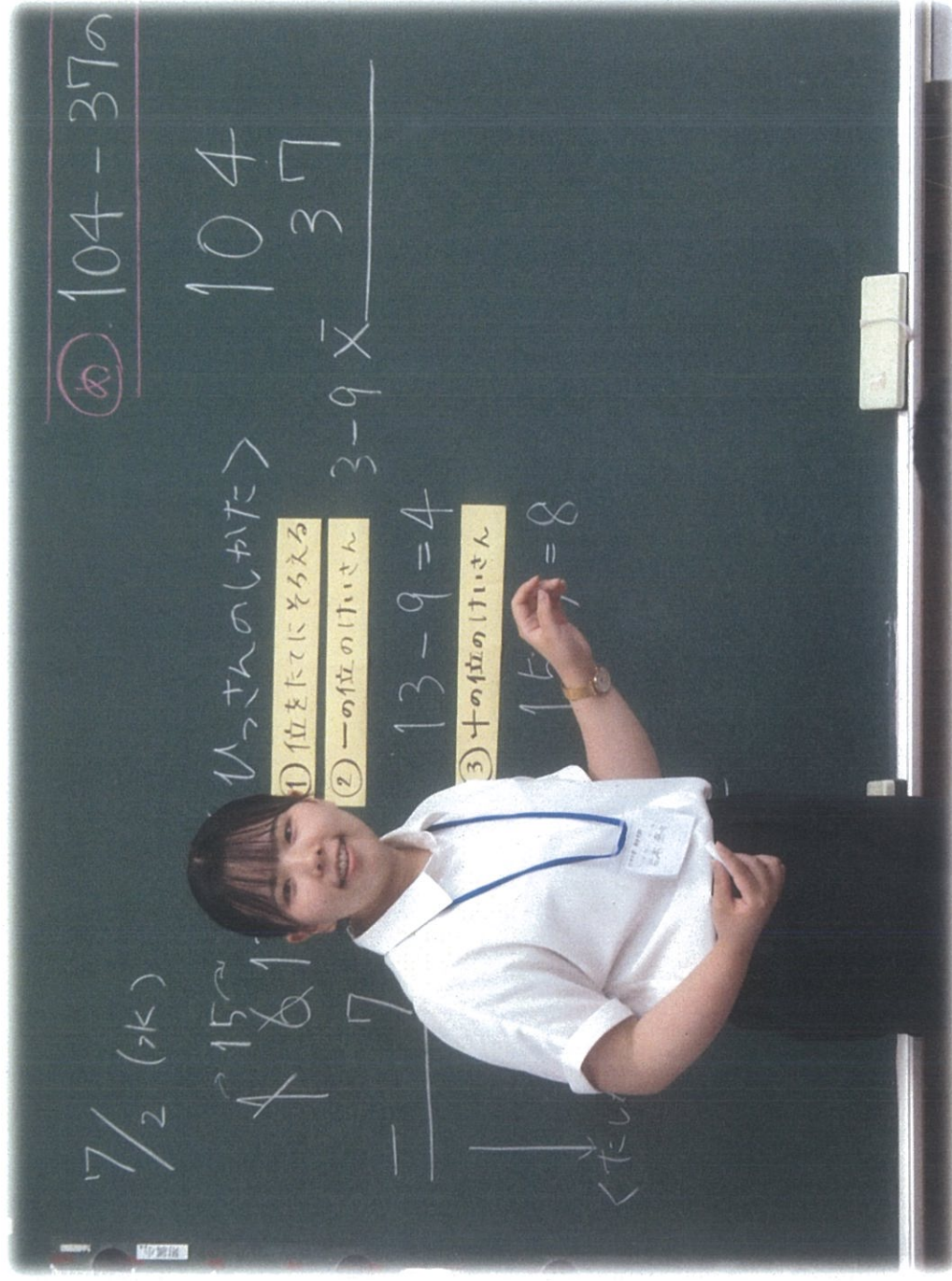
来校者のために、さっとスリッパを出し、靴を並べる。社会人としての気遣いができる人は、きっと子供たちを大切にすることが遣いもできる。さわやかな姿。



R7. 7. 2 下校指導中の様子

子供たちといるのが楽しい

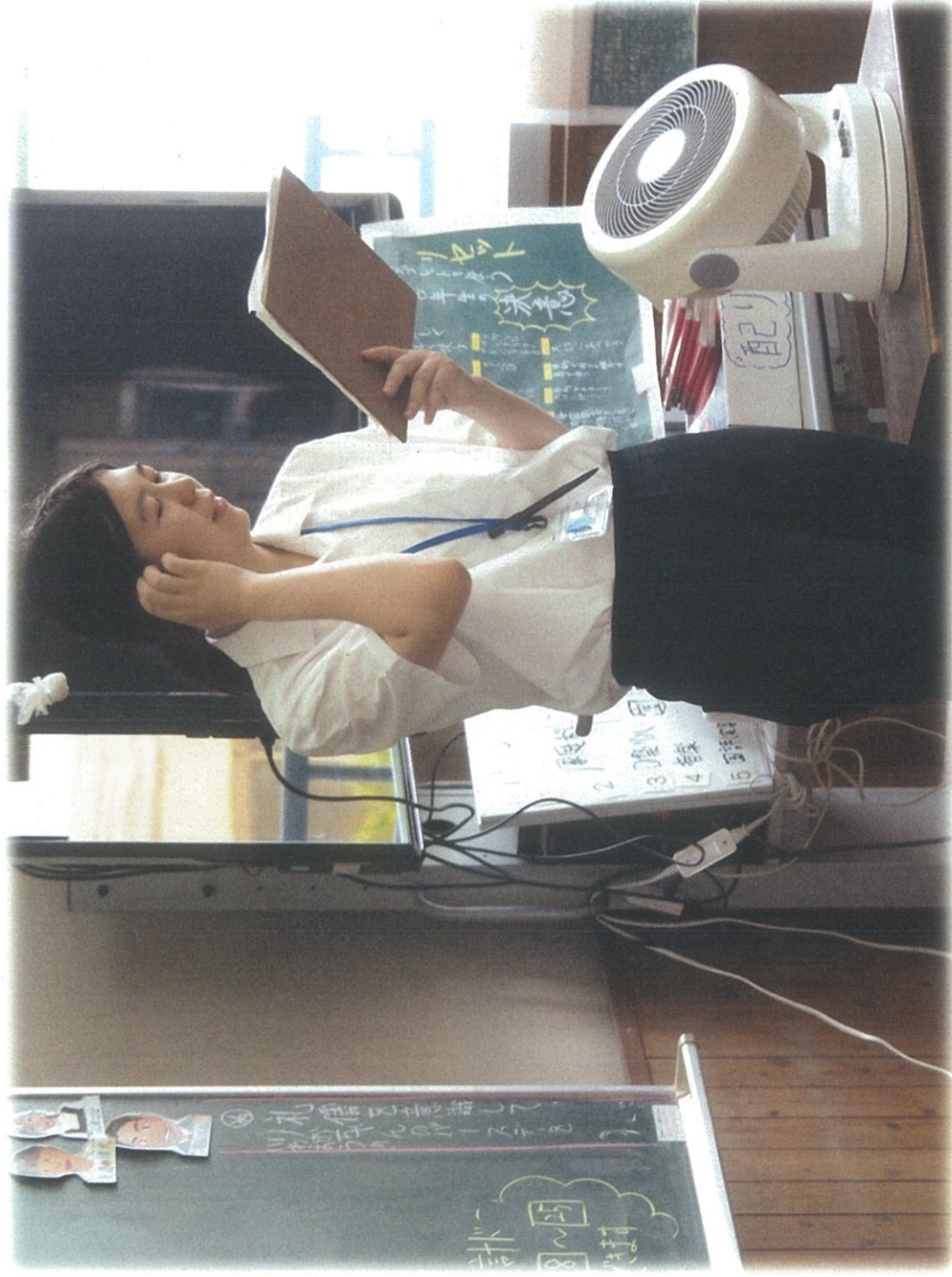
毎日、暑い日が続いています。それでも、
「子供たちといると楽しいから、」大丈夫
です！」の心強いひと言。実習への情熱！
子供たちへの愛情！があふれています。



R7. 7. 2 2年生授業の様子

やってみよう

誰でも、はじめてすることは、不安がいっぱい。でもやらないことには進まない。と
りあえず、失敗してもいいから「やってみよう」。きっと何かが見つかるよ。



R7. 7. 2 6年生授業の様子

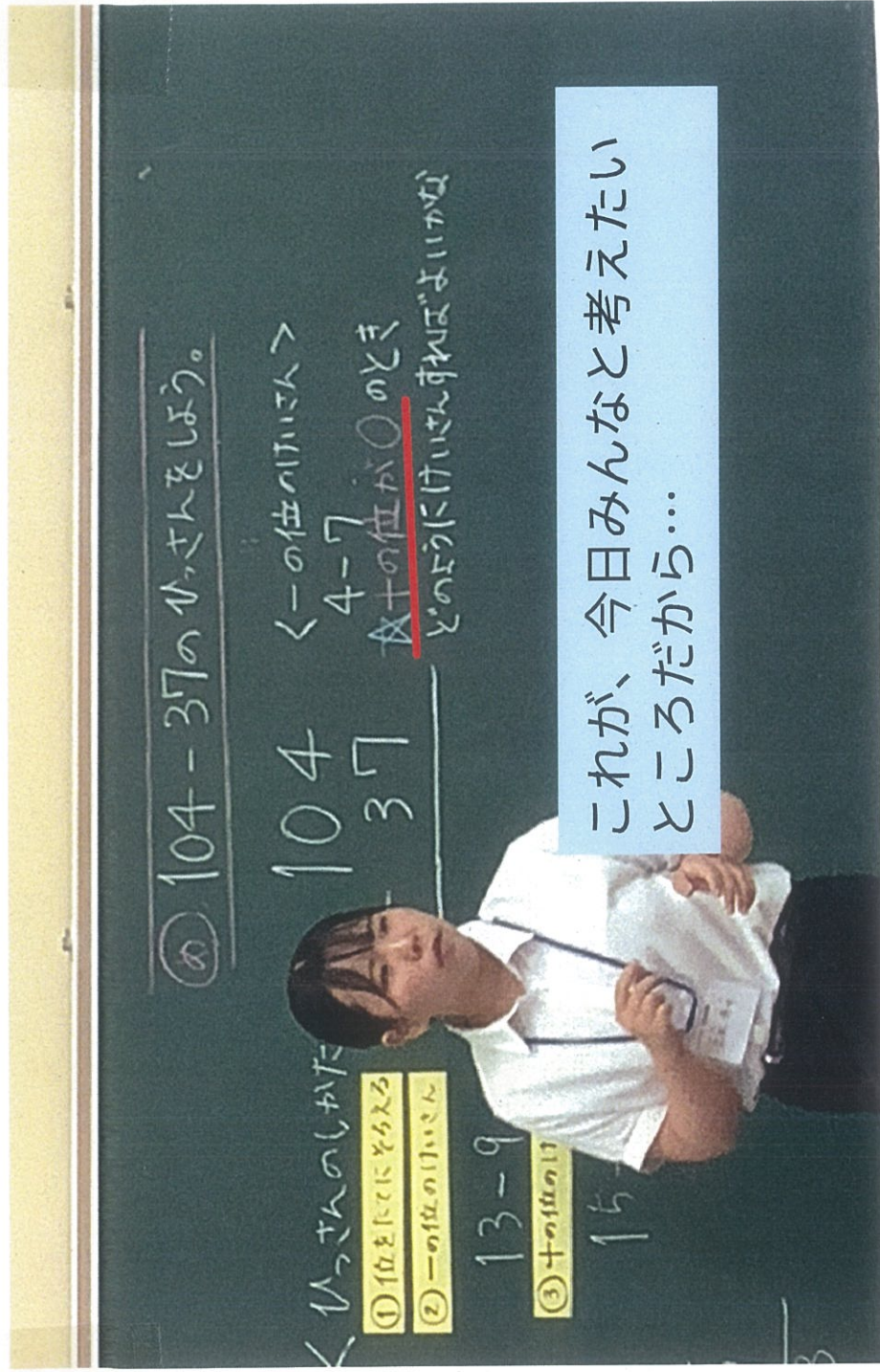
生かせ Strong point

道徳の授業で教材を範読する。しっかりと話の中に子供を引き込む朗読。授業の中で自分の得意を生かす。自分にもある Strong Point を発見しよう。



身振り手振り

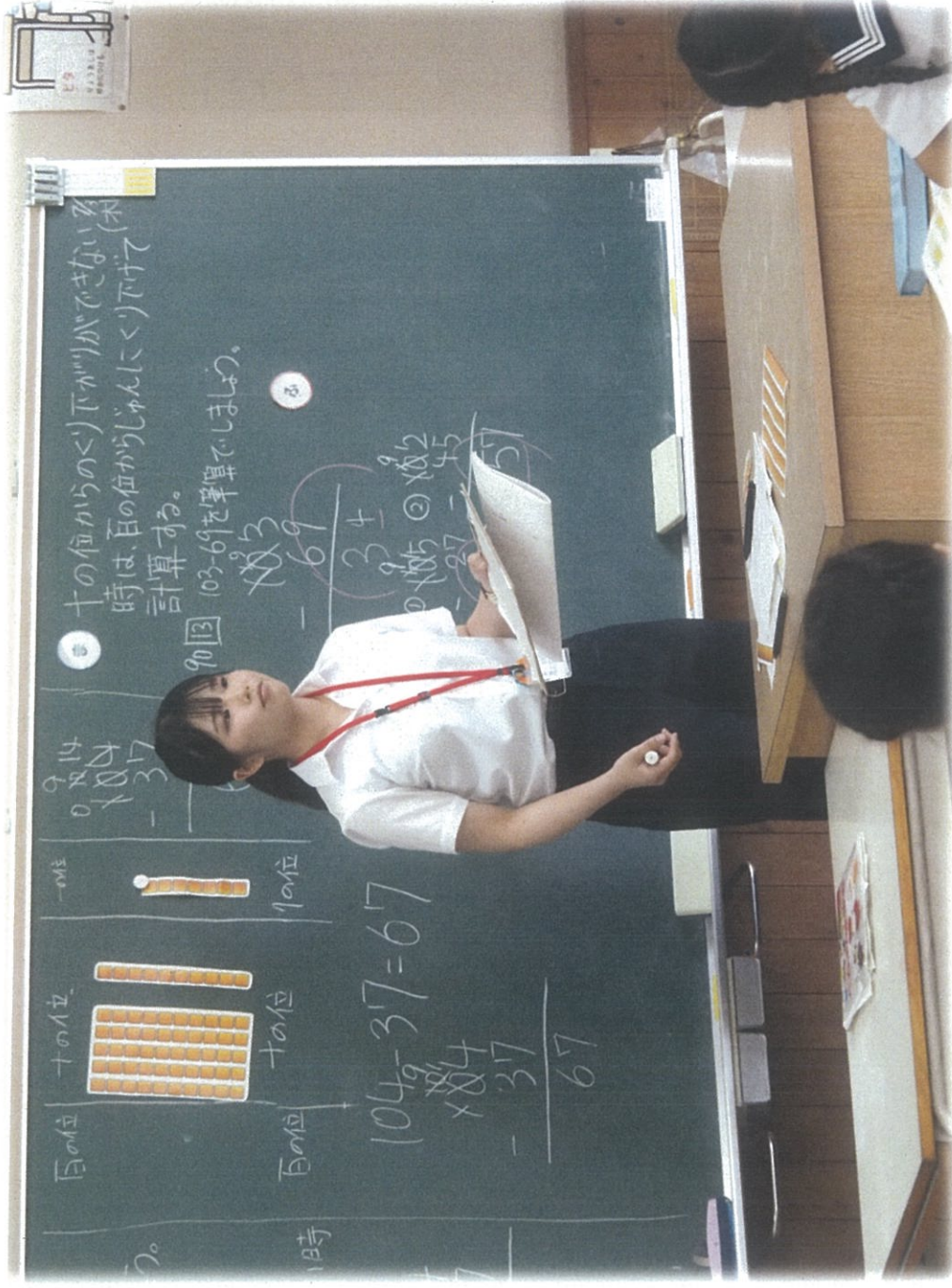
大きなジェスチャーで表現したり、**教室を広く**使ったりすると、**楽しい雰囲気**になり、**児童の注意を惹く**ことができます。バインダーに頼らず、ナイスチャレンジでした



キーワード

「前時との違い」「今日の課題」
が、スツキリすると子供たちは動き
出します。

色を変えたり、言葉で強調したり
するという工夫に、救われた児童が
ぎっとたくさんいるはずです。



R7. 7. 3 2年生授業の様子

意図的指名

子供の主体的に学ぶ姿勢を大事にした相互指名と共に、学級全体に広げたい子供の考えや思いがある時は、教師が目的や意図を持って指名することも大切です。



R7. 7. 3 3年生授業の様子

ライブ感

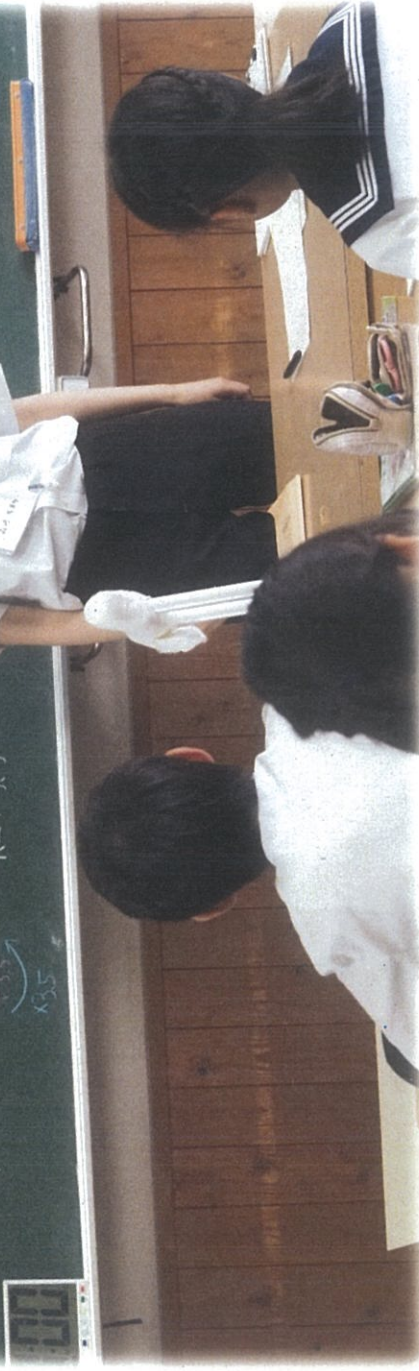
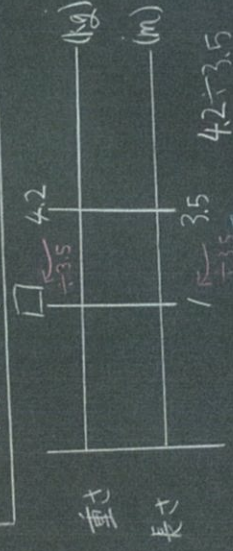
こそあど言葉について、実際の生活の場面で起きる問題を子供たちに気付かせるためのシヨートコント。ライブ感のある演技に子供たちも授業への意欲アップ。

④ わられる数もわる数

小数の計算ができる。

⑤ か

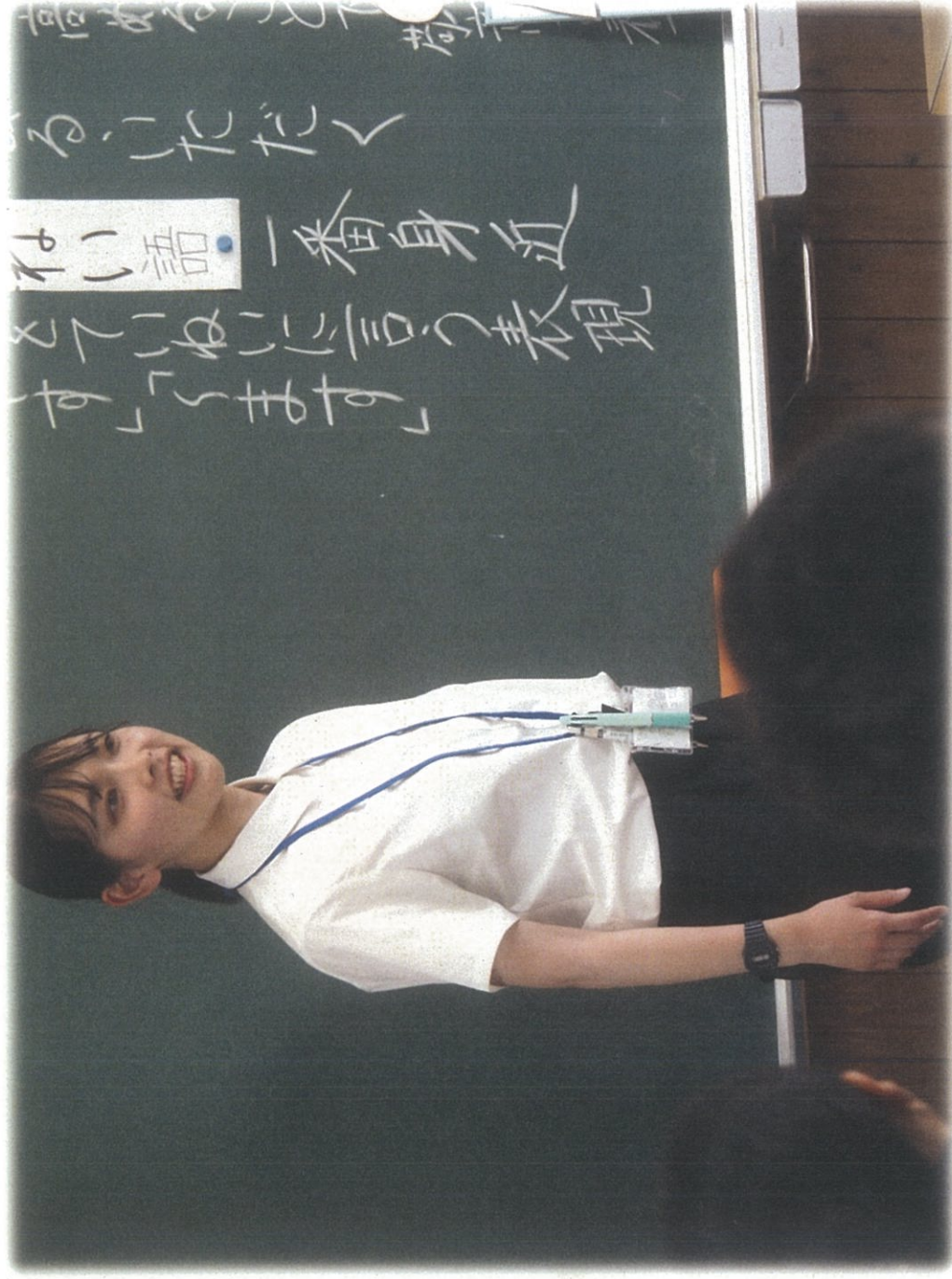
⑤問 3.5mの重さが4.2kgのぼうが
あります。
このぼう1mの重さは何kg
でしょうか。



R7. 7. 3 5年生授業の様子

算数の言葉を使う

その教科の中では、子供たちに身につけて、使って欲しい言葉がある。まずは、教科の言葉を積極的に教師が意識して使う。それが子供たちにも浸透していく。



R7. 7. 3 5年生授業の様子

今、自分にできることを

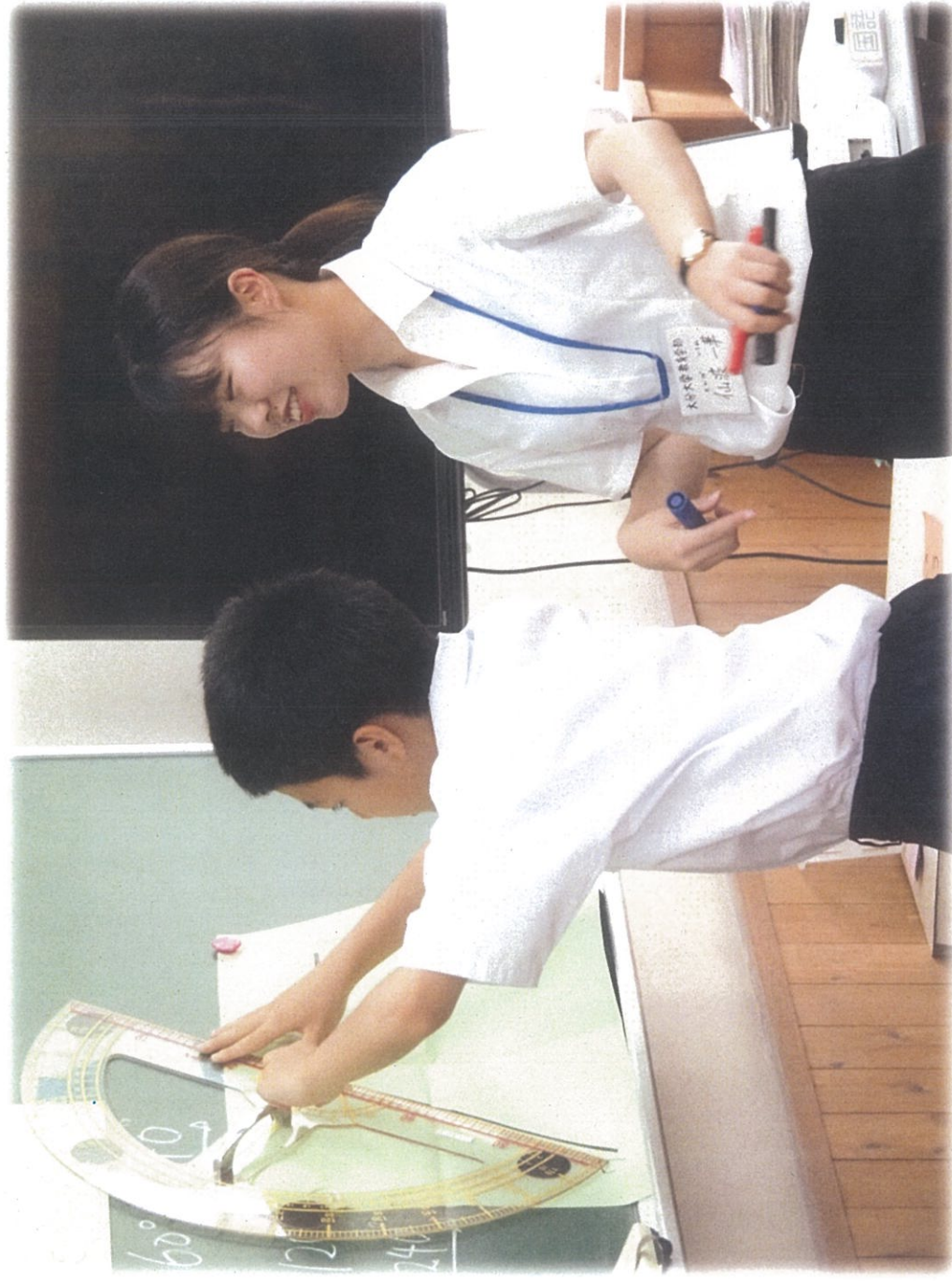
初めての授業。子供たちと一緒に授業を
することの楽しさと難しさを感じる。今、
自分にできることを全力でやってみたか
らこそ分かる成果と課題。



R7. 7. 3 1年生の授業の様子

TRY

自分で練った板書指導案をもとに、授業に挑戦する。うまくいったこといかなかったことを振り返り、次の授業改善に繋げる。Let's try!!



R7. 7. 3 4年生授業の様子

多様な考えを生かす

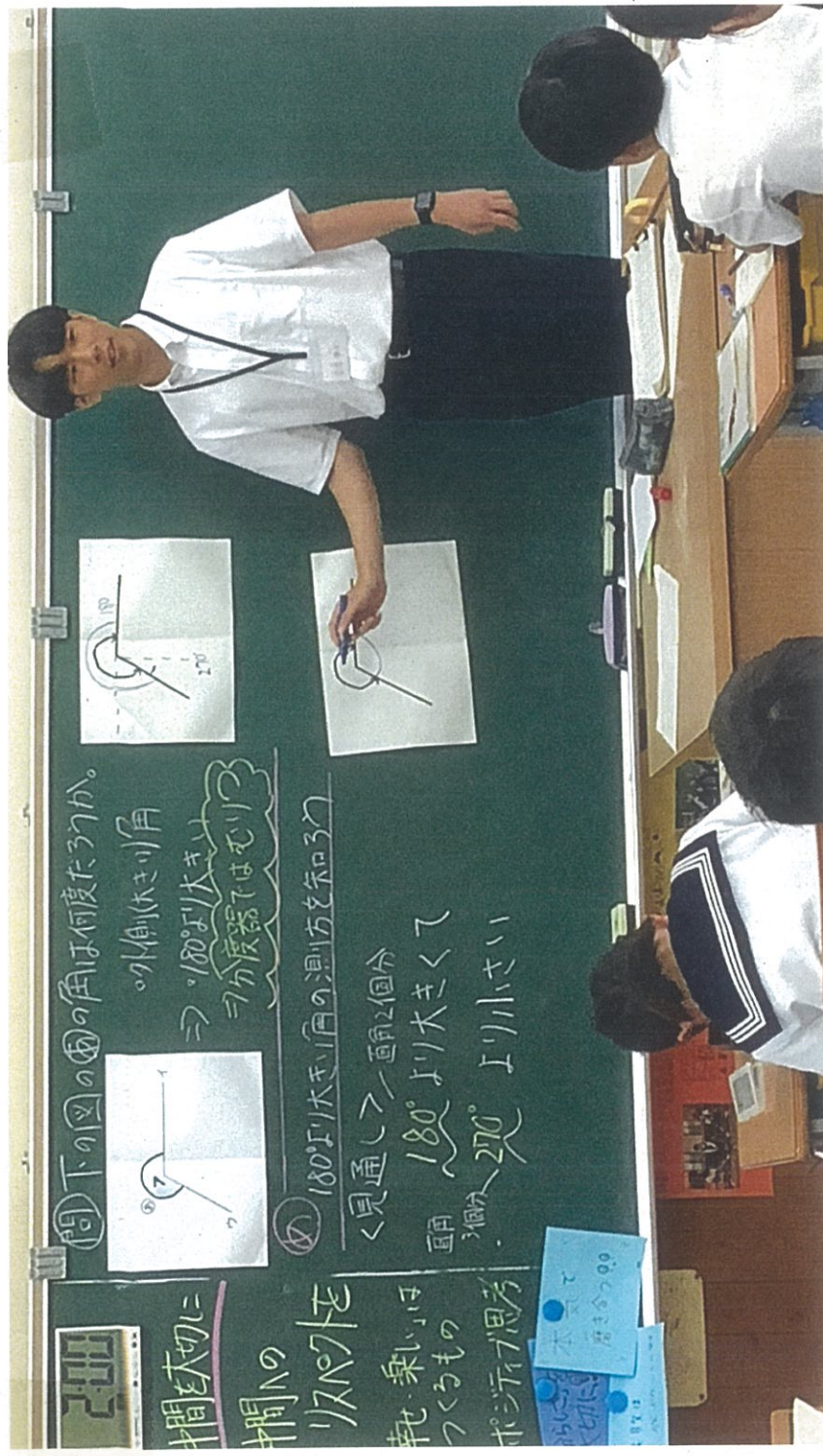
多様な考え方を大事にすることは、子供を大事にすること。学びの深まりや広がりにつながることも多い。いろんな考えが出てくるから授業はおもしろい。



R7. 7. 3 2年部学年・学級指導

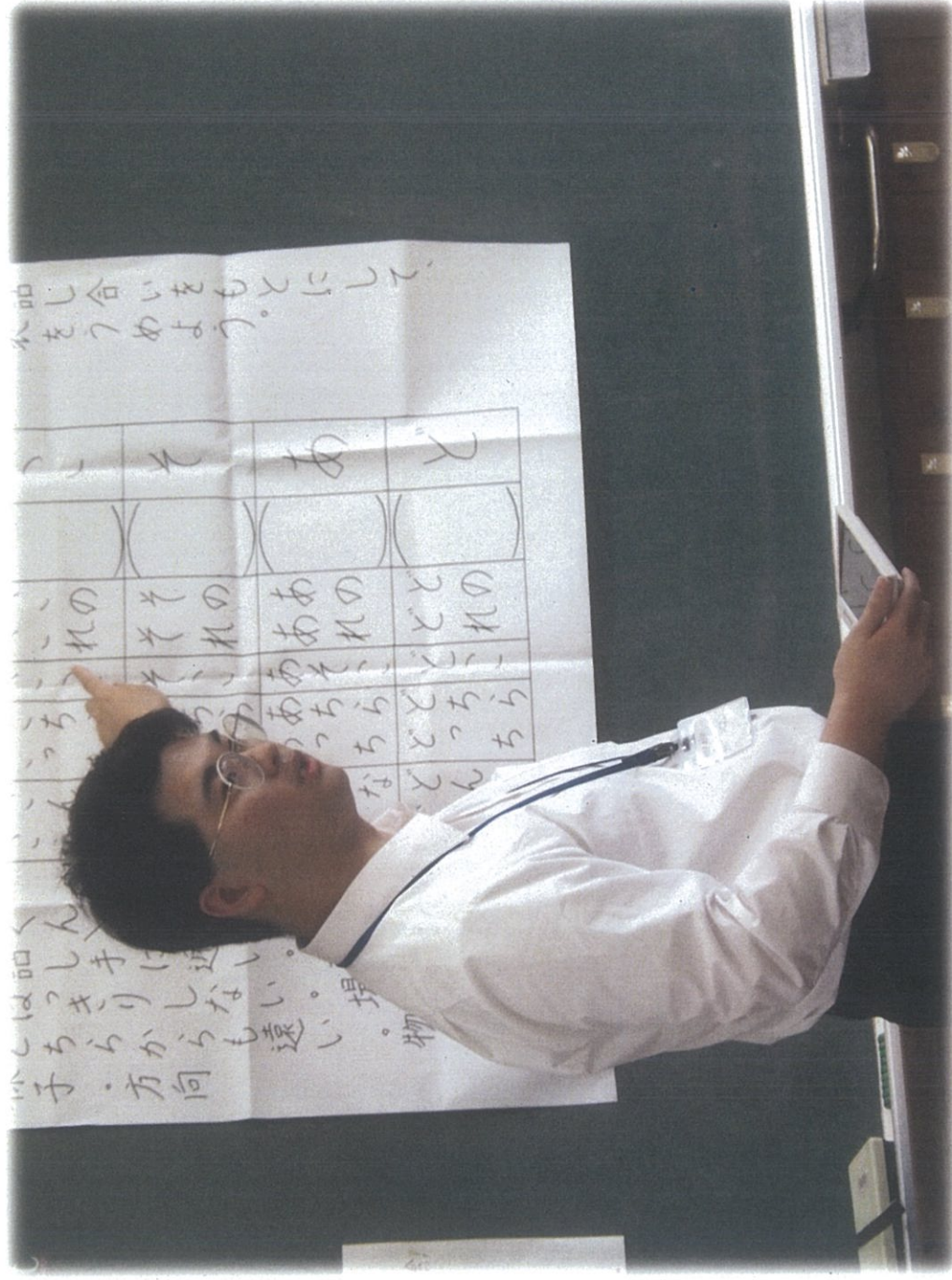
吸収・蓄積・再構築・再構築・発散

担当教諭のアドバイス。経験に裏打ちされた言葉は、きっとこれからの授業づくりで役立つはず。どんどん多くのことを吸収・蓄積・再構築・再構築・発散してください。



「どう？」

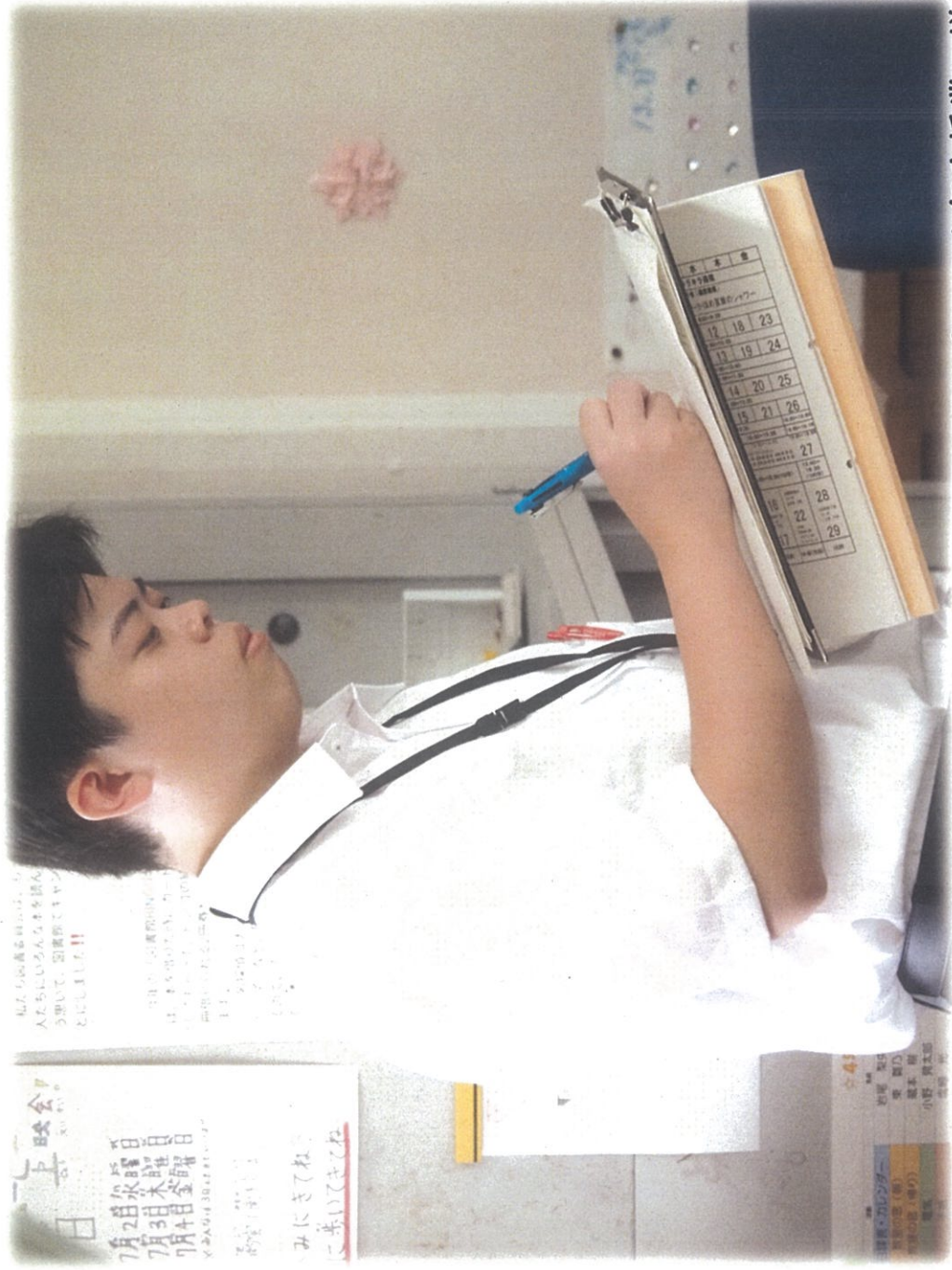
「正解かどうか」を先生が決めるのではなく、子供たちに「どう？」問い返すことで、**全員が自分事**になり、発表した子と先生の1対1になります。



R7. 7. 3 3年生授業の様子

一歩前進

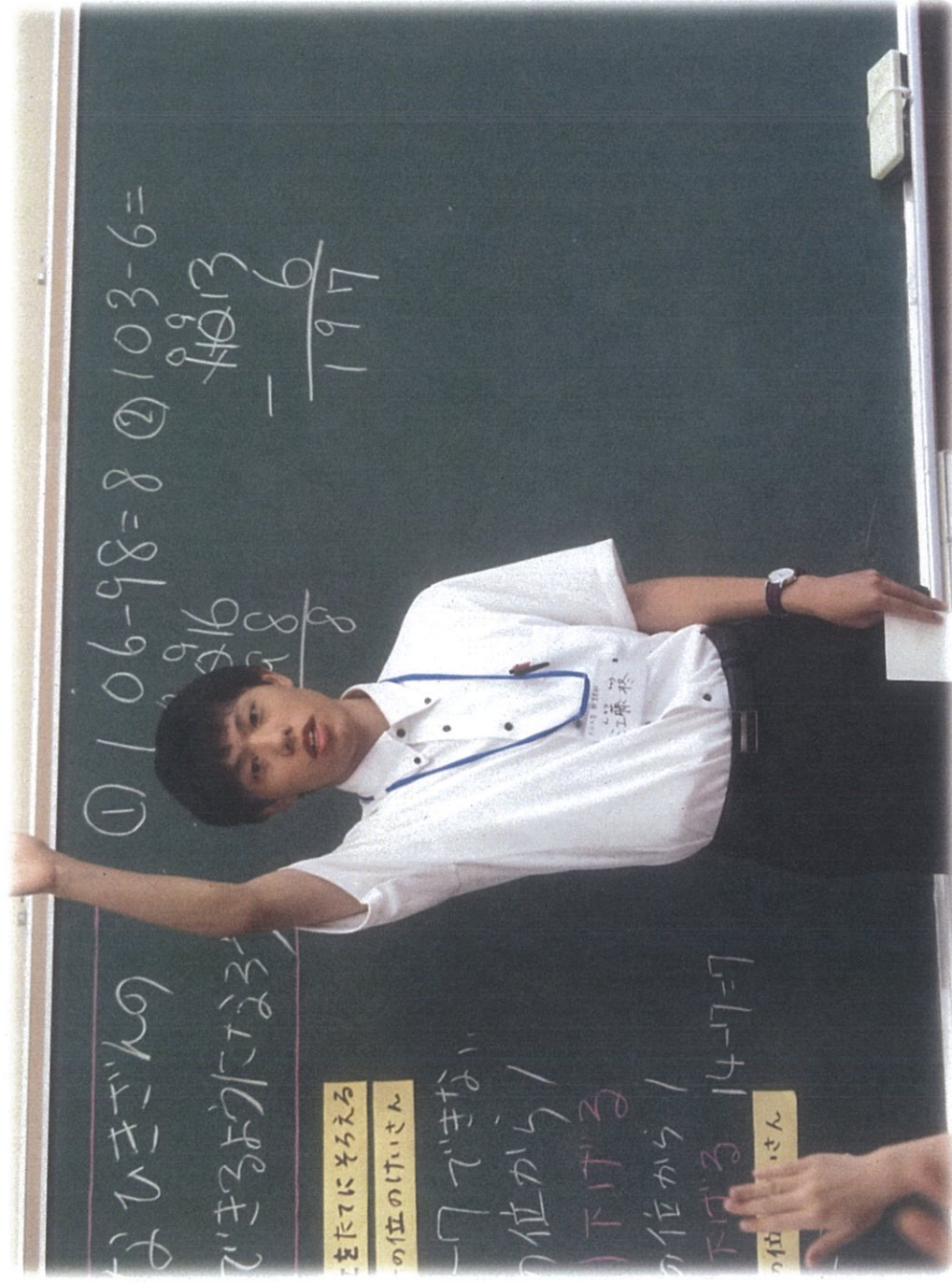
子供たちの前での初めての授業で緊張するのは当たり前。何よりも思い切って挑戦することが大切。全てが学び。本実習に向けて、確実に大きく一歩前進。



R7. 7. 3 4年生授業の様子

参観でなく観察

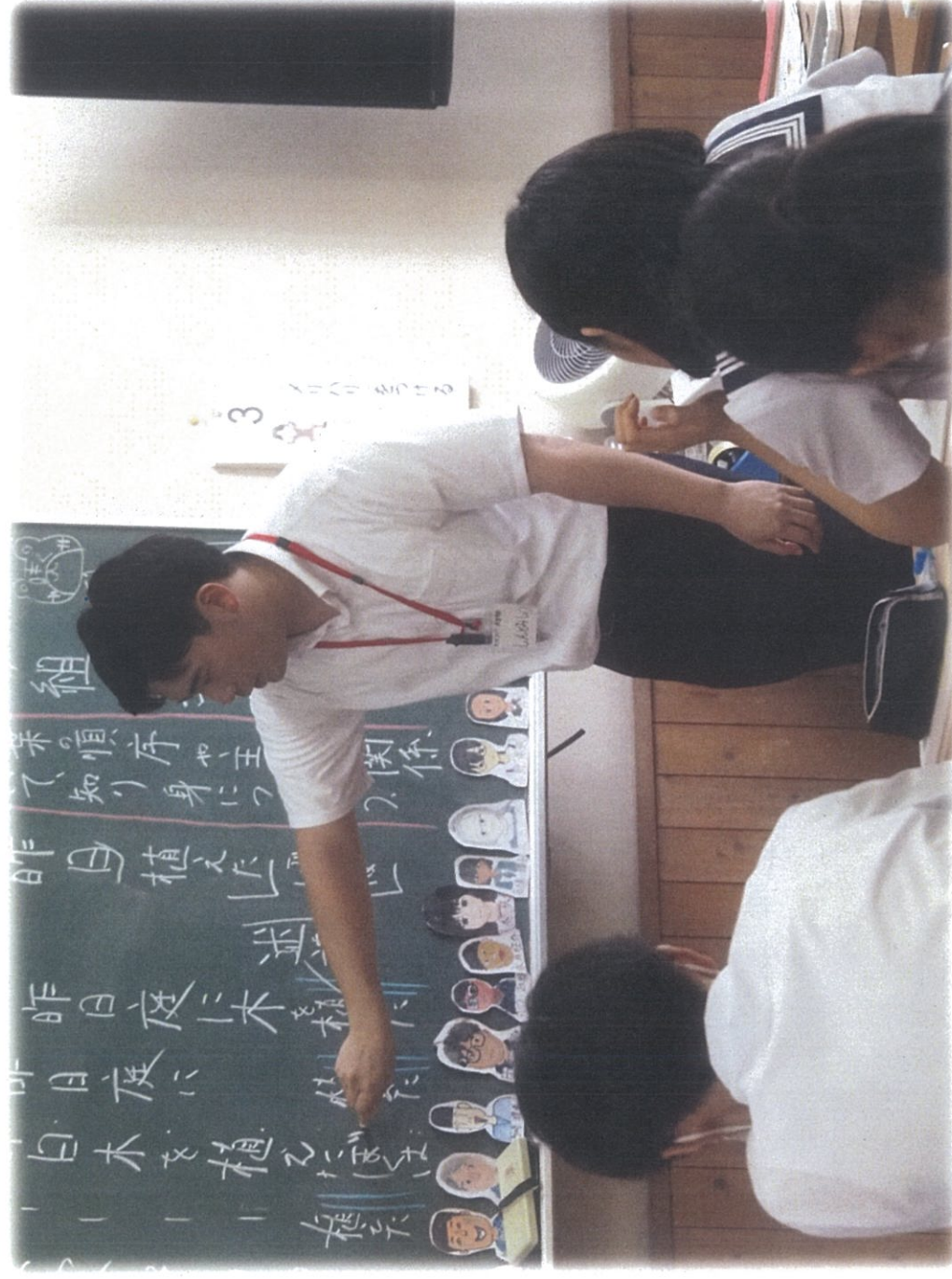
授業参観でなく授業観察。子供たちの言動をメモしていく量がどんどん増えてきました。視点を持って、授業に臨むとまた違う見取りができると思います。



R7. 7. 3 2年生授業の様子

「分からない」は「分かりたい」

子供の「分からない」の言葉は「分かりたい」という思い。子供の困りは学びのチャンス。「なぜ?」「どこが?」「どうしたら?」みんなで解決方法を考えよう。



子供とのための中へ

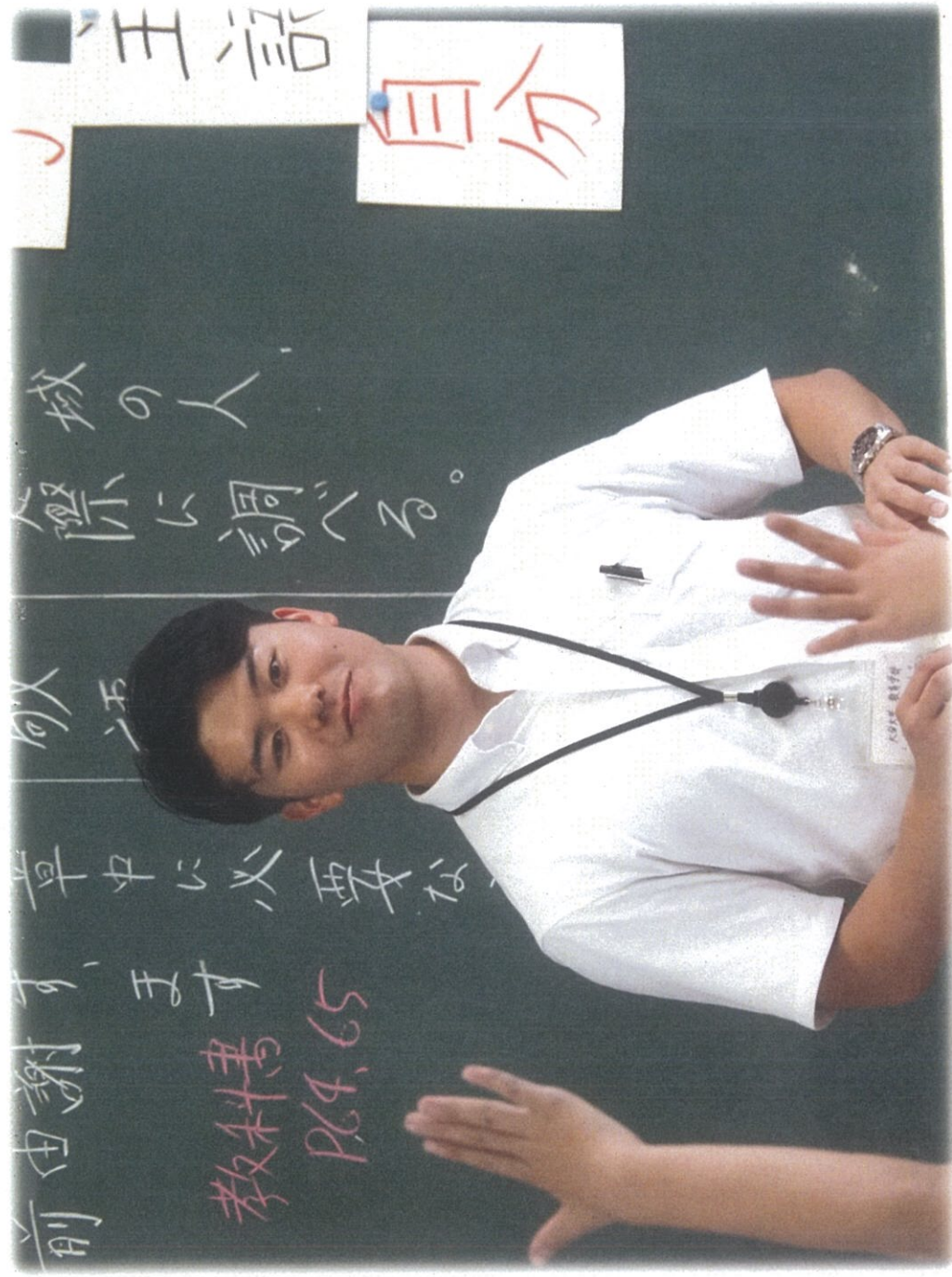
子供に問いかけて話を聴きながら、授業
をする。子供と対話をしながら、一緒に学
習を進めていくことは、子供中心の授業
づくりへの第一歩。



R7. 7. 3 2年生授業の様子

個別指導

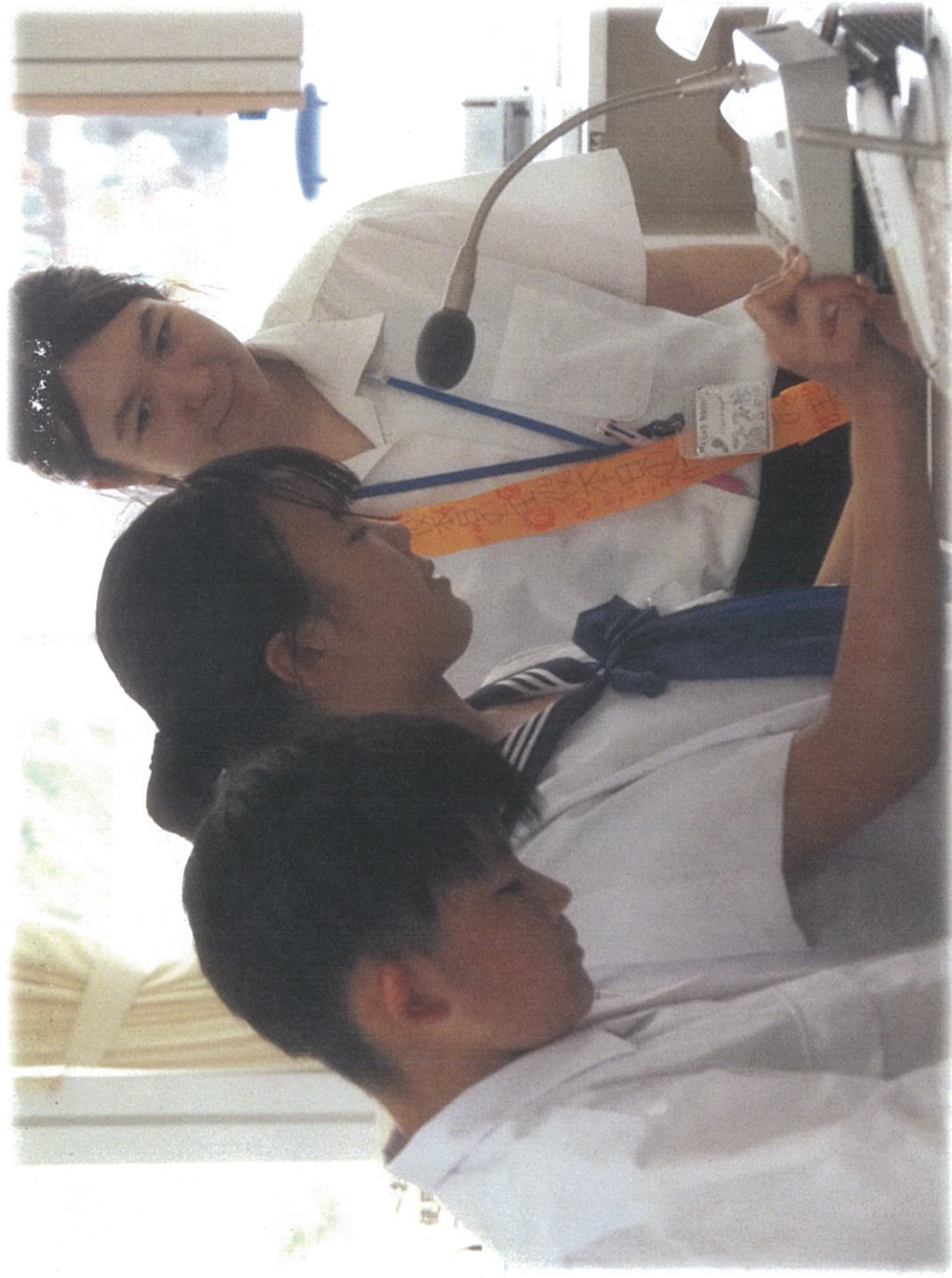
机間指導で学びの様子をつぶさに見取り、確認する。困りがあれば、一緒に解決方法を考える。子供たち一人一人を大切にした優しさあふれる指導。



R7. 7. 4 5年生授業の様子

学級目標になく

授業の最後の先生からの言葉。児童が敬語を学んだことを学級目標につないで価値付ける。授業と学級経営の関連を意識した終末。



R7. 7. 4 給食時間

幅広い視点で見取る

給食時間の委員会からの放送。子供たちが委員会活動にどのように関わっているかを見取ることも大切。いろんな視点から学校教育の現場を学ぶ。



R7. 7. 4 4年生の授業の様子

教具を自作する

角度を測るために必要な教具をがんばって自作する。分度器だけでは測れないものを子供たちが実際の生活の中で、測定できるようにした工夫。



R7. 7. 4 キラキラ掃除

見つけに行く

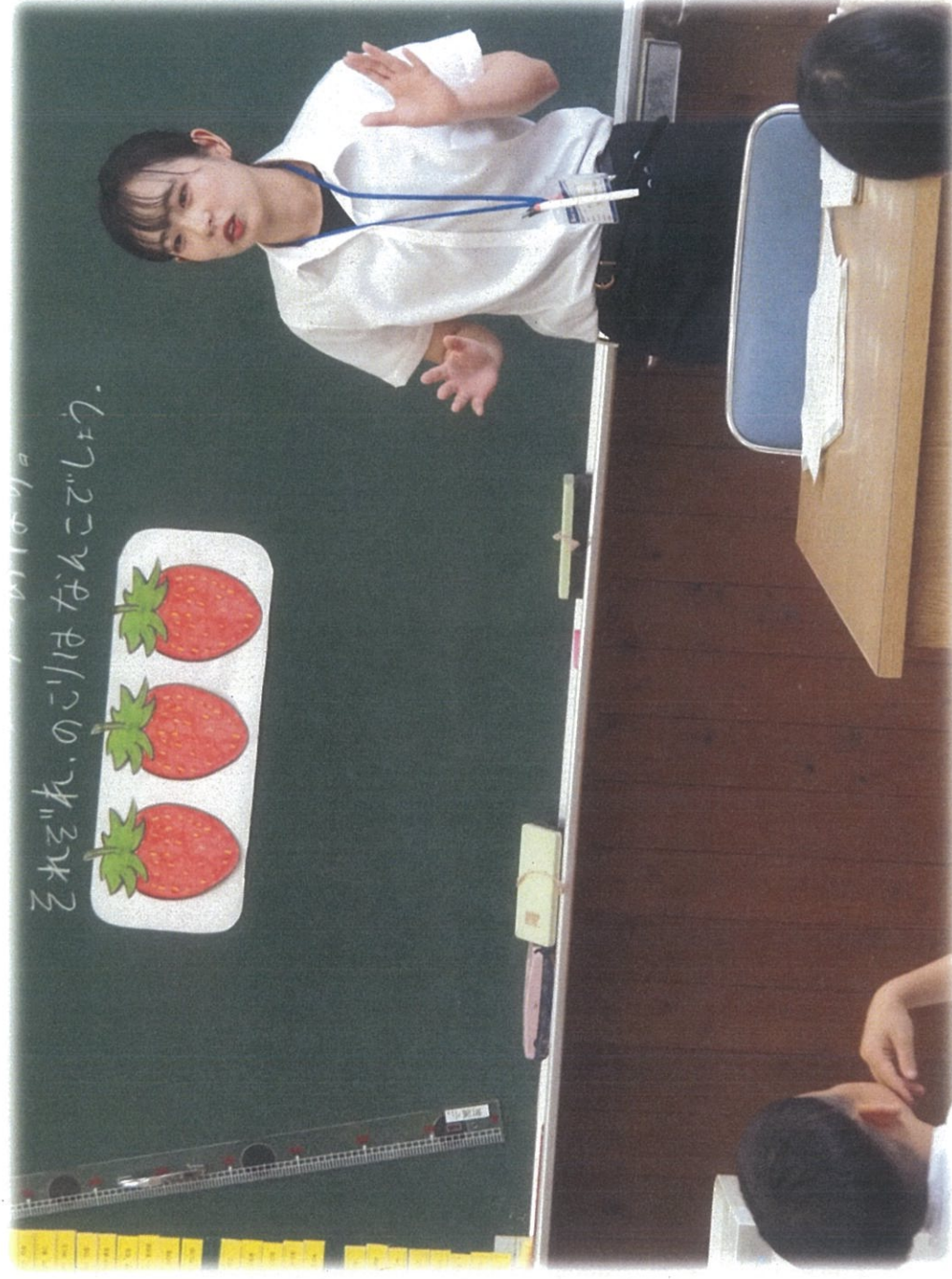
積極的に子供のがんばりを見つけに行
く。「今日も、子供のがんばりをたくさん
見つけるぞ!」という雰囲気朝から伝
わってきました。



R7. 7. 7 キラキラ掃除の様子

見取る力をパワーアップ

掃除の姿をていねいに見取り記録をする。子供たちのよさやがんばりを見取る力を付ける。実習中にパワーアップできる貴重な経験。



R7. 7. 4 | 年生授業の様子

自分らしさ

自分の得意なことを積極的に授業づくりに生かしていく。自分らしさを発揮することで、授業に明るさや楽しさが増してきます。



R7. 7. 4 5年生授業の様子

ロールプレイ

敬語の使い方について、児童に体験させてみる。実際の場面を想起させながらやってみることで、教室での学びを日常生活に近づけることができる。



R7. 7. 4 4年部学級・学年指導

マインドを語り合う

学級や授業づくりで大切な3つの要素。
マインド（教育観）・セオリー（理論）・スキル（技術）。自分がなぜ教師になろうと思ったのかマインドを語り合う。